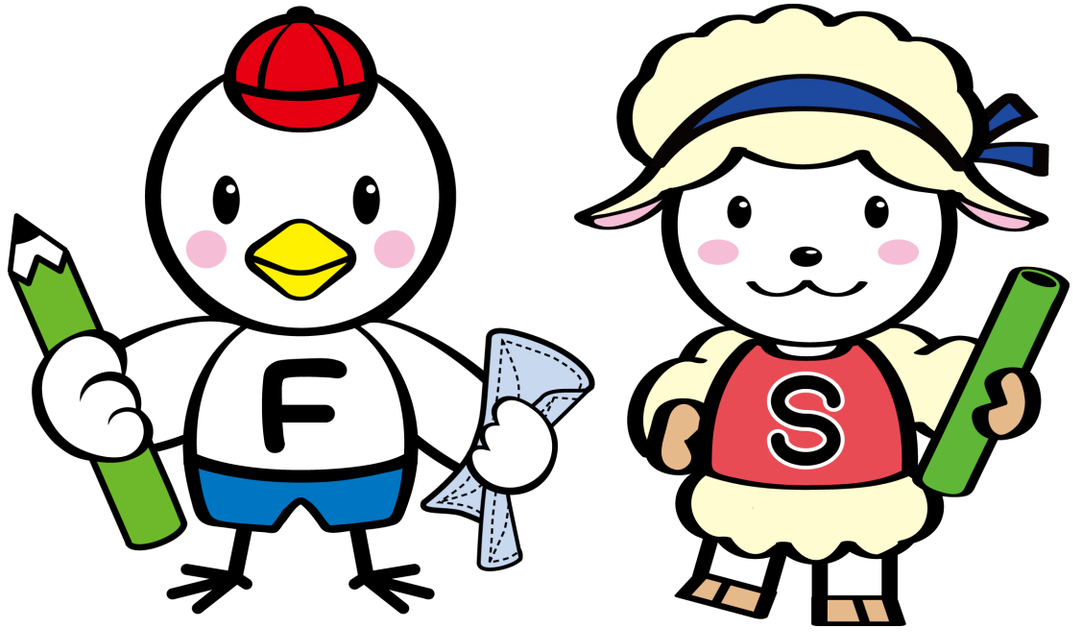
令和８年度版

教　育　要　覧



福岡市の教育推進キャラクター
「スタンバード」と「フレンドシープ」

福岡市教育委員会

発行にあたって

教育は、子どもたち一人ひとりの能力を伸ばしつつ、社会において自立的に生きる基礎を培うものであり、子どもたちが将来にわたって幸福な生活を営んでいくうえで不可欠なものです。

近年、社会は急速に変化し、少子高齢化の進展、地域や世代間のつながりの希薄化などの社会環境の変化に加え、人々の価値化の多様化やＩＣＴ環境整備の急速な進展など、子どもや学校を取り巻く環境は大きく変化しています。このような不確実性の高い時代において、子どもたちが様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となるためには、教育の果たす役割は一層重みを増しています。

こうした認識のもと、福岡市では令和７年度から令和11年度を計画期間とする「第３次福岡市教育振興基本計画」を新たに策定し、目指す人間像として「自分の可能性を信じ、様々な変化や困難に主体的に向き合い、他者と力を合わせ、豊かな人生やよりよい社会を切り拓く人」を掲げています。

この人間像の実現に向け、子どもを主体とした学びの推進、多様な教育ニーズへの対応、教員の資質・意欲の向上、安全・安心な教育環境の整備、地域連携の推進・家庭教育の支援を基本方針として位置づけ、各施策に取り組んでいます。

本書は、令和８年度の本市の教育施策の概要等を取りまとめたものです。

広く各方面でご活用いただければ幸いです。

福岡市教育委員会

目　　次

教育行財政

1　教育委員会・教育委員・教育長・・・・・・ 1
2　教育委員会会議・・・・・・・・・・・・・ 3
3　総合教育会議・・・・・・・・・・・・・・ 3
4　組織機構・分掌事務・・・・・・・・・・・ 4
5　職員数・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
6　教育委員会表彰・・・・・・・・・・・・・ 7
7　広報・広聴活動・・・・・・・・・・・・・ 7
8　教育振興基本計画・・・・・・・・・・・・ 8
9　令和８年度教育予算・・・・・・・・・・・ 10

学校教育

1　概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
2　教育指導・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
3　生徒指導・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
4　進路指導・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
5　学校体育・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
6　学校保健安全・・・・・・・・・・・・・・ 23
7　学校給食・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
8　特別支援教育・・・・・・・・・・・・・・ 28
9　高等学校教育・・・・・・・・・・・・・・ 29
10　公立夜間中学・・・・・・・・・・・・・・ 30
11　幼稚園教育・・・・・・・・・・・・・・・ 30
12　教職員・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
13　学校施設整備事業・・・・・・・・・・・・ 34
14　学校施設空調整備事業・・・・・・・・・・ 34
15　学校規模適正化事業・・・・・・・・・・・ 35
16　私学助成・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
17　就学援助・特別支援教育就学奨励費・・・・ 35
18　奨学制度・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
19　発達教育センター・・・・・・・・・・・・ 38
20　教育センター・・・・・・・・・・・・・・ 39

生涯学習

1　概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
2　生涯学習情報の提供・・・・・・・・・・・ 42
3　公民館・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
4　市民センター・・・・・・・・・・・・・・ 43
5　空港周辺共同利用会館・・・・・・・・・・ 45
6　家庭教育・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
7　子ども読書活動の推進・・・・・・・・・・ 45
8　青少年教育の充実・・・・・・・・・・・・ 45
9　成人教育・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
10　社会教育関係職員研修・・・・・・・・・・ 46
11　総合図書館・・・・・・・・・・・・・・・ 47

文化（文化財、文化関係施設）

1　概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55
2　文化財とその保護・・・・・・・・・・・・・・ 55
3　埋蔵文化財の保護・・・・・・・・・・・・・・ 56
4　鴻臚館跡の整備と調査・・・・・・・・・・・・ 57
5　福岡城跡の整備と修復工事・・・・・・・・・・ 57
6　美術館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58
7　福岡アジア美術館・・・・・・・・・・・・・・ 60
8　博物館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62
9　埋蔵文化財センター　・・・・・・・・・・・・ 64

人権教育

1　概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66
2　学校教育における人権教育の推進・・・・・・・ 66
3　社会教育における人権教育の推進・・・・・・・ 66

資料

1　市立学校一覧・・・・・・・・・・・・・・・・ 69
2　市内幼稚園・認定こども園一覧・・・・・・・・ 73
3　教育機関等一覧・・・・・・・・・・・・・・・ 78
4　公民館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 79
5　空港周辺共同利用会館・・・・・・・・・・・・ 82
6　附属機関・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 83
7　外郭団体等・・・・・・・・・・・・・・・・・ 87
8　ＰＴＡ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 87
9　市立高等学校の通学区域・・・・・・・・・・・ 87
10　福岡市内指定・登録文化財一覧・・・・・・・・ 88
11　令和７年度刊行物等一覧・・・・・・・・・・・ 106

教育行財政

１　教育委員会・教育委員・教育長・・・・・・・・・・　1
２　教育委員会会議・・・・・・・・・・・・・・・・・　3
３　総合教育会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3
４　組織機構・分掌事務・・・・・・・・・・・・・・・　4
５　職員数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
６　教育委員会表彰・・・・・・・・・・・・・・・・・　7
７　広報・広聴活動・・・・・・・・・・・・・・・・・　7
８　教育振興基本計画・・・・・・・・・・・・・・・・　8
９　令和８年度教育予算・・・・・・・・・・・・・・・　10

教　育　行　財　政

1　教育委員会・教育委員・教育長

福岡市教育委員会は、昭和 23 年に制定された「教育委員会法」に基づき、公選委員４人及び議会選出委員１人の計５人をもって昭和 27 年 11 月１日に発足しました。その後、昭和 31 年 10 月１日から施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（地教行法）により、市長が議会の同意を得て任命する委員５人で構成されることになりました。

教育長は、昭和 47 年４月１日の福岡市の指定都市移行以後、教育委員（委員長を含む。）以外の者から文部大臣の承認を得て教育委員会が任命していましたが、平成 11 年の地教行法改正により、文部大臣による任命承認制度が廃止され、教育委員（委員長を除く。）である者のうちから教育委員会が任命することになりました。

また、教育委員の定数は、平成 11 年の同法改正に基づき平成 12 年に制定された「福岡市教育委員会定数条例」により、６人とされました。

地方教育行政における責任体制の明確化等を目的に、平成 26 年に地教行法が改正され、平成 27 年４月に、教育委員会と市長が協議・調整を行う「総合教育会議」が設置されました。

また、平成 26 年の同法の改正により、教育委員長と教育長を一本化した新たな教育長を、教育委員とは別に、教育行政に関し識見を有する者の内から、地方公共団体の長が、議会の同意を得て任命すると位置付けられました。

（令和８年４月１日現在）

職　　名	氏　　名	委員(教育長)としての任期	当初委員（教育長）就任年月日
教　育　長	下　川　祥　二	R 7. 4. 1～R10. 3.31	R 7. 4. 1
委　　員	原　　志津子	R 4. 7. 7～R 8. 7. 6 H30. 7. 7～R 4. 7. 6	H30. 7. 7
委　　員	武　部　愛　子	R 5. 4. 1～R 9. 3.31 H31. 4. 1～R 5. 3.31	H31. 4. 1
委　　員	德　成　晃　隆	R 6.12.28～R10.12.27 R 2.12.28～R 6.12.27	R 2.12.28
委　　員	沖　田　由　香	R 6. 9.12～R10. 9.11	R 6. 9.12
委　　員	谷　口　倫一郎	R 7. 4. 2～R11. 4. 1	R 7. 4. 2



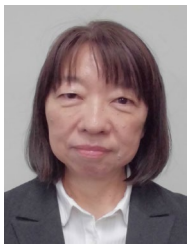
教育長

下　川　祥　二



委　員

原　　志津子



委　員

武　部　愛　子



委　員

德　成　晃　隆



委　員
（保護者）

沖　田　由　香



委　員

谷　口　倫一郎

◎　歴代教育委員・教育委員長・教育長

教育委員

氏　名	期　間
松浦成見	S27.11. 1～S31. 9.30
篠原金門	S27.11. 1～S31. 9.30
板橋ユキエ	S27.11. 1～S30.10.18
石井俊光	S27.11. 1～S31. 9.30
藤村寛太	S27.11. 1～S30. 5. 1
松井倫助	S30. 5.27～S31. 9.30
山田穣	S31.10. 1～S31.10.31
徳永ヨシ	S31.10. 1～S32. 9. 2
平野貞一	S31.10. 1～S35. 9.30
深見平次郎	S31.10. 1～S34. 9.30 S34.11. 1～S38.10.31 S38.12.14～S39.11.10
操坦道	S31.11. 3～S32. 9.30 S32.10. 1～S36. 9.30
妹尾ハツミ	S33. 3.28～S33. 9.30 S33.10. 1～S37. 6.18
貝島義之	S35.10. 1～S39. 9.30
石橋忠次	S36.11.17～S40.11.16
安蔵孝	S37.12.19～S41.12.18 S41.12.20～S45.12.19
吉武不二男	S39.11.14～S42.12.13
池見茂隆	S39.11.14～S43.11.13
石井哲夫	S40.12.16～S44.12.15
真鍋秀海	S42.12.18～S46.12.17
増田友治	S44. 1.18～S48. 1.17
浅田猛	S44.12.19～S48.12.18
秦純乗	S47. 3.28～S51. 3.27
相島一之	S47.12.25～S50. 3.31
福澤秀利	S50. 6.23～S51.12.24 S51.12.25～S55.12.24
池見哲太郎	S48. 4. 2～S52. 4. 1 S52. 4. 2～S56. 4. 1
安部キヌ	S46. 4. 1～S50. 3.31 S50. 4. 1～S54. 3.31 S54. 4. 1～S56. 3.31
近江福雄	S51. 3.30～S55. 3.29 S55. 3.30～S59. 3.29
結城一義	S55.12.27～S59.12.26
白木勘治	S49. 6.27～S53. 6.26 S53. 7. 7～S57. 7. 6 S57. 7. 7～S61. 7. 6
笹渕勇	S56. 4. 2～S60. 4. 1 S60. 4. 2～S63. 7.31
矢野甲子男	S59.12.28～S63.12.27
池田數好	S61. 7. 7～S 2. 7. 6

氏　名	期　間
平田昌	S56. 4. 1～S58. 3.31 S58. 4. 1～S62. 3.31 S62. 4. 1～H 3. 3.31 H 3. 4. 1～H 4. 3.31
安田弘	S59. 7 .4～S63. 7. 3 S63. 7. 4～H 4. 7. 3
藤原豊治	S63.12.28～H 4.12.27
西津茂美	H 4.12.28～H 8.12.27
前田研一	S63. 9.14～H元. 4. 1 H元. 4. 2～H 5. 4. 1 H 5. 4. 2～H 9. 4. 1
小屋修一	H 2. 7. 7～H 6. 7. 6 H 6. 7. 7～H10. 7. 6
武野要子	H 4. 4. 1～H 7. 3.31 H 7. 4. 1～H11. 3.31
篠原忍	H11. 4. 1～H15 .3.31
西山陽雄	H 4. 7. 4～H 8. 7. 3 H 8. 7. 4～H12. 7. 3 H12. 7. 4～H16. 7. 3
池浦貞彦	H 8.12.28～H12.12.27 H12.12.28～H16.12.27
石村善悟	H 9. 4. 2～H13. 4. 1 H13. 4. 2～H17. 4. 1
陣川桂三	H16.12.28～H20.12.27
飯野毅紀	H10. 7. 7～H14. 7. 6 H14. 7. 7～H18. 7. 6 H18. 7. 7～H22. 7. 6
貝田由紀	H15. 4. 1～H19. 3.31 H19. 4. 1～H23. 3.31
大田夏美	H20. 7. 4～H24. 7. 3
森重隆	H17. 4. 2～H21. 4. 1 H21. 4. 2～H25. 4. 1
八尾坂修	H20.12.28～H24.12.27 H24.12.28～H28. 6.30
松原妙子	H16. 7. 4～H20. 7. 3 H22. 7. 7～H26. 7. 6 H26. 7. 7～H30. 7. 6
阿部晶子	H23. 4. 1～H27. 3.31 H27. 4. 1～H31. 3.31
木本香苗	H24. 7. 4～H28. 7. 3 H28. 7. 4～R 2. 7. 3
菊池裕次	H28. 7. 1～H28.12.27 H28.12.28～R 2.12.27
西村早苗	R 2. 7. 4～R 6. 7. 3
町孝	H25. 4. 2～H29. 4. 1 H29. 4. 2～R 3. 4. 1 R 3. 4. 2～R 7. 4. 1

教育委員長

氏　名	期　間
松浦成見	S27.11. 1～S31. 9.30
平野貞一	S31.10. 1～S35. 9.30
深見平次郎	S35.10. 5～S39.11.10
石橋忠次	S39.11.14～S40.11.13
吉武不二男	S40.12.20～S41.12.19
石井哲夫	S41.12.20～S44.12.15
真鍋秀海	S44.12.25～S46.12.17
秦　純乗	S47. 4.11～S51. 3.27
福澤秀利	S51. 3.29～S55.12.24
池見哲太郎	S56. 1. 7～S56. 4. 1
白木勘治	S56. 4. 3～S57. 7. 6
近江福雄	S57. 7. 7～S59. 3.29
白木勘治	S59. 5. 7～S61. 7. 6
池田數好	S61. 7. 7～H 2. 7. 6
平田　昌	H 2. 7. 7～H 4. 3.31
小屋修一	H 4. 4. 1～H10. 7 .6
西山陽雄	H10. 7. 7～H16. 7. 3
飯野毅紀	H16. 7.12～H22. 7. 6
貝田由紀	H22. 7.14～H23. 3.31
八尾坂　修	H23. 4.11～H28. 3.31

教育長

氏　名	期　間
石井哲夫	S27.11. 1～S30.12. 9
秦　純乗	S30.12.10～S36. 7. 1
原　犬若	S36. 8. 1～S39. 9.30
吉村一夫	S39.11.14～S41. 2.25
長束正之	S41. 4. 1～S44. 6. 1
豊島延治	S44. 6. 2～S47. 4.30
正木利輔	S47. 5. 1～S49. 6.30
古村澄一	S49. 7. 1～S51.11.30
戸田成一	S51.12. 1～S54. 6.30
西津茂美	S54. 7. 1～S60. 3.31
佐藤善郎	S60. 4. 1～H 2. 3.31
井口雄哉	H 2. 4. 1～H 5. 3.31
尾花　剛	H 5. 4. 1～H 8. 3.31
町田英俊	H 8. 4. 1～H11. 3.31
西　憲一郎	H11. 4. 1～H12. 9.30
生田征生	H12.10. 1～H16. 9.30
植木とみ子	H16.10. 1～H19. 3.31
山田裕嗣	H19. 4. 1～H23. 3.31
酒井龍彦	H23. 4. 1～H28. 3.31
星子明夫	H28. 4. 1～R 4. 3.31
石橋正信	R 4. 4. 1～R 7. 3.31

2　教育委員会会議

会議回数等

区　分	R5 年度	R6 年度	R7 年度
回　数	21	18	21
付議案	59	78	70
臨時代理報告事項	8	6	10
協議・報告事　項	33	38	38

3　総合教育会議

会議回数等

区　分	R5 年度	R6 年度	R7 年度
回　数	1	1	1
開催日	11 月 14 日	11 月 26 日	10 月 27 日

４ 組織機構・分掌事務

（令和８年４月１日現在）

- 教育長
  - 教育次長
  - 理事
  - 総務部
    - 総務課
      - 総務係：教育委員会の会議、文書、公印、法制、秘書、表彰、請願、陳情、議会、報道
      - 財務係：予算、決算
      - 学校経理係：学校予算の管理、教材教具等の取得・整備
      - （主査）：学校（高等学校を除く。）の会計事務に係る共同学校事務室との連絡調整
    - 教育政策課
      - 教育政策係長：総合企画、重要施策の企画・調整、調査、統計、広報、広聴
      - 教育政策係長：総合企画、重要施策の企画・調整、調査、統計、広報、広聴
    - 放課後こども育成課
      - 遊び場づくり係：放課後等の遊び場づくり事業（わいわい広場、昼間校庭開放事業）
      - 放課後児童育成係：放課後児童クラブ事業
      - 指導係：放課後児童クラブ支援員の研修・労務管理等
      - （主査）：放課後児童クラブの運営支援、施設管理等
    - 人権・同和教育課
      - 企画推進係：人権教育の総合的な企画・調整、地域改善対策奨学金の返還
      - ＰＴＡ・家庭教育支援係：ＰＴＡの活動支援、家庭教育の支援
      - （主査）：社会教育における人権教育の指導助言
    - 生涯学習課
      - 生涯学習係：市民センター及び公民館等との連絡に関すること
      - （主任社会教育主事）：社会教育の助言指導
    - 東市民センター
      - （主任社会教育主事）：社会教育の助言指導
    - 博多市民センター
      - （主任社会教育主事）：社会教育の助言指導
    - 中央市民センター
      - （主任社会教育主事）：社会教育の助言指導
    - 南市民センター
      - （主任社会教育主事）：社会教育の助言指導
    - 城南市民センター
      - （主任社会教育主事）：社会教育の助言指導
    - 早良市民センター
      - （主任社会教育主事）：社会教育の助言指導
    - 西市民センター
      - （主任社会教育主事）：社会教育の助言指導
    - 埋蔵文化財センター
  - 職員部
    - 職員課
      - 人事係：職員（教職員を除く。）の人事・研修、組織、事務分掌
      - 安全衛生係：安全衛生、公務災害補償、職員の福利厚生
    - 服務指導課
      - 服務指導第１係：職員の分限、服務、賞罰、公務員倫理
      - 服務指導第２係：職員の分限、服務、賞罰、公務員倫理
      - 服務指導第３係：職員の分限、服務、賞罰、公務員倫理
    - 労務・給与課
      - 労務係：職員の給与・勤務条件の基準
      - 給与係：給与の決定及び支給
      - （主査）：学校の働き方改革の推進等
    - 教職員第１課
      - 教職員第１係：学級編制、教職員の定数管理、臨時教職員の任免
      - 教職員第２係：教員採用試験の実施、教職員の任免
      - 教職員第３係：教員採用試験（特別選考）の実施、教育実習
    - 教職員第２課
      - （主任人事主事）：教職員の人事異動
      - 教職員人事企画係：教職員の人事評価、特定事業主行動計画に関すること
  - 教育環境部（部長（学校施設アセットマネジメント担当））
    - 教育環境課
      - 管理係：部の統括、部の庶務、契約・支払、教育施設等の取得・処分・管理、校舎・校庭の使用許可に関すること
      - 資金計画係：学校施設の整備に係る予算・決算・国庫補助・起債に関すること
    - 施設課
      - 計画係：学校施設及びその他教育施設等の整備計画に関すること
      - 整備第１係：教育施設等の営繕に関すること等
      - 整備第２係：教育施設等の営繕に関すること等
      - （主査）：学校施設に係る外構改良の推進
    - 学校設備課
      - 電気係：教育施設等の整備・維持補修等（電気）
      - 機械係：教育施設等の整備・維持補修等（機械）
      - （主査）：体育館空調の整備
      - （主査）：普通教室空調再整備の計画等
    - 用地・建替計画課
      - 建替計画第１係：教育施設等の建替計画等
      - 建替計画第２係：教育施設等の建替計画等
      - 用地管理係：教育施設等用地の管理
      - 用地計画係：教育施設等用地の取得・処分、教育施設等跡地の活用計画
    - 学校計画第１課
      - 学校計画係：学校の設置・廃止、学校の適正配置計画、通学区域の設定・変更
    - 学校計画第２課
      - 学校計画係：学校の設置・廃止、学校の適正配置計画、通学区域の設定・変更
      - 学校計画係：学校の設置・廃止、学校の適正配置計画、通学区域の設定・変更、福岡市立学校通学区域審議会
  - 教育支援部
    - 教育支援課
      - 教育支援係：教育支援部・指導部の統括、庶務、教科書無償給与、学校問題解決支援、高校生奨学金事業の調整
      - 学事係：就学事務、就学指導、就学援助、私学助成（幼稚園を除く。）、就学支援金
      - 学務支援係：指導部の予算・決算の統括、学校体育設備等の整備
    - 健康教育課
      - 保健係：児童生徒の保健、学校環境の衛生管理、児童生徒等の医療援助、保健器具・医薬品等の整備、児童生徒等の災害共済給付
      - 収納係：学校給食費の収納及び滞納整理
    - 給食運営課
      - 運営第１係：小学校給食の運営、小学校給食の民間委託、給食設備等の整備、学校給食衛生管理
      - 運営第２係：中学校・特別支援学校給食の運営、学校給食公社との連絡
      - 栄養係：学校給食の栄養指導、献立作成
      - （主任指導主事）：学校給食指導・食育推進に関する研修及び連絡調整等
    - 学校給食センター
      - 副所長：学校給食センターの運営・管理、中学校・特別支援学校給食の献立作成・栄養指導
      - 第１給食センター長：第１給食センターの運営・管理、中学校・特別支援学校給食の献立作成・栄養指導
      - 第２給食センター長：第２給食センターの運営・管理、中学校・特別支援学校給食の献立作成・栄養指導
      - 第３給食センター長：第３給食センターの運営・管理、中学校・特別支援学校給食の献立作成・栄養指導

- 指導部
  - 学校企画課
    - 学校企画係：学校教育に係る企画及び調整の統括
    - （主任指導主事）：学校教育に係る指導助言等
    - （主査）：保育所、幼稚園、小学校、中学校の連携の推進等
    - （主査）：小中学校における学びの改革に関する検討
    - （主任指導主事）：小中学校における学びの改革に関する検討
  - 小学校教育課
    - 小学校教育第１係：小学校教育に係る計画及び指導助言の統括
    - 小学校教育第２係：小学校の各教科等に関する指導助言の統括、教科用図書の採択、生徒指導
    - （主任指導主事）：小学校教育に係る指導助言等
  - 中学校教育課
    - 中学校教育第１係：中学校教育に係る計画及び指導助言の統括
    - 中学校教育第２係：中学校の各教科等に関する指導助言の統括、教科用図書の採択、生徒指導
    - （主任指導主事）：中学校教育に係る指導助言等
    - （主査）：部活動における指導体制等の検討
  - 高校教育課
    - 高校教育係：高校教育に係る計画及び指導助言の統括
    - （主任指導主事）：高校教育に係る指導助言等
    - （主査）：市立高校あり方に関する検討
  - 課長（高等教育検討担当）
    - （主査）：教育課程編成、関係機関との連絡調整等
    - （主任指導主事）：教育課程編成、関係機関との連絡調整等
    - （主査）：教員採用、勤務条件整備等
    - （主査）：教育課程編成、関係機関との連絡調整等
    - （主査）：校舎整備計画等
  - 安全・安心推進課
    - 学校対応支援係：事案対応に関する指導助言の統括
    - （主任指導主事）：事案対応に関する指導助言
    - （主査）：児童生徒の安全教育・事故防止に関する指導助言
  - 課長（学校法務担当）：学校事故・事案に関する法的観点からの助言指導、相談対応
  - 教育ICT推進課
    - 環境整備係：学校教育におけるＩＣＴの環境整備・活用
    - 活用推進係：ＩＣＴ教育の活用推進
    - （主任指導主事）：ＩＣＴ教育の活用推進
    - （主査）：教育データの活用
    - （主査）：教育データの活用に向けた連携基盤の構築
    - （主査）：教育情報ネットワークの再構築
  - 教育相談課
    - 推進係：課の予算・決算、庶務、経理
    - 相談係：教育相談に関する統括、教育支援センター運営
    - （主任指導主事）：スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、不登校対策に関する指導助言
    - （主査）：登校支援施策の推進
  - 発達教育センター
    - 計画管理係：施設の管理運営、連絡調整、特別支援教育の推進
    - 指導係：特別支援学校の教育課程等と指導・助言
    - 相談・支援係：就学相談、教育相談（特別支援教育）
    - （主任指導主事）：特別支援学校の指導・助言
  - 部長（高校教育等担当）
- 教育センター
  - 人材育成課
    - 管理調整係：センターの庶務、連絡調整、施設の管理
    - 研修企画係：研修講座の企画・実施の統括
    - （主任指導主事）：研修講座の企画・実施
    - 研究支援係：研究推進の支援、研修員等による調査研究の統括
    - （主任指導主事）：研究推進の支援、研修員等による調査研究
- 総合図書館
  - 運営課
    - 運営係：図書館の庶務、経理、連絡調整、総合図書館の指定管理
    - 企画係：図書館行政の総合企画、広報、図書館情報システムの運営・管理
  - 図書サービス課
    - 管理調整係：図書館事業の推進、分館との連絡調整、東図書館及び早良南図書館の指定管理
    - 読書活動支援係：読書活動支援、団体貸出・こども図書館・学校図書館支援センターの運営
    - 図書資料係：図書資料の収集・整理・閲覧・貸出・保存、図書資料の調査・相談、九州国連寄託図書館の運営
  - 文学・映像課
    - 文書資料係：公文書・行政資料の収集・整理・保存、閲覧、調査研究
    - 古文書係：古文書資料・郷土資料の収集・整理・保存、閲覧、調査研究
    - 映像係：映像ホールの企画、映像資料の収集・調査研究、渉外、映画の貸与、館外上映
    - 文化資料活用係：映像ホール及びミニシアターの管理運営、映像資料等及び文学資料の収集・整理・保存・活用、文学館運営
- 美術館
  - 学芸課長
- アジア美術館
  - 学芸課長
- 博物館
  - 学芸課長

市立学校：小学校１４７校　中学校７２校　特別支援学校１０校　高等学校４校　共同学校事務室４室

５　職員数

（令和８年５月１日現在）

区分			教育長	教育次長	理事	部長級	課長級	係長	主査	主任主事指導	主任主事人事	主任教育主事社会	主任主事学芸	係員	合計
合計			1	1	1	9	32	71	17	34	8			148	322
教育長			1												1
事務局	教育次長			1											1
	理事				1										1
	総務部	部長				1									1
		総務課					1	3	1					8	13
		教育政策課					1	2						3	6
		放課後こども育成課					1	3	1					6	11
		人権・同和教育課					1	2	1					2	6
	職員部	部長				1									1
		職員課					1	2						7	10
		服務指導課					1	3						2	6
		労務・給与課					1	2	1					10	14
		教職員第１課					1	3						8	12
		教職員第２課					1				8				9
	教育環境部	部長				1									1
		部長（学校施設アセットマネジメント担当）				1									1
		教育環境課					1	2						10	13
		施設課					1	3	1					11	16
		学校設備課					1	2	2					9	14
		用地・建替計画課					1	4						5	10
		学校計画第１課					1	1						2	4
		学校計画第２課					1	2						3	6
	教育支援部	部長				1									1
		教育支援課					1	3						11	15
		健康教育課					1	2						6	9
		給食運営課					1	3		1				6	11
	指導部	部長				1									1
		部長（高校教育等担当）				1									1
		学校企画課					1	1		3					5
		小学校教育課					1	2		5				1	9
		中学校教育課					1	2	1	4					8
		高校教育課					1	1		2					4
		課長（高等教育検討担当）					1		4	1				5	11
		安全・安心推進課					1	1	1	2					5
		課長（学校法務担当）					1								1
		教育ICT推進課					1	2	3	2				3	11
		教育相談課					1	2	1	4				4	12
	計			1	1	7	27	53	17	24	8			122	260
教育機関	学校給食センター							3							3
	東市民センター														
	博多市民センター														
	中央市民センター														
	南市民センター														
	城南市民センター														
	早良市民センター														
	西市民センター														
	発達教育センター						1	3		4				4	12
	埋蔵文化財センター														
	教育センター					1	1	3		6				3	14
	総合図書館					1	3	9						19	32
	美術館														
	アジア美術館														
	博物館														
	計					2	5	18		10				26	61

6　教育委員会表彰

福岡市では、昭和 33 年度から教育委員会表彰規則に基づき、福岡市教育の振興発展に貢献し、顕著な功績をあげた教育機関、個人及び団体等を例年 11 月３日（文化の日）に表彰しています。

年度別被表彰者数

区分＼年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
学　　校	11	11	16	7	8
公 民 館	0	0	0	0	1
教育関係職員	21	19	20	21	26
児童生徒等	54	76	84	84	104
個人・団体	3	3	1	1	2

7　広報・広聴活動

教育行政の情報について、市民に発信し、理解と信頼を得るため、各種の広報活動を行っています。

「福岡市教育委員会ホームページ」では、教育委員会の組織・方針、市立学校一覧や通学区域などの学校情報、広報・統計、問い合わせの多い各種手続きなどについて、広く市民等に対して情報提供するとともに、休校などの緊急情報の提供を行っています。

「福岡市教育委員会公式Ｘ及びFacebook」では、緊急情報を含む、市立学校に関する児童生徒・保護者向けの情報の提供を行っています。

また、市長部局が実施する広報活動あるいは広聴活動についても、積極的にその活用を図り、広報・広聴活動の充実に努めています。

(1) 広報誌の発行

広報誌	掲載内容	発行部数等	発行月
教　育 要　覧	・前年度の事務事業実績 ・当該年度の事務事業あらまし	年１回 ＨＰ掲載 昭和30年創刊	令和７年 10月

(2) 記者発表等

重要施策や事業について広く市民の理解と信頼を得るため、市政記者に対し必要に応じて記者発表や、また、主要行事・ニュース等についても、随時市政記者クラブに資料提供を行っています。

○ 記者発表件数（令和７年度）

・記者発表（レク）　０件

・資料提供　　43 件

(3) 広聴活動

市民から寄せられた市政についての意見・要望等のうち教育委員会所管事業に関する受付件数

※　市政への提案は、メール及びはがき・封書の合計

区　　分	令和５年度	令和６年度	令和７年度
市政への提案	403	381	441
新聞に見る市民の声	3	2	4
市長受け団体要望	3	2	3
合　　計	409	385	448

8　教育振興基本計画

－第３次福岡市教育振興基本計画－



○策定
令和７年５月

○期間
令和７年度から令和11年度

○ホームページアドレス
https://www.city.fukuoka.lg.jp/kyoiku-iinkai/k-seisaku/ed/new-plan.html

令和元年６月に策定した「第２次福岡市教育振興基本計画」が、令和６年度をもって計画期間を終了したことから、「第３次福岡市教育振興基本計画」を策定しました。

福岡市の子どもたちが様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の作り手となるために、これまで進めてきた取組みの成果・課題を踏まえ、「目指す人間像」や子どもたちに「身に付けてほしい力」を明らかにし、これからの福岡市の教育が進むべき方向性を示しています。

(1)　目指す人間像（こんな人になってほしい）

現代は、変化が激しく、複雑で将来の予測が困難な時代と言われています。

このような時代において、福岡市の子どもたちが、未知の環境や変化を前向きに受け止め、豊かで幸福な人生を送り、持続可能な社会の創り手となることができるよう、目指す人間像を**「自分の可能性を信じ、様々な変化や困難に主体的に向き合い、他者と力を合わせ、豊かな人生やよりよい社会を切り拓く人」**としています。

(2)　身に付けてほしい力

福岡市の子どもたちが、「目指す人間像」に向かって成長するために、義務教育９年間を通して、特に身に付けてほしい力を示しています。また、これらの力は、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくために、生涯を通して身に付け、高めていくことが求められます。

①　自ら学ぶ力

自ら問いや目標を持ち、見通しや計画を立て、学びの方法や環境（人・空間・時間）を選び、追及・解決し、自ら学んだことを振り返り、新たな学びにつなげていくことが必要です。

②　他者と協働する力

自分が地域社会の一員であるという自覚を持ち、多様な人々と関わり、自分のことを理解し、自分と異なる他者についてもよく知り、尊重することが大切です。そのうえで、異なる意見がある中でも合意形成を図り、納得のいく解決策を見つけられるようになることが求められます。

③　未来をつくる力

自ら学んだことや、他者と協働して得た経験を基に、なりたい自分を思い描き、その実現に向けて学校、家庭などの身の周りや社会の変化を自分事として前向きに受け止め、失敗を恐れずに新しいことに挑戦する意志を持ち続け、行動に移していくことが必要です。

(3)　基本方針

子どもたちが「自ら学ぶ力」、「他者と協働する力」、「未来をつくる力」を身に付けていくため大切にしていくこととして、５つの基本方針を示しています。

①　子どもを主体とした学びの推進

受動的な学びから、自ら問いや目標を持ち、試行錯誤しながら学びを調整し、解決し、次の学びに向かう自律的な学びへと転換していく必要があります。

そのためには、教員は学習者主体の視点を意識し、子ども一人ひとりの可能性を引き出し、学びを支える伴走者としての役割を果たすことが求められます。学びに必要な人や空間・時間などを整えていくことで、子どもを主体とした学びを推進します。

②　多様な教育ニーズへの対応

きめ細かな相談体制の充実により個々のニーズを把握するとともに、多様な学びの場を確保するなど、本人の意思を尊重し、関係機関とも連携しながら、個々の状況に応じた適切な支援に取り組みます。

③　教員の資質・意欲の向上

優れた人材の採用や資質・能力の向上に　取り組むとともに、学校における働き方改革や教員の処遇改善など、教員を取り巻く環境の整備を推進します。

また、質の高い教育を実現し、複雑化・困難化する課題に対応していくため、「チーム学校」の推進に取り組みます。

④　安全・安心な教育環境の整備

施設の老朽化等の状況も踏まえながら、教育環境の向上を推進するとともに、学校・家庭・地域等の連携のもと、社会全体で子どもたちの安全を確保する取組みを進めていきます。

⑤　地域連携の推進・家庭教育の支援

家庭や地域等の力を学校教育活動に積極的に生かしていくため、学校を地域や社会に対して開き、家庭や地域等との連携・協働や、地域・社会の多様な人材等の活用による教育活動の充実に取り組みます。また、

地域や家庭における教育の支援に取り組みます。

(4)　計画推進にあたっての共通の視点

基本方針を具体的に施策や事業として推進していくにあたり、特定の分野に限らず、これからの時代において求められる視点を示しています。

①　Well-being（ウェルビーイング）

Well-beingとは、身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含むものとされています。また、個人のみならず、個人を取り巻く場や地域、社会が持続的に良い状態であることを含む包括的な概念とされています。

福岡市の教育を進めていくうえでも、子どもの権利が尊重され、子どものWell-beingを向上させるという視点を常に意識しながら取組みを進めていきます。

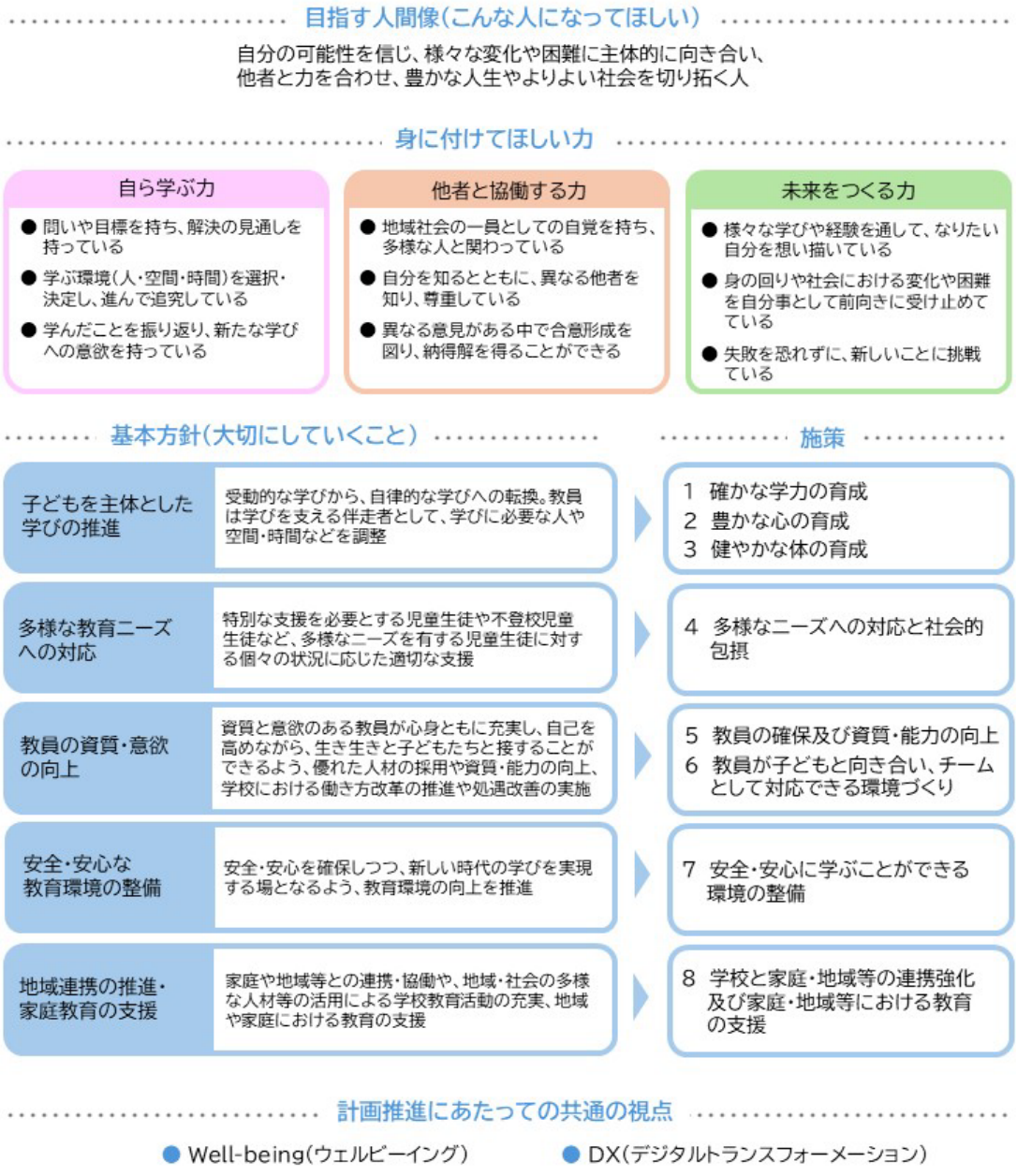
また、子どものWell-beingを高めるためには、教員のWell-beingを確保することが必要であり、学校が教員のWell-beingを高める場となることが求められています。

②　ＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）

ＤＸとは、「デジタル化でサービスや業務、組織を変革すること」とされています。

教育の質の向上や、困難を抱える子どもの支援、教員業務の適正化・効率化など様々な場面において、デジタル化することでよりよい効果や新たな価値を見出すことができないか意識しながら取組みを進めていきます。

(5)　計画の全体像



９　令和８年度教育予算

令和８年度の教育予算（一般会計当初予算）は 1,653 億 6,549 万円で、福岡市の一般会計 1 兆 1,318 億 1,100 万円に占める割合は、14.6％となり、保健福祉費（23.3％）、こども育成費（15.7％）及び経済観光文化費（15.5％）に次ぐ、４番目に高い割合となっています。

令和８年度の重要施策は次のとおりです。

(1) 福岡市教育振興基本計画の推進（1,972 千円）

子どもたちへの教育を一層充実していくため、これからの福岡市の教育が進む方向性を示す指針として策定した「第３次福岡市教育振興基本計画」について、周知及び着実な推進を図ります。

(2) 確かな学力の育成（4,824,465 千円）

研究指定校において、子どもを主体とした学びの実現に向けた授業改善の実践事例を創出し、全市展開を図るとともに、放課後補充学習の充実を図るため、支援員の配置を拡充します。

また、児童生徒への指導や支援において、教育データを効果的に活用するため、教育データ連携基盤の検証運用や検証結果に基づく改修を推進するとともに、新たな学びの拠点として、教育研究施設の整備を進めます。

さらに、児童生徒による職業情報の収集や、教員による出前授業の選定等を支援するため、企業等の情報を検索・活用できるシステムを構築することで、アントレプレナーシップ教育の充実を図るなど、キャリア教育の推進に取り組みます。

あわせて、児童生徒が英語でコミュニケーションを図る資質・能力を育成するため、外国語ゲストティーチャーやネイティブスピーカーを効果的に活用するとともに、モデル校において、ＡＩアプリを活用した英語教育を導入するなど、英語教育の推進を図ります。

加えて、学習の質向上や生成ＡＩを活用できる人材育成を図るため、高校生向け生成ＡＩリテラシー講座等を実施するほか、専門学科を有する高校の学科改編や共学化に取り組むとともに、高等専門学校の新設に向け、カリキュラムの検討等を進めます。

(3) 豊かな心の育成（446,325 千円）

考え、議論すること等を重視した道徳の授業改善を進めるとともに、家庭・地域等と連携しながら、児童生徒の道徳性を育成します。

また、各学校で実施する人権教育研修の支援など、教員の人権意識や指導力向上を図る取組みを推進するとともに、自然体験活動の充実を図るなど、児童生徒の豊かな人間性や社会性の育成に取り組みます。

さらに、子どもの読書活動を推進するため、学校司書の配置を拡充し、学校図書館の機能充実に取り組みます。

あわせて、いじめが起きない学級や学校を実現するため、児童生徒が主体的に取り組む「いじめゼロサミット」の開催や「いじめゼロ宣言」に基づく各学校での取組みへの支援に加え、Q-U アンケートや学校ネットパトロールを実施するほか、いじめの未然防止・早期対応に向けたプロジェクトチームを新設し、調査研究を進めるとともに、学校を支援する体制を強化します。

(4) 健やかな体の育成（10,601,515 千円）

児童生徒が運動やスポーツに親しむことを通して、体力向上を推進するとともに、水泳授業の充実等を図るため、民間プール等の活用を推進します。

また、学校給食の質向上のため、スチームコンベクションオーブン等の整備に着手するとともに、給食食材料費を増額し、献立の充実を図ります。

さらに、学齢期の子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、給食食材料費を公費負担するとともに、アレルギー等の身体的事情により給食を継続して全停止している児童生徒の保護者に対し、給食費相当額を給付します。

(5) 多様な教育ニーズへの対応と社会的包摂

（3,318,402 千円）

児童生徒一人ひとりに対して、問題の未然防止や早期対応ができるよう、専門家等による相談支援体制の充実を図ります。

学校や学級に行きづらさを感じる児童生徒に対しては、全ての教育支援センターにおいて給食提供を実施するなど、教育支援センターに入級する児童生徒への支援を拡充するとともに、学校生活中の見守りを行う教育支援員を増員し、対象となる全ての小学校に配置します。また、不登校やひきこもり傾向にある児童生徒の家庭に派遣する大学生相談員の派遣回数を拡充するとともに、不登校児童生徒及び保護者の実情や支援ニーズを把握するため、ヒアリング等による調査を実施するなど、個々の児童生徒に応じた組織的かつ適切な支援や指導の充実を図ります。

特別な支援を要する児童生徒に対しては、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導や必要な支援等の充実を図るため、自閉症・情緒障がい、難聴、弱視の特別支援学級等の多様な学びの場を整備するほか、肢体不自由のある児童生徒の安全性の向上を図るため、小・中学校にエレベーターを設置します。また、通級指導教室については、他校へ通級することに伴う児童生徒及び保護者の負担を軽減するため、通級指導担当教員による巡回指導を本格実施します。さらに医療的ケアが必要な児童生徒に対する支援を強化するため、学校看護師を増員するとともに、スクールバスへの乗車が困難な特別支援学校児童生徒を対象とした通学支援を拡充するほか、宿泊行事に同行する訪問看護師の費用を負担するなど、インクルーシブ教育システムの充実を図ります。あわせて、就労支援に特化した特別支援学校高等部（高等学園）に通学する生徒への支援を拡充するため、給食提供の開始に必要な施設整備に着手します。加えて、特別支援教育

を担う人材の更なる確保を図るため、特別支援学校教諭免許状を保有する新規採用職員を対象とした奨学金返還支援事業の実施や、現職教員を対象とした免許法認定通信教育等の受講の支援に取り組みます。

日本語指導が必要な児童生徒に対しては、きめ細かな指導を受けることができるよう、日本語指導教室を拡充するとともに、オンライン教室を増設し、オンラインでの日本語指導体制の確立に必要な環境整備を推進するなど、指導や支援の充実を図ります。

(6) 教員の確保及び資質・能力の向上（63,477 千円）

大学との連携の充実による教員の養成や、多様な専門性を持つ人材の確保等に向けた採用手法の改善により、実践力のある教員の確保に取り組みます。

また、教職員が時代の変化に対応した資質・能力を身に付けるとともに、研修を通じて視野を広げることができるよう、研修内容の充実を図るほか、教育課題解決に向けた調査研究や情報提供を行います。

さらに、教職員の心の健康づくりを推進するため、メンタルヘルス対策に取り組みます。

(7) 教員が子どもと向き合い、チームとして対応できる環境づくり（2,532,284 千円）

子どもの学びの質の向上のため、授業準備時間を十分確保できるよう、福岡市独自で国の基準を超えた教員を配置します。

また、教員が子どもと向き合う時間や自らの授業を磨く時間を確保できる環境づくりを進めるため、部活動指導員の増員やロケーションフリーで校務を行うことができるクラウド型校務支援システムの活用に加え、新たに、電話対応におけるトラブルの防止や記録に要する負担軽減等を図るため、全ての市立学校に通話録音装置を導入します。

さらに、専門コンサルタントの支援による自走的な業務改善を行うとともに、全教員を対象とした生成ＡＩ活用研修を実施して業務効率化を図るなど、働き方改革を推進します。

あわせて、教頭マネジメント支援員の配置を拡充するなど、学校のマネジメント体制強化に取り組みます。

(8) 安全・安心に学ぶことができる環境の整備（15,495,665 千円）

子どもたちが安心して学ぶことができる教育環境を充実させるため、校舎等の長寿命化改良や建替え、体育館の空調整備等を推進します。また、小学校給食室については、労働環境を改善するため、空調の早期整備完了を図ります。

さらに、小規模校や過大規模校が抱える教育課題を解決し、子どもたちにより良い教育環境を提供するため、「福岡市立小・中学校の学校規模適正化に関する実施方針」に基づき、学校規模の適正化を推進します。

あわせて、小学校１年生及び市外からの転校生に防犯ブザーを配付するとともに、スクールガードリーダーによる学校の巡回指導やスクールガード講習会を実施するなど、登下校時及び放課後における児童生徒の防犯や交通安全対策に取り組みます。

(9) 学校と家庭・地域等の連携強化及び家庭・地域等における教育の支援（58,663 千円）

地域全体で子どもたちを育む学校づくりを推進するため、学校サポーター会議やコミュニティ・スクール等の取組みを継続するとともに、地域・社会の多様な人材等を活用して教育活動の充実に取り組みます。

また、子どもたちが規則正しい生活習慣等を身に付けるため、ＰＴＡと連携した家庭教育支援講座を実施するなど、家庭教育を支援するとともに、地域において自主的・組織的に学習活動や啓発活動等を行う団体の支援に取り組みます。

(10) 図書館事業の充実（182,621 千円）

今後の福岡市総合図書館のあり方を示す「福岡市総合図書館ビジョン（第２次）」を策定し、引き続き魅力ある図書館づくりを推進します。

また、電子図書館サービスについて、児童生徒へ配布しているタブレット端末を活用した利用に取り組みます。

さらに、総合図書館で収蔵しているアジア映画等を広く活用するため、公的施設等への貸与や館外上映を推進します。

(11) 放課後等における居場所の充実（7,476,505 千円）

放課後児童クラブ事業について、支援員の増員等を行うとともに、狭隘化施設について、計画的に施設の増改築を進めます。

また、放課後等に校庭で自由に安心して遊べる場として、わいわい広場の充実に取り組みます。

学校教育

１　概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
２　教育指導・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
３　生徒指導・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
４　進路指導・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
５　学校体育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
６　学校保健安全・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
７　学校給食・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
８　特別支援教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
９　高等学校教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
10　公立夜間中学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
11　幼稚園教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
12　教職員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32
13　学校施設整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・34
14　学校施設空調整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・34
15　学校規模適正化事業・・・・・・・・・・・・・・・・・35
16　私学助成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35
17　就学援助・特別支援教育就学奨励費・・・・・・・・・・35
18　奨学制度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35
19　発達教育センター・・・・・・・・・・・・・・・・・・38
20　教育センター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・39

学　校　教　育

1　概要

(1) 学校教育の目的

学校教育は、児童生徒の知・徳・体の調和のとれた発達を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行うものです。また、公教育としての学校教育は、国民・市民全体の負託にこたえ、すべての児童生徒の心身の発達に即して、公平に行われるものです。

(2) 学習指導要領について

① 経緯

今の子どもたちやこれから誕生する子どもたちが、成人して社会で活躍する頃には、我が国は厳しい挑戦の時代を迎えていると予想されています。生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により、社会構造や雇用環境は大きく、また急速に変化しており、予測が困難な時代となっています。また、急激な少子高齢化が進む中で成熟社会を迎えた我が国にあっては、一人ひとりが持続可能な社会の担い手として、その多様性を原動力とし、質的な豊かさを伴った個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出していくことが期待されています。

こうした状況を踏まえ、平成 26 年 11 月に文部科学大臣から、新しい時代にふさわしい学習指導要領等の在り方について諮問を受けた中央教育審議会は、平成 28 年 12 月 21 日に「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」の答申を行いました。

この答申を踏まえ、平成 29 年３月 31 日に学校教育法施行規則を改正するとともに、幼稚園教育要領、小学校学習指導要領及び中学校学習指導要領を公示しました。小学校学習指導要領は、平成 30 年４月１日から第３学年及び第４学年において外国語活動を実施する等の円滑に移行するための措置（移行措置）を実施し、令和２年４月１日から全面実施となりました。また、中学校学習指導要領は、平成 30 年４月１日から移行措置を実施し、令和３年４月１日から全面実施となりました。

② 基本方針

ア　基本的な考え方

(ｱ) 教育基本法、学校教育法などを踏まえ、これまでの我が国の学校教育の実践や蓄積を活かし、子どもたちが未来社会を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成することを目指す。その際、子どもたちに求められる資質・能力とは何かを社会と共有し、連携する「社会に開かれた教育課程」を重視すること。

(ｲ) 知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力等の育成のバランスを重視する平成 20 年改訂の学習指導要領の枠組みや教育内容を維持した上で、知識の理解の質を更に高め、確かな学力を育成すること。

(ｳ) 道徳教育の充実や体験活動の重視、体育・健康に関する指導の充実により、豊かな心や健やかな体を育成すること。

イ　育成を目指す資質・能力の明確化

中央教育審議会答申においては、予測困難な社会の変化に主体的に関わり、感性を豊かに働かせながら、どのような未来を創っていくのか、どのように社会や人生をよりよいものにしていくのかという目的を自ら考え、自らの可能性を発揮し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となる力を身に付けられるようにすることが重要であること、こうした力は全く新しい力ということではなく学校教育が長年その育成を目指してきた「生きる力」であることを改めて捉え直し、学校教育がしっかりとその強みを発揮できるようにしていくことが必要とされました。また、汎用的な能力の育成を重視する世界的な潮流を踏まえつつ、知識及び技能と思考力、判断力、表現力等をバランスよく育成してきた我が国の学校教育の蓄積を生かしていくことが重要とされました。

このため「生きる力」をより具体化し、教育課程全体を通して育成を目指す資質・能力を、「何を理解しているか、何ができるか（生きて働く「知識・技能」の習得）」、「理解していること・できることをどう使うか（未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成）」、「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養）」の三つの柱に整理するとともに、各教科等の目標や内容についても、この三つの柱に基づく再整理を図るよう提言がなされています。

ウ　「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進

子どもたちが、学習内容を人生や社会の在り方と結び付けて深く理解し、これからの時代に求められる資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に

学び続けることができるようにするためには、これまでの学校教育の蓄積を生かし、学習の質を一層高める授業改善の取組みを活性化していくことが必要であり、我が国の優れた教育実践に見られる普遍的な視点である「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進することが求められています。

エ　各学校におけるカリキュラム・マネジメントの推進

各学校においては、教科等の目標や内容を見通し、特に学習の基盤となる資質・能力や現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力の育成のためには、教科等横断的な学習を充実することや、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通して行うことが求められています。これらの取組みの実現のためには、学校全体として、児童生徒や学校、地域の実態を適切に把握し、教育内容や時間の配分、必要な人的・物的体制の確保、教育課程の実施状況に基づく改善などを通して、教育活動の質を向上させ、学習の効果の最大化を図るカリキュラム・マネジメントに努めることが求められます。

③ 教育内容の主な改善事項

ア　言語能力の確実な育成

言語能力は、児童生徒の学習活動を支える重要な役割を果たしており、すべての教科における資質・能力の育成や学びの基盤となるものです。現行の学習指導要領では、国語科を中心に教育課程全体を通じて言語能力の育成を図ることが重視されており、言語活動の充実や語彙の段階的な獲得が求められています。児童生徒が自らの考えを形成し、論理的に表現する力を育てるためには、話す・書く・読むといった活動を通じて、情報の収集、整理、構成、共有といった学習過程を明確にする必要があります。また、言葉による見方や考え方を育てることにより、言語への自覚を高め、思考力や表現力の向上につながります。さらに、昔話や短歌、俳句などの伝統的な言語文化に親しむことで、言葉の響きや文化的背景への理解を深めることも重要です。読書活動の充実や学校図書館の活用を通じて、児童生徒の言語感覚や表現力を育てる取り組みも進められています。これらの指導は、国語科だけでなく他教科との連携を図りながら、教育課程全体で組織的・計画的に展開されることが求められており、言語能力の確実な育成に向けた体制づくりが今後ますます重要となっています。

イ　理数教育の充実

算数・数学では、学習した内容を次の学習に活かせることに気づき、それを活用したり、実生活の場面をイメージしたりしながら学習すること、理科では、観察や実験の充実により、さらに学習の質を向上させます。

ウ　伝統や文化に関する教育の充実

国際社会で活躍する人材の育成を図るため、我が国や郷土の伝統や文化について理解を深め、そのよさを継承・発展させるための教育を充実します。

エ　体験活動の充実

児童生徒が、生命の有限性や自然の大切さ、挑戦や他者との協働の重要性を実感するための体験活動の充実、自然の中での集団宿泊活動や職場体験などの充実を図ります。

オ　外国語教育の充実

小学校において、中学年で「外国語活動」を、高学年で「外国語科」の導入、小・中・高等学校一貫した学びを重視し、外国語能力の向上を図る目標を設定するとともに、国語教育との連携を図り日本語の特徴や言語の豊かさに気付く指導を充実します。

カ　情報活用能力の育成（プログラミング教育を含む）

情報手段の基本的な操作の習得や、プログラミング的思考、情報モラル、情報セキュリティ、統計等に関する資質・能力等といった情報活用能力を育成するために、コンピュータ等を活用した学習活動やプログラミングを体験しながら論理的思考力を身に付けるための学習活動などを位置付けます。

キ　特別支援教育の充実

特別支援学校学習指導要領では、a 障害の重度・重複化、多様化への対応、b 自立と社会参加に向けた職業教育の充実、c 交流及び共同学習の推進等の充実を図ります。

④ 授業時数等の取扱い

学習指導要領における標準授業時数については、以下のとおりとなります。なお、小学校第３～６学年においては、旧学習指導要領から授業時数が増加となっています。

・小学校

第１学年	850 時間		
第２学年	910 時間		
第３学年	945 時間	→	980 時間
第４～６学年	980 時間	→	1,015 時間

・中学校

全学年	1,015 時間

2　教育指導

(1) 保幼小中連携の推進

幼稚園、保育所（園）、認定こども園、小学校、中学校、特別支援学校の教育内容・方法等を相互に理解し、校種間の関係を密にしながら、各校園等の教育活動を充実させていくために、「福岡市保・幼・小・中連絡協議会」を要に小中連携教育担当者会等を実施し、保幼小中連携の推進を図ります。

また、平成 21 年度に策定した「福岡市小中連携教育指針」をもとに、平成 31 年３月「保幼小中連携教育推進の手引き」を作成しました。地域における連携の在り方を示すとともに、校種間の連携の充実にむけ、義務教育９年間を見通し、小中それぞれのよさを生かし連続性のある指導を積み上げ、教育活動の充実や児童生徒の交流による、よりよい人間関係づくりなどを目指すための教育の方法として、小中連携教育を推進します。

(2) 個に応じたきめ細かな指導

① 少人数（35人以下）学級の実施

令和３年度に、新型コロナウイルス感染症対策として、児童・生徒の教室内での身体的距離を確保するため、小中学校全学年で35人以下学級を暫定実施したところ、学習面・生徒指導面の効果が確認されたことから、令和４年度からは本格的に実施し、個に応じたきめ細かな指導の一層の充実を図っています。

② 少人数指導の実施

教育実践体制として、学級を複数の教員で指導するティーム・ティーチングや、学級を児童生徒の学力実態等に基づき分割して指導する習熟度別による分割指導など、児童生徒の発達段階の課題を踏まえた体制を整備することによって、各学校が自校の課題を踏まえて工夫して取り組めるようにしています。

③ 一部教科担任制の実施

児童の興味や関心に応える学習等により学力の向上等を図るため、小学校５、６年生を中心に、一部教科担任制を実施しています。

(3) 道徳教育の重要性

学校における道徳教育は、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標とする教育活動であり、社会の変化に対応しその形成者として生きていくことができる人間を育成するうえで重要な役割をもっています。

平成27年３月27日に学校教育法施行規則が改正され、「道徳」を「特別の教科　道徳」にするとともに、学習指導要領の一部改正が行われ、小学校においては、平成 30 年４月１日から、中学校においては、平成31年４月１日から全面実施されているところです。学習指導要領改訂の基本方針には、道徳教育を通じて、個人が直面する様々な状況の中で、そこにある事象を深く見つめ、自分はどうすべきか、自分に何ができるかを判断し、そのことを実行する手立てを考え、実践できるようにしていくなどの改善が必要であると示されています。

【道徳教育の推進】

地域行事やボランティア体験などの体験活動を通して、思いやりの心や命を大切にする心を高めるため、平成 25～27 年度に行った道徳教育推進事業におけるモデル校での実施の成果を生かし、平成 28 年度から、全小中学校において道徳教育を推進しています。なお、小中学校において「特別の教科　道徳」を全面実施することに伴い、「道徳教育推進の手引き」を改訂し、引き続き、体験活動を充実させることや、地域・保護者に対して道徳の授業公開を行うなど、学校、家庭・地域が一体となった道徳教育の充実を図ります。

(4) 学力パワーアップ総合推進事業

学力の課題を克服するために、全小中学校において、「学力向上のための指導資料」を作成し、PDCA サイクルに基づいた計画的、組織的な学力向上の取組を推進しています。

① 学力向上のための指導資料の作成

全小中学校において、自校の学力課題を踏まえた学力向上のための指導資料を作成し、分析結果から明らかになった課題を克服することで学力向上を図ります。

② 学習用ソフト（AI ドリル）の導入

全小中学校において、授業や家庭学習で学習用ソフト（AI ドリル）を活用し、児童生徒一人ひとりの習熟度に応じた学習を行うことにより、確かな学力の定着を図ります。

③ ふれあい学び舎事業

すべての小学校で、元教員や地域の方、学生などを指導員として放課後補充学習を実施し、学習意欲の向上や学習習慣の定着を図ります。

(5) 学習指導員派遣事業

学習指導員を小中学校（小規模校などを除く）に配置し、授業時間中のティーム・ティーチング等によって児童生徒の学びの支援を行います。

(6) 学力調査の実施

学力調査については、福岡市独自の生活習慣・学習定着度調査と文部科学省の全国学力・学習状況調査を実施し、調査結果をもとに、各学校において、指導方法の工夫改善に活用しています。

① 生活習慣・学習定着度調査

ア 趣旨

発達段階に応じた連続性のある教育活動の推進のため、生活習慣や学習内容等の定着状況の調査を実施しています。福岡市独自の調査と全国調査（小６、中３）を行い、日々の授業改善とともに、補充的な学習や発展的な学習など、個に応じたきめ細かな指導に役立てています。

この調査の結果を踏まえて、以下の取組みの推進を図っています。

○ 学習指導や生徒指導、進路指導の検証改善サイクルを確立するとともに、生活習慣や学習内容の一層の定着を図ります。

○ 児童生徒に生活習慣や学習内容の定着状況を把握させ、意欲を喚起します。

イ 調査対象学年・内容・方法

(ｱ) 対象学年

小中学校 全学年

(ｲ) 内容

○ 生活習慣調査

・基本的生活習慣、学校生活への適応、立志及び各教科についての関心･意欲･態度等

○ 学習定着度調査

・小学校・・・・・国語、算数

・中学校・・・・・国語、数学

(ｳ) 方法

１人１台端末を活用しての実施

ウ 調査実施日

生活習慣調査は年１回、学習定着度調査は年２回実施

② 全国学力・学習状況調査

ア 目的

本調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的としています。

イ 実施方法

○ 調査対象及び学年及び教科

・小学校 第６学年児童、特別支援学校小学部第６学年児童 ＜教科＞国語、算数 ＜質問調査＞

・中学校 第３学年生徒、特別支援学校中学部第３学年生徒 ＜教科＞国語、数学、英語 ＜質問調査＞

○ 調査の内容・範囲

・教科に関する調査

学習指導要領に定める指導目標や内容について、検査問題で測定可能な範囲についての調査

・児童・生徒質問調査

児童生徒の学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査

・学校質問調査（対象：学校長）

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査

○ 調査期日（令和８年度）

・令和８年４月 20 日（月）～５月 29 日（金）

※教科や学校ごとに調査日は異なる

(7) 国際教育

① 外国人英語指導講師（以下、NS）の配置

福岡市における英語教育の一層の充実・発展を図るため、外国青年招致事業として、昭和 62 年７月から教育委員会に、外国語指導助手（ALT）の配置を実施。平成 16 年度より民間委託による NS の配置に移行し、平成 19 年６月より完全民間委託となりました。

NS は小学校、中学校、特別支援学校で、児童生徒の英語教育に従事するとともに、英語教員の研修、英語教材の作成及び英語スピーチコンテストの審査等を行っています。

平成 24 年度からは、中学校のすべての学級に、さらに、平成 30 年度からは、小学校５、６年生にも、NS を配置しています。

② 外国語活動支援事業

小学校の外国語活動において、３年生に 18 時間、４年生に８時間ゲストティーチャーを配置し、言語や文化についての体験的な理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養います。

③ 国際交流活動の支援

学校における国際教育を推進するため、市立学校が行う姉妹校を始めとする外国の学校等との交流行事に要する費用を支援しています。

令和７年度は、22 校で行われた交流行事 32 件を支援しました。

〈支援した事業内容の内訳〉

児童生徒による絵画・作文等の作品交流	1 件
児童生徒の受入れ（訪問団との交流行事、児童生徒のホームステイ）	22 件
児童生徒の派遣	8 件
オンライン交流	1 件

④ 外国人児童生徒等に関する日本語指導

福岡市立学校に在籍する日本語指導が必要な児童生徒が、いち早く日本の学校生活になじみ、日本語での学習に取り組むことができるようになることを目的として、日本語指導のサポートを行います。

また、コーディネーター等の助言により、基礎的な日本語の習得を図るため、日本語指導担当教員の補助として、日本語指導員を派遣しています。

なお、オンラインでの日本語指導については、令和９年度からの全市展開に向け、段階的に試行を進めています。

・ 日本語指導サポートセンター
（博多中に設置、コーディネーター１名配置）
・ 日本語指導担当教員配置校（小 18 校、中８校）
博多小、春吉小、筥松小、若久小、内浜小、城浜小、香椎浜小、東箱崎小、百道浜小、西長住小、照葉北小、照葉小、西都小、下山門小、西新小、福浜小、東光小、馬出小
春吉中、百道中、壱岐中、城香中、博多中、三筑中、福岡きぼう中、箱崎中

(8) アントレプレナーシップ教育

児童生徒が、自分の将来に夢や希望をもち、新しいことにチャレンジしていく意欲を育成することを目的とし、「ふくおか立志応援文庫」と「チャレンジマインド育成事業」の両輪で、その推進を図ります。

① ふくおか立志応援文庫

全小中学校において実施されている「立志」や「チャレンジマインド」に関する書籍資料を配備し、コーナーを設置しています。

② チャレンジマインド育成事業

全小中学校において実施されている「立志」や「キャリア教育」に関わる学習の中で、起業家や著名人、地域の方の協力を得て、授業を行います。

【小学校】

○ 小学校 10 校において、講師招聘授業を実施
・委託業者と連携して各界の著名人や起業家を講師として招聘します。
○ 全小学校において、「職業探究プログラム」を実施
・様々な職業に従事する方の現場で働く様子を視聴したり、チャレンジを続けている方の声を聞いたりし、自分の将来について考える動画活用授業を行います。

【中学校】

○ 全中学校において、「未来を切り拓くワークショップ」を実施
・起業家による講話を「オンデマンド動画」で視聴し、担任によるファシリテーションを導入した授業を行います。

(9) 科学技術教育

① 科学技術教育の振興

児童生徒に対する科学技術教育の充実を目指し、施設設備の充実に力を入れるとともにその振興に努めています。教材教具についても理科教育振興法に基づき、小・中・高・特別支援学校に整備を図っています。

また、児童生徒の科学への興味関心を高めるため、「科学わくわくプラン事業」として、自然科学や環境教育等の専門家による出前授業や科学実験教室、科学作品のコンテストを実施しています。

② 科学技術教育の研究推進

科学技術教育の学習指導に関する研究は、教科等研究委員会の研究活動、各学校の組織研究等で積極的に推進されています。特に教育課程に基づき、基礎的・基本的な内容を重視した科学技術教育の在り方を求めて、理科、技術・家庭科を中心に精力的に実践研究を進めています。

③ 情報教育の振興

高度情報通信社会に主体的に対応できる力として、「情報活用能力」の育成が今日的な教育課題の一つです。その内容を、情報活用の実践力、情報の科学的な理解、情報社会に参画する態度の３点に焦点化し、系統的・体系的な情報教育推進の一層の充実を図っています。

そのために、小学校、中学校等の各学校段階を通じて各教科等の学習において１人１台端末や ICT 等の活用の推進と情報モラルの育成に向けての指導を行っています。

教育内容としては、小学校では１人１台端末を使った学習活動を導入し、１人１台端末に慣れ親しむことを目標にしています。中学校では、技術・家庭科の「技術分野」で、生活や社会における問題を、ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツや計測・制御のプログラミングによって解決する活動を通して、技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決する力を養うことを目的としています。

(10) ICT の活用、ICT 環境整備、教育データの活用

文部科学省の「先端技術活用推進方策」によれば、ICT 機器は「鉛筆やノート等の文房具と同様に教育現場において不可欠なものとなっていることを強く認識する必要がある」としています。Society5.0 時代に向け、学校教育の中核を担う教師を支え、学習の質を高めるツールとして積極的かつ効果的に活用していく必要があります。

福岡市においても、令和２年度に全ての学校の校内通信ネットワークの高速大容量化および児童生徒１人１台端末の整備が完了し、ICT を活用した教育活動の充実に取り組んでいます。今後は、さらに教育データを効果的に活用し、児童生徒への早い段階からの適切な指導や支援の充実を図ります。

① ICT を活用した授業スタイル

AI ドリル、学習者用デジタル教科書、学習動画などの教材を活用した「個別最適な学び」と、児童生徒一人ひとりの良い点や可能性を生かすことで、異なる考え方が組み合わさり、よりよい学びを生み出していく「協働的な学び」の一体的充実に取り組んでいます。

② オンライン授業の実施

登校不安・不登校児童生徒等が家庭やステップルームから授業に参加したり、入院中の児童生徒が病院から授業に参加したりするなど、オンライン授業を行うことで学びの保障を行っています。

③ 家庭学習での活用

AI ドリルを活用して、自分のペースに合わせた学習を行ったり、苦手な学習内容を学習動画で振り返ったりするなど、家庭学習での活用も進めていきます。

④ 教員の ICT 活用指導力向上を図る研修

教員の ICT 活用指導力を向上させるため、外部講師による ICT 活用に関する研修講座を実施しています。また、教育センター長期研修員により、ICT を活用した実践研究などを通して、ICT 活用推進に寄与しています。

⑤ ICT 環境整備

ア　学校教育情報ネットワーク整備

学校教育情報ネットワークの情報システム環境の機能を充実・改善することにより、ICT の活用推進を図ります。

・ネットワークの管理・保守
・セキュリティの確保
・有害情報・違法情報の排除（フィルタリング）
・ヘルプデスクによるサポート

イ　学校ホームページの充実

学校の教育目標やめざす児童生徒像、教育活動を発信し、家庭・地域と共有することで、社会に開かれた教育課程の実現の一助とします。また、学校の自主的・自律的な情報管理の確立を図ります。

・学校ホームページの運用・管理
・学校ホームページの更新支援
・福岡市立学校ホームページ公開指針の改訂・運用
・情報セキュリティに関する指導

⑥ 教育データの活用

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、教育の質を向上させていくため、学校において必要な ICT 環境のさらなる充実に取り組むとともに、教育データ連携基盤を構築し、日々の児童生徒への指導や支援に教育データを活用します。

(11) 学校図書館の充実

子どもたちの読書活動を推進するため、文部科学省の第６次学校図書館図書整備等５か年計画に基づいて、学校司書の配置拡充を図っています。

① １校１人配置に向けた学校司書の増員

年度	学校司書	１校当たりの配置状況
Ｒ６	51 名	週１日程度
Ｒ７	151 名	週２～４日
Ｒ８	179 名	週２～４日

② 学校図書館支援員の配置

学校図書館業務をサポートする学校図書館支援員を、離島校や夜間中学校に配置しています。

(12) 行事活動等

① 自然教室

小・中学校の児童生徒を対象として、恵まれた自然環境の中で、自然との触れ合いを深めるとともに、集団の規律を学ぶなど、通常の学校生活では得がたい体験を与え、児童生徒の心身ともに調和のとれた健全な育成を図ることを目的として実施しています。

② 特色ある教育の推進

全市立学校において、道徳教育の視点を加えた特色ある教育活動を推進します。

〈目的〉

国際化や情報化、少子・高齢化など激しい社会の変化の中にあって「21 世紀をひらき、創造していく子どもの育成」のためには、従来の知識を教え込む

教育から自ら学び考える力を育てる教育への転換が重要視されています。

そこで、地域に開かれた学校づくりの視点に立って、地域の人材や社会施設を活用するなど、子どもや地域の実態に応じた、特色ある教育活動を推進することを目的として、平成 12 年度から実施しています。国際理解教育、福祉教育、環境教育、情報教育、進路指導(キャリア教育)、地域の伝統・文化教育、男女平等教育、健康教育、食教育、勤労・生産的教育活動、その他、という視点から今日的課題をとらえ、児童生徒が主体的に解決していく学習の中で生きる力を育成していきます。

〈内容及び実施状況〉

令和７年度　特色ある教育推進事業項目別一覧

		小	中	高	特	合計
1	国際理解教育	88	12	2	6	108
2	福祉教育	135	37	1	3	176
3	環境教育	137	37	1	6	181
4	情報教育	132	56	3	5	196
5	進路指導	111	71	3	10	195
6	地域の伝統 文化教育	146	58	1	7	212
7	男女平等教育	116	23	0	3	142
8	健康・安全教育	144	71	3	8	226
9	食に関する教育	128	37	1	5	171
10	勤労・生産的教育	128	32	1	5	166
11	その他	40	13	0	4	57
合計		1,305	447	16	62	1,830

(13) クラブ活動及び部活動

① クラブ活動

学習指導要領(特別活動)に基づき、主として小学校４年生以上で実施しています。授業として各学校の実態及び教育目標に応じて適切な時間数を定め、年間を通して計画的に実施しています。

クラブ活動は、教師の適切な指導の下に、共通の興味・関心を追求する児童による自発的、自治的な活動であり、この集団の中で望ましい人間関係を形成し、個性の伸長を図り、集団の一員として協力して、よりよいクラブづくりに参画しようとする自主的・実践的な態度を育てるものです。

各学校では、児童の希望や施設設備の状況等を考慮し、異年齢の児童が協力し合って楽しく活動できるようにしています。

〈小学校における主なクラブ名〉

バドミントン、バスケットボール、サッカー、ドッジボール、ソフトボール、卓球、陸上、科学、音楽、図工、囲碁・将棋、習字、読書、調理、手芸、外国語、伝統文化、パソコン、ダンス、テーブルゲームなど

② 部活動

部活動は、学校の教育活動の一環として、希望する生徒が放課後、教師と仲間、先輩、後輩とのふれ合いによる豊かな人間関係を基盤として、興味、関心を深め個性の伸長や体力の向上、健康の増進を図ることを目的として実施しています。

部活動は、生徒の自発性、自主性を生かして行われる活動で、全人的な発達を促進する活動として教育的意義は大きいです。（主な部活動は 24 ページ参照）

部活動を実施するに当たっては、生徒が参加しやすいよう実施形態などを適切に工夫するとともに、休養日や活動時間を適切に設定するなど生徒のバランスのとれた生活や成長に配慮することが必要であると考えています。

〈福岡市中学校総合文化発表会〉

福岡市における中学生の文化部発表会は各専門部別に行われてきましたが、昭和 58 年度から実行委員会を組織し「中学校総合文化発表会」を開催してきました。

この実績を踏まえ、昭和 62 年５月 20 日に、文化的な共同事業として市内中学校の連携の下に、文化的教育活動の振興を図ることを目的とした「福岡市中学校文化連盟」が設立されました。

市内各中学校の文化部は、日々の活動の中で心を耕し、豊かな情操を養い、創造する力を育てるとともに生涯教育の基礎づくりに貢献しています。

○ 主な活動

弁論大会、中学校音楽会、邦楽のつどい、放送コンテスト、新人放送コンテスト大会、演劇発表会、演劇交流会、図書委員交流会、美術部合同スケッチ大会、美術部合同作品展、中学生文芸発行、技術・家庭科作品展、理科研究作品展、生徒書作品展、中学校美術展、特別支援学級合同作品展、生徒会役員一日研修会、囲碁大会、創造アイデアロボットコンテストなど

(14) 教科書

福岡市の教科用図書の採択は、福岡市教科用図書調査研究委員会の答申、学校長の意見及び市民の意見を踏まえ、教育委員会が行っています。

教科用図書は、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律（昭和 38 年法律第 182 号）第 14 条及び同法施行令第 15 条第１項の規定により、原則として４年間同一の教科用図書を採択することとなっています。

現在、小学校で令和６年度から使用している教科用図書は表１のとおりであり、中学校で令和７年度から使用している教科用図書は表２のとおりです。

市立高等学校で使用する教科用図書の採択は、毎年度学校長の意見を聞いて教育委員会が行っています。

特別支援学校及び特別支援学級で使用する教科用図書には、文部科学省検定済教科用図書、文部科学省著作教科用図書及び学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）附則第９条に規定する教科用図書の３種類がありますが、学校教育法附則第９条に規定する教科用図書については、毎年度採択替えを行っています。

表１　小学校教科用図書（令和６～令和９年度使用）

種目	発行者略称	書名	使用学年
国語	光村	こくご 国語	１～６年
書写	光村	しょしゃ 書写	１～６年
社会	教出	小学社会	３～６年
地図	帝国	楽しく学ぶ小学生の地図帳３・４・５・６年	３～６年
算数	東書	新編あたらしいさんすう 新編新しい算数	１～６年
理科	大日本	新版たのしい理科	３～６年
生活	東書	新編あたらしいせいかつ上 新編新しい生活下	１・２年
音楽	教芸	小学生のおんがく 小学生の音楽	１年 ２～６年
図画工作	日文	ずがこうさく 図画工作	１・２年 ３～６年
家庭	東書	新編新しい家庭５・６	５・６年
保健	光文	小学ほけん 小学保健	３・４年 ５・６年
英語	東書	NEW HORIZON Elementary English Course 5 NEW HORIZON Elementary English Course 6 My Picture Dictionary	５年 ６年
道徳	東書	新編あたらしいどうとく 新編新しいどうとく 新編新しい道徳	１年 ２～４年 ５・６年

表２　中学校教科用図書（令和７～令和 10 年度使用）

種目	発行者略称	書名	使用学年
国語	光村	国語１、２、３	１～３年
書写	光村	中学書写一・二・三年	１～３年
社会（地理的分野）	帝国	社会科中学生の地理 世界の姿と日本の国土	１・２年
社会（歴史的分野）	東書	新編新しい社会　歴史	１～３年
社会（公民的分野）	東書	新編新しい社会　公民	３年
地図	帝国	中学校社会科、地図	１～３年
数学	学図	中学校数学１、２、３	１～３年
理科	東書	新編新しい科学１、２、３	１～３年
音楽（一般）	教出	中学音楽1音楽のおくりもの 中学音楽2・3年上音楽のおくりもの 中学音楽2・3年下音楽のおくりもの	１～３年
音楽（器楽合奏）	教芸	中学生の器楽	１～３年
美術	光村	美術１、美術１資料、美術２・３	１～３年
保健体育	学研	新・中学保健体育	１～３年
技術・家庭（技術分野）	東書	新編新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology	１～３年
技術・家庭（家庭分野）	東書	新編新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して	１～３年
英語	三省堂	NEW CROWN English Series 1、2、3	１～３年
道徳	東書	新編新しい道徳１、２、３	１～３年

(15) 海っ子山っ子スクール～小規模校特別転入学制度～

【概要】

「海っ子山っ子スクール」は、海や山に囲まれ、自然に恵まれた環境の中で、地域との交流を大切にし、自然を生かした教育活動を行っている小規模の学校に通学することにより、豊かな人間性を育み、自然を愛する心を培うことを目的としています。

【対象校】

勝馬小

【制度開始】

平成 17 年４月の転入学から

【転入学の条件】

制度の趣旨を理解し、対象校の教育活動に賛同すること、児童生徒自身が自力で公共交通機関を使い原則１時間以内で通学できること等。

(16) 小中一貫教育校（能古島小中学校）特別転入学制度

【概要】

恵まれた自然環境の中で実施する、９年間の連続した小中一貫教育を受ける児童を幅広く募集し、特色ある教育活動、異年齢や地域との交流を大切にした体験活動を通して、地域への愛着を育み、主体的に学ぶ力や社会性を培うことを目的としています。

【対象校】

能古島小中学校

【制度開始】

平成 31 年４月の転入学から

【転入学の条件】

制度の趣旨を理解し、対象校の教育活動に賛同すること、児童生徒自身が自力で公共交通機関を使い、姪浜旅客待合所まで原則１時間以内で通学できること、転入学した場合、中学卒業まで在籍すること等。

３　生徒指導

(1) いじめ・非行防止対策

少年（20 歳未満の者をいう。以下同じ。）非行情勢は、刑法犯少年（刑法に規定する罪を犯し、又は触れる行為をした犯罪少年及び触法少年をいう。）の検挙補導人員及び非行者率（10 歳から 19 歳までの少年人口千人あたりの検挙補導人員をいう。）ともに増加傾向にあり、再犯者率（犯罪少年の総数に占める再犯者（初犯者を除く。）の割合をいう。）は横ばいで推移しています。

また、インターネット利用に起因する非行・犯罪被害は依然として後を絶たず、少年を取り巻く環境は課題が多い状況です。

こうした中、いじめや不登校への対応も重要な課題となっており、「こども総合相談センター（えがお館）」に公認心理師や臨床心理士の資格をもつ教育カウンセラーを配置し、面接相談、電話相談を実施しています。また、公認心理師や臨床心理士の資格をもつスクールカウンセラーを全ての市立学校に週１～２日（週８時間）配置し、カウンセリングを通して児童生徒の心のケアを行っています。また、社会福祉士や精神保健福祉士の資格をもつスクールソーシャルワーカーを全ての市立学校に週１～２日配置しており、教育と福祉の両面から、こども総合相談センターなどの関係機関と連携し、不登校などの課題を抱える子どもや保護者の支援を行っています。

また、上記の基本方針に基づき、生徒指導の充実を期して次の基本的事項の徹底について、校長会をはじめ各種の連絡会・協議会・研修会や学校訪問を通じて指導・助言に努めています。

○ 基本的生活習慣の確立
　あいさつ、礼儀、服装、時間厳守等
○ 環境整備の徹底
　清掃、掲示物整備、破損や落書の処置等
○ 意欲的に取り組む学習の成立
　学習規律の確立「身構え、物構え、心構え」、わかる授業の工夫、自学・家庭学習の習慣化
○ 生徒指導体制の確立
　組織と役割分担、共通理解と共通実践等
○ 児童会・生徒会活動の充実
　集団活動を通じた自発的・自治的な活動の育成等
○ 規則を理解し、守る態度の育成
　道徳・特別活動等の指導の充実
○ キャリア教育の充実
　資料整備、進路相談・体験学習を通しての適切な選択
○ 教育相談活動の推進
　多面的な児童生徒理解、信頼関係の確立等
○ 暴力団の排除に関する教育の実施
○ 幼・小・中・高等学校、特別支援学校、PTA、地域との連携
　● いじめ防止対策委員会の設置
　● 中学校区青少年健全育成連絡協議会との連携
　● 小・中学校連絡会、学校間の連絡会の充実、教育方針の理解、地域活動の推進等
○ 関係機関との連携強化
　情報交換、協力体制、適切な措置等
　● 学校警察連絡協議会の活性化
　● ふくおか児童生徒健全育成サポート制度の活用
　● 校区内ネットワーク活用の推進
○ いじめゼロプロジェクト実施
　児童生徒を主体としたいじめゼロサミットを軸とするいじめをなくす活動
○ 学校ネットパトロールの実施
　● 学校非公式サイトをはじめとするネットの検索・監視
　● 誹謗中傷などの書き込みや不適切な画像の削除支援等
　● 情報提供及びネットトラブル等に関する相談窓口設置
　● 規範意識向上のため広報、啓発の実施
○ いじめに関する学校サポート事業の実施
　教育委員会事務局、大学教授、弁護士等で構成するプロジェクトチームによる調査研究及び学校への支援の実施
○ SNS（LINE）を活用した教育相談事業の実施
　福岡市立学校に通う児童生徒、福岡市にある私立・国立の小・中学校及び県立の特別支援学校（小学部・中学部）に通う児童生徒の悩みや不安を、子ども達にとって身近な SNS（LINE）を活用し、容易に相談をすることができる体制を構築することで、いじめや不登校などの問題の未然防止、早期発見、深刻化防止を図ります。

(2) 長期欠席児童生徒対策

福岡市立小・中学校における長期欠席児童生徒数は、全国と同様に増加傾向にあります。

特に不登校児童生徒の増加については、文部科学省の分析において、「義務教育段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」の趣旨の浸透や、コロナ禍以降の保護者や児童生徒の登校に対する意識の変化、特別な配慮を必要とする児童生徒に対する早期からの適切な指導・支援に課題があったこ

と等が背景にあるとされています。

○ 教育委員会の対策

- 「こども総合相談センター（えがお館）」に公認心理師や臨床心理士の資格を持つ教育カウンセラー、及び教育相談員を配置し、市内の児童生徒や保護者などからのいじめや不登校に関する電話相談や面接相談を行っています。
- 教育支援センター「はまかぜ学級」をこども総合相談センターに、「まつ風学級」を教育センターに、「すまいる学級」を市内５ヶ所（東住吉小学校内、東箱崎小学校内、野多目小学校内、金山小学校内、壱岐東小学校内）に設置し、学校に行きたくても行けない子どもたちの社会的自立や学校復帰を目指し、支援を行っています。
- スクールカウンセラーを全ての市立学校に週１～２日（週８時間）配置し、児童生徒や保護者へのカウンセリングの機会を増やし、心のケアの充実を図ります。
- ひきこもり、または、ひきこもりがちな児童生徒の家庭に、話し相手や遊び相手として大学生相談員（メンタルフレンド）を派遣し、社会的自立や学校復帰に向けて、支援を行っています。
- スクールソーシャルワーカーを全ての市立学校に週１～２日配置し、教育と福祉の両面からこども総合相談センターなどの関係機関と連携して、不登校などの課題を抱える児童生徒の支援を行っています。
- 小中学校全学年で 35 人以下学級を実施し、個に応じたきめ細かな指導の一層の充実を図っています。
- 全ての中学校区に、教育相談コーディネーターを配置し、不登校をはじめとする登校支援が必要な児童生徒に対する指導・支援を行うとともに、校内におけるコーディネーターの役割を担い、校内の支援体制づくりを行っています。
- 登校支援が必要な児童生徒の保護者支援のため、教育委員会と NPO との共働による「不登校よりそいネット」が、不登校支援に関する相談電話や不登校セミナー、当事者参加の「不登校の悩み語り合いませんか」等を実施しています。
- 不登校または不登校傾向にある児童生徒に対し、個別最適な動画教材を提供することにより、自宅や校内外の居場所における児童生徒一人ひとりの学び直しの機会を保障しています。
- 不登校児童生徒のうち、引きこもりがちで集団への適応が難しい児童生徒が、１人１台端末を活用して、他の児童生徒やスクールカウンセラー等と交流するオンラインルームを開設しています。
- 対象となる全ての小学校に教育支援員を配置し、不登校や不登校傾向にある児童の登校を支援し、学校生活中の見守りを行っています。
- 不登校生徒等を対象に特別な教育課程を編成して教育を実施する学びの多様化学校（百道松原中学校）を、令和７年４月に開校しています。

○ 学校での取組み

- 不登校の未然防止、早期発見のため、全市小１～中３年生に Q－U アンケートを実施し、児童生徒の理解の深化、校内研修会の充実、教育相談体制の確立を図っています。
- こども総合相談センター（教育相談機能、児童相談所機能）、病院等の関係機関との連携を強化しています。

4　進路指導

(1) 概況

児童生徒が自らの生き方を考え、将来に対する目的意識を持って主体的に自己の進路を選択決定し、社会の変化に主体的に対応し、生涯にわたって自己実現を図っていくことができる能力や態度を育成することを目指すものです。

学校においては、教師が教育活動全体を通じて計画的・継続的に指導・援助を行いますが、その中心となるのは学級活動での指導です。

福岡市では、進路指導の重要性を考慮して次のような事業を実施し、さらに研究会に対する指導・助言を行っています。

① 福岡市立高等学校入学者選抜要項説明会

中学校を対象として、入学者選抜要項とともに各高等学校の概要を説明し、進路指導の適正化と充実を図ります。

② 就職生を励ます会

昭和 62 年３月から中学校ごとに行う自校方式をとっています。各学校の実態に応じた内容で会を実施しています。

③ キャリア教育担当者説明会

発達段階に応じた継続的かつ体系的なキャリア教育の充実をめざして、小・中・高・特別支援学校の担当者を対象に、進路指導の改善とキャリア教育の充実に向けた説明会を実施し、校種間での円滑な連携・接続を推進しています。

④ 職場体験の実施

勤労観・職業観を育てるために、全市立中学校で２年生の生徒を中心に学校や地域の実態に応じて、体験先を選定するなど見学や訪問等を含めた職場体験学習を実施します。

(2) 進路指導事業

高等学校中途退学防止や卒業後進路未定などの進路指導上の課題を解決するために、小・中・高等学校等の校種間及び福岡市の児童生徒等の進路に関わる関係機関との連携を図り、進路指導の充実を図るための取組みを行っています。

① 進路指導に関する小中高連絡会

小学校と中学校と福岡地区の高等学校及び専修・通信制高校等とで、中途退学防止の取組みや、進路指導の充実等について情報交換や意見交換を行い、小学校・中学校・高等学校の連携を図っています。

② 進路指導協力者会議

福岡市の進路指導の充実と児童生徒の進路指導に関わる関係機関・団体との連携を図るため、平成 19 年度に福岡市進路指導協力者会議（構成機関・団体 17）を設置しました。就職促進や卒業後進路未定の防止に向けた取組みについての情報交換・協議を行っています。

5 学校体育

(1) 概要

学校体育の充実、発展を図るために、学校における体育・健康に関する指導は、学校の教育活動全体を通じて適切に行い、あらゆる指導を通じて、日常生活における適切な体育的実践が促されるとともに生涯を通じて健康で安全な生活を送るための基礎が培われるように努めています。

教育指導計画においては、学習指導要領に基づく具体的な年間計画を作成し、日常生活に生かす体育指導の推進を図っています。特に体育的行事などの積極的な推進や運動部活動の活発化を通して、体力づくりの諸活動を推進しています。また、指導法の向上のため、各種研修会を実施しています。

体育施設については、体育施設営繕申請に基づき充実を図っています。

(2) 令和７年度運動会・体育会等の実施状況

	小学校	中学校	高校	特別支援学校
実施	146	71	4	8
実施なし	0	0	0	2
合計	146	71	4	10

(3) 中学校総合体育大会

① 市大会

令和７年度第 65 回福岡市中学校総合体育大会は、市内の国・市・私立中学校を合わせた 83 校、参加者生徒数約 20,000 人により行われました。

② 県大会

７月 27 日～７月 31 日の日程で、19 種目の競技が県内６地区で開催されました。

福岡市では、体操競技、ハンドボール、ソフトテニス、空手道が開催されました。

成績は、優勝種目をあげると次のとおりです。

水泳競技（男子）、体操競技（女子）、剣道（男子）、サッカー、ハンドボール（男子）、バスケットボール（男子）、テニス（男子・女子）、空手道（女子）、柔道（男子）、新体操（男子）、ソフトテニス（男子・女子）、バドミントン（男子）

また、その他の種目でも健闘が大いに称えられています。

③ 九州・全国大会

九州大会でも、多くの種目に出場し、それぞれ健闘しました。

成績は、優勝種目をあげると次のとおりです。

バスケットボール（男子）、バドミントン（男子）

全国大会は、九州ブロックで開催され、剣道、ハンドボール、体操競技、バスケットボール、陸上競技、柔道、水泳競技、バドミントン、ソフトテニス、卓球、新体操が出場し、それぞれ健闘しました。

成績については、個人戦において柔道（男子 73kg 級）で優勝、陸上競技（女子 100M ハードル）、水泳競技（男子 100M 平泳ぎ）で第２位となりました。

④ 新人体育大会の開催

昭和 47 年に指定都市となり、区が設けられて以来、学校行事や大会日程等の関係から中止されていた本大会ですが、関係者の熱意と理解により昭和 59 年、13 年ぶりに再開され、令和７年度で 42 回目を迎えました。

この大会は夏季総合体育大会後の１、２年生に新しい目標と活動意欲を持たせ、部活動に参加している生徒の体力や技能の向上とアマチュア精神の高揚を図るとともに、健全育成に貢献しています。

(4) 令和７年度中学校運動部の種目別活動状況

種目	性別	実施校数	参加生徒数
陸上競技	男	4	91
	女	3	47
	男・女	38	1,895
駅伝	男・女	1	41
体操競技	男・女	1	8
新体操	男・女	3	40
水泳競技	男・女	11	287
バスケットボール	男	62	1,684
	女	59	1,301
バレーボール	男	32	918
	女	58	1,667

卓球	男	41	1,023
	女	35	846
ソフトテニス	男	46	1,557
	女	58	1,634
バドミントン	男	7	207
	女	6	235
	男・女	4	201
軟式野球	男・女	64	1,902
ソフトボール	女	15	218
サッカー	男・女	58	1,761
ラグビー	男・女	3	94
ハンドボール	男	7	189
	女	9	126
柔道	男・女	12	181
剣道	男	5	57
	女	5	42
	男・女	41	922
空手道	男・女	1	12
なぎなた	男・女	2	79
野外活動	男・女	3	106
計		694	19,371

※福岡市立中学校

(5) 令和７年度全国中学校総合体育大会の開催準備・運営

① 概要

全国中学校体育大会は、中学校教育の一環として、中学校生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、競技力の向上、アマチュアスポーツ精神の高揚及び生徒相互の親睦を図る目的をもって開催します。

令和７年度の大会は、九州ブロックで開催され、本市は柔道の競技種目大会の運営にあたりました。

② 令和７年度の事業

令和７年度は、中体連、競技団体及び関係団体と連携し、競技種目大会の準備・運営を行います。

○ 福岡市実行委員会総会の開催
○ 関係機関・団体等との連絡調整
○ 大会役員等の編成
○ 広報活動の実勢
○ 協賛事業の実施
○ 開催基本計画の整備
○ 各種契約の締結及び履行確認
○ 大会の開催・運営
○ 大会記録報告書、決算書作成

③ 開催競技の概要

○ 競技種目

	競技種目	運営主体
福岡県内で開催された競技種目	卓球	北九州市

○ 開催期間・競技会場（柔道）

開催期間	競技会場
令和７年８月１９日 ～８月２２日	・福岡市総合体育館（照葉積水ハウスアリーナ）

(6) 学校体育施設

① プールの整備状況

小・中学校のプールは、25mを基準として、整備しています。（離島等一部の学校を除く。）

また、経年劣化が進んでいるプールについて、改修等を行っています。

② 講堂兼体育館の整備状況

小・中学校の講堂兼体育館については、年次計画により改修等を行っています。

また、体育学習や部活動等を一層充実、発展させるため、小学校は昭和 63 年度から、中学校は昭和 61 年度から新・改築時に新基準による整備を進めています。

③ 武道場の整備状況

中学校の武道場は体育学習や部活動等を一層充実、発展させるため、昭和 56 年度から年次的に整備し、昭和 61 年度までに、一部の小規模校を除き、整備が完了しています。

(7) 水泳授業の民間プール等活用

令和７年度から、民間プール等の活用を本格実施しています。また、学校プールで水泳授業を実施する小学校に、指導補助員を派遣しています。

6 学校保健安全

(1) 安全教育

学校保健の目標は、児童生徒が健康の大切さを認識し、自らの健康を管理し、改善していくような資質や能力の基礎を培い、生涯を通じて心身の健康を保持増進するための実践力を育成することにあります。

① 児童生徒の健康診断

健康診断は、児童生徒の心身の健康状態を検査しその結果に基づいて適切な管理と指導を行い、それを通して、児童生徒自らが、自分のからだの健康状態について知り、正しい健康生活の習慣や態度を養うことを目的としています。

心臓検診は、昭和 63 年度から小・高等学校の１年生に加えて中学校の１年生全員に心電図検査を実施し、検診の充実を図るとともに学校生活管理指導表等によるきめ細かい指導管理に努めています。

尿検査は全学年を対象に実施し、腎臓疾患及び糖尿病の早期発見に努めています。

また、歯及び口の疾病予防のため、歯みがき指導等の歯の保健指導に力を入れて取り組んでいます。

以上のように健康診断体制の整備充実と、健康管理の徹底は学校教育推進の基盤であり、疾病の予防、早期発見、早期治療を総合的に実施することにより次代を担う児童生徒の健全な育成を図り、将来にわたる疾病予防・健康保持に努めています。

② 独立行政法人日本スポーツ振興センター

学校安全の普及充実を図るとともに、福岡市立の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の管理下における児童生徒の災害に関する必要な給付を行い、もって心身ともに健康な児童生徒の育成に資することを目的とし、災害共済給付事業を実施しています。

（令和７年度　給付件数　13,003 件）

③ 教職員の健康診断

教職員の健康管理は、学校教育を円滑に実施し、その成果を確保するうえにおいて大変重要であり、平成13 年度からは、胃検診以外の項目については学校巡回方式で実施するなど、受診率の向上に努めるとともに、検診の結果に基づいて産業医による適切な管理と指導に努めています。

④ 学校保健大会

福岡市の学校が当面している学校保健の諸問題を研究討議し、学校保健の推進を図るとともに、児童生徒及び職員の健康保持増進に資することを目的として、福岡市学校保健会との共催により実施しています。

学校保健関係者多数の協力を得て、保健安全優良校、よい歯・口の学校、学校保健功労者等の表彰並びに特別講演、研究発表を行っています。

⑵ 学校安全

学校安全のねらいは、児童生徒が、自他の生命尊重を基盤として、自ら安全に行動し、他の人や社会の安全に貢献できる資質・能力を育成するとともに、児童生徒の安全を確保するための環境を整えることです。

学校安全の領域は「生活安全」、「交通安全」及び「災害安全」の３つ（以下「３領域」という。）があります。

学校安全の活動は、児童生徒が自ら安全に行動したり、他の人や社会の安全のために貢献したりできるようにすることを目指す「安全教育」、児童生徒を取り巻く環境を安全に整えることを目指す「安全管理」及び両者の活動を円滑に進めるための「組織活動」（以下「３活動」という。）から構成されています。

① 概況

各学校では「第３次福岡市教育振興基本計画」に基づいて年間計画を策定し、３領域を通じて３活動を推進しています。

② 安全教育

ア　生活安全

児童生徒が日常生活で起こる事件・事故の内容、発生原因及び結果と安全確保の方法について理解し、安全に行動ができるようにします。

イ　交通安全

様々な交通場面における危険について理解し、安全な歩行、自転車等の利用ができるようにします。

毎年度当初、各学校では校区の実情、道路・交通等の状況を踏まえて諸団体と協議して適切な通学路を設定し、児童生徒の安全・安心のために通学路マップ・安全マップを作成することで交通安全教育に活用しています。

また、家庭・地域と連携協力し、一体的に安全教育の徹底に努めています。教育委員会では、各学校の安全担当者を対象に年１回安全教育担当者連絡会を実施し、安全教育及び安全管理に対する教職員の指導力の向上を図っています。

ウ　災害安全

様々な災害発生時における危険について理解し、正しい備え及び適切な判断の下、行動できるようにします。

避難訓練や防災学習を実施するとともに、自分の命を守る力の育成を図っています。教育委員会では、各学校の管理職及び安全担当者を対象とした防災研修を実施し、学校防災の重要性や防災教育の在り方について理解を深める機会を設けています。

③　安全管理

学校は、児童生徒が集い、人と人との触れ合いにより、人格の形成がなされる場であり、児童生徒の安全確保が不可欠です。

ところが、近年の自然災害、交通事故、犯罪等に関する社会的な情勢は年々変化しており、新たな課題も次々と顕在化し、今後の深刻化も懸念されています。そこで本市では次のとおり安全対策の充実に努めています。

ア　学校独自の危機管理マニュアルの策定及び随時改訂

イ　不審者侵入防止のためのチェックリスト等による日常的な安全点検

ウ　不審者の侵入を想定した撃退法、避難の仕方等の防犯訓練の実施

エ　小学校１年生及び市外からの転校生に防犯ブザーを配付

オ　来校者への声かけ、校内の見通しが悪い場所や死角の把握、防犯カメラの設置

カ　地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業の実施

- スクールガード講習会の開催
- スクールガード・リーダー連絡会
- スクールガード・リーダーによる学校巡回指導、評価等の実施

キ　小学校の各教室及び職員室等にインターホンを整備

7　学校給食

学校給食は、児童生徒の心身の健全な発育に資し、かつ、食生活の改善に寄与するものであり、教育活動の一環として実施しています。

福岡市における学校給食は、小学校では昭和 25 年から単独校方式（自校方式）で、中学校については昭和 48 年から、特別支援学校については昭和 50 年から共同調理場方式（センター方式）で開始しました。

米飯給食については、小学校では昭和 57 年から、中学校では昭和 48 年の給食開始時から導入し、現在、小・中・特別支援学校において週３回実施しています。

これらの学校給食を通して、児童生徒の健康の増進、体位の向上を図り、また、日常生活における正しい食習慣を身につけさせ、さらに教師と児童生徒、児童生徒相互の心のふれあいによる好ましい人間関係の育成を図るとともに、共同生活の基本的態度を習得させるなど、教育上大きな成果を上げています。

さらに、健康教育の重要性を認識し、食教育の充実及び食文化・マナーの指導に努めています。

また、給食の実施に当たっては、食中毒などの発生を防止するため、衛生管理の徹底を図っています。

公益財団法人福岡市学校給食公社

設立年月日　昭和 48 年２月 28 日
所 在 地　早良区百道３丁目 10 番１号
（福岡市教育センター内１階）
基 本 金　基本財産 1,000 万円（福岡市出資 500 万円）
事業内容　福岡市からの委託を受け、給食運営課及び学校給食センターの指導の下に行う給食物資の調達・配給等の事業
沿　　革
昭和 48 年２月　学校給食の円滑な運営を図るため、福岡市の全額出資により財団法人として設立
昭和 48 年７月　学校給食センター(那の津)で事業開始
昭和 49 年２月　有田支所で事業開始
昭和 50 年４月　柳瀬支所で事業開始
昭和 58 年４月　箱崎支所で事業開始
平成７年４月　(財)福岡市学校給食会と統合
平成 25 年４月　(公財)福岡市学校給食公社に移行
平成 26 年７月　柳瀬支所廃止
平成 28 年７月　学校給食センター(那の津)廃止
令和２年７月　有田支所・箱崎支所廃止
調理・配送業務終了

※給食の調理・配送については、平成 26 年９月より第１給食センター（㈱福岡市第１学校給食サービスへの業務委託）、平成 28 年８月より第２給食センター（㈱福岡市第２学校給食サービスへの業務委託）、令和２年 10 月より第３給食センター（㈱福岡スクールランチパートナーズへの業務委託）が実施。

(1) 給食の実施状況

（令和８年５月１日現在　単位：校、人）

区分		総数	学校給食（完全給食）			
			単独校方式（自校方式）		共同調理場方式（ｾﾝﾀｰ方式）	
小学校	学校数	146	146	100.0%	－	－　%
	児童数	81,096	81,096	100.0	－	－
中学校	学校数	71	5	7.0	66	93.0
	生徒数	39,305	737	1.9	38,568	98.1
特別支援学校	学校数	7	2	28.6	5	71.4
	児童生徒数	1,849	268	14.5	1,581	85.5
計	学校数	224	153	68.3	71	31.7
	児童生徒数	122,250	82,101	67.2	40,149	32.8

(2) 給食の内容

① 児童生徒１人当たりの平均給与栄養量　（令和７年度）

区分			ｴﾈﾙｷﾞｰ (kcal)	たんぱく質 (g)	脂肪 (g)	ｶﾙｼｳﾑ (mg)	鉄 (mg)	ﾋﾞﾀﾐﾝ			
								A (μgRE)	B1 (mg)	B2 (mg)	C (mg)
小学校		本市基準栄養量	600	19.5～30.0	13.3～20.0	333	2.9	200	0.40	0.43	25
		本市平均給与栄養量	594	25.3	20.4	339	3.0	466	0.45	0.57	23
中学校		本市基準栄養量	770	25.0～38.5	17.1～25.7	450	4.5	300	0.50	0.60	35
		本市平均給与栄養量	761	31.2	25.1	419	4.7	534	0.59	0.68	33
知的障がい特別支援学校	小学部	本市基準栄養量	550	17.9～27.5	12.2～18.3	333	2.9	200	0.40	0.43	25
		本市平均給与栄養量	570	25.1	21.3	379	3.5	438	0.43	0.58	28
	中学部 高等部	本市基準栄養量	720	23.4～36.0	16.0～24.0	450	4.5	300	0.50	0.60	35
		本市平均給与栄養量	719	29.9	24.3	406	4.3	509	0.55	0.66	33
肢体不自由特別支援学校	小学部	本市基準栄養量	520	16.9～26.0	11.6～17.3	333	2.9	200	0.40	0.43	25
		本市平均給与栄養量	536	24.6	19.2	332	2.7	424	0.44	0.58	26
	中学部 高等部	本市基準栄養量	660	21.5～33.0	14.7～22.0	450	4.5	300	0.50	0.60	35
		本市平均給与栄養量	665	29.8	22.2	364	3.5	539	0.56	0.67	34

② 学校給食費

令和７年７月期分まで、学校給食の実施に要する経費のうち、食材料費相当額を学校給食費として保護者から徴収していましたが、令和７年８月から、学校給食費無償化の実施により、公費で負担しています。

(3) 学校給食センター

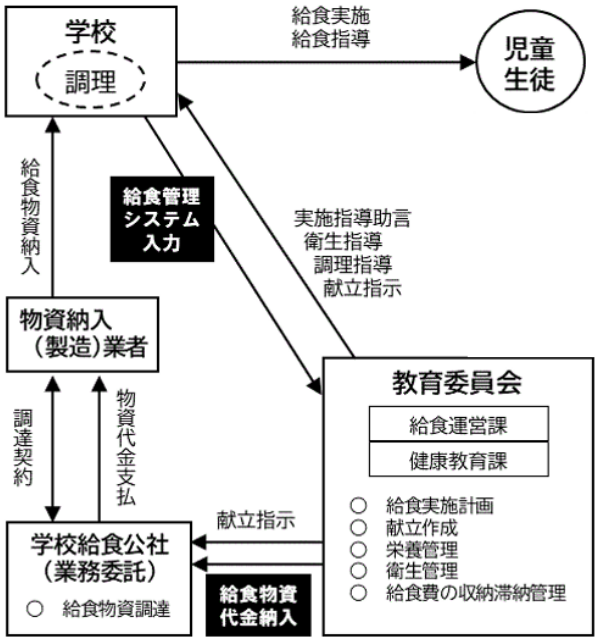
（令和８年５月１日現在）

調理場名	所在地	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	給食開始 (年 月)	最大調理食数 (食/日)	対象学校数 (校)	給食対象人員 (人)	内訳(人)	
								児童生徒	教職員
第１給食ｾﾝﾀｰ	博多区東平尾	13,177	6,751	H26.9	約13,000	23	14,310	13,102	1,208
第２給食ｾﾝﾀｰ	東区香椎浜ふ頭	12,605	5,832	H28.8	約13,000	23	14,046	12,782	1,264
第３給食ｾﾝﾀｰ	西区今宿青木	26,874	6,416	R2.10	約15,000	25	15,493	14,265	1,228

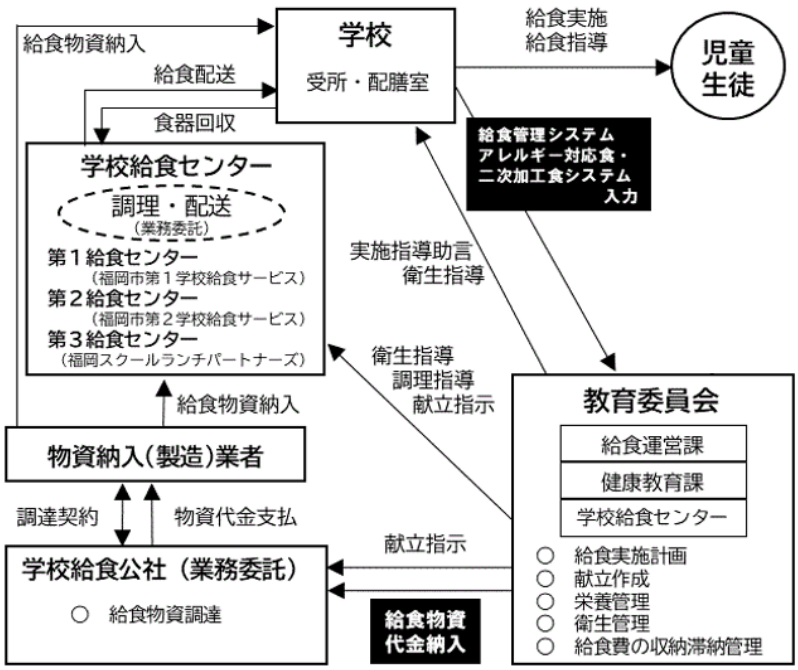
(4) 給食のしくみ

平成 21 年 9 月から会計の透明性の向上、保護者負担の公平性の確保、学校現場の事務負担の軽減等を目的に、学校給食費を市の歳入予算に、給食の食材料費を市の歳出予算に計上し、収納滞納管理をシステム化して教育委員会事務局で一括管理する公会計処理に移行しました。

単独校方式（自校方式）



共同調理場方式（センター方式）



8　特別支援教育

(1) 概要

平成 19 年４月１日より「学校教育法の一部を改正する法律」が施行され、それまでの障がい児教育（特殊教育）が、特別支援教育としてスタートしました。

特別支援教育は、障がいのある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組みを支援するという視点に立ち、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものです。

また、特別支援教育は、それまでの障がい児教育（特殊教育）の対象の障がいだけでなく、知的な遅れのない発達障がいも含めて、特別な支援を必要とする幼児児童生徒が在籍する全ての園・学校において実施されるものです。

さらに、特別支援教育は、障がいのある児童生徒への教育にとどまらず、障がいの有無やその他の個々の違いを認識しつつ様々な人々が生き生きと活躍できる共生社会の実現を目指すものです。平成 28 年４月１日の「障害者差別解消法」の施行により、その重要性は増しています。

(2) 特別支援学校

知的障がい特別支援学校として、昭和34年に大濠養護学校（現福岡中央特別支援学校）を設置して以来、東福岡特別支援学校、若久特別支援学校、生の松原特別支援学校を設置してきました。

また、病弱特別支援学校として屋形原特別支援学校を、肢体不自由特別支援学校として南福岡特別支援学校、今津特別支援学校を設置し、障がいの種類と程度に応じた教育を行っています。

昭和47年度から大濠養護学校に高等部を設置し、年次的に増設を図り、57年度には若久特別支援学校に、58年度には南福岡特別支援学校に、59年度には生の松原特別支援学校と東福岡特別支援学校に、平成元年度には今津特別支援学校にそれぞれ高等部を設置しました。また、知的障がい高等特別支援学校として、平成16年度には博多区に「博多高等学園」を、令和５年度には南区に「清水高等学園」を、令和７年度には東区に「城浜高等学園」を設置しました。

平成20年度には、屋形原特別支援学校を、病弱と知的障がいに対応できる特別支援学校として再整備し、知的障がいのある児童生徒の受け入れを始めました。

現在、福岡中央、東福岡、若久、生の松原、屋形原、南福岡、今津の各特別支援学校にスクールバス（南福岡、今津はリフトバス）を配置し、通学等の便に供しています。

① 知的障がい特別支援学校

知的障がいのある児童生徒のうち、他人との意思疎通が困難で日常生活を営むのに頻繁に援助を必要とする程度の児童生徒及びその程度に達しないが社会生活への適応が著しく困難な児童生徒に対して、小・中・高等学校に準ずる教育を行うとともに、障がいによる学習上または生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授ける教育を行います。

② 肢体不自由特別支援学校

肢体不自由のため、小・中・高等学校における学習が困難な児童生徒に対して、小・中・高等学校に準ずる教育を行うとともに、障がいによる学習上または生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授ける教育を行います。

③ 病弱特別支援学校

病弱のため、小・中学校における学習が困難な児童生徒に対して、小・中学校に準ずる教育を行うとともに、障がいによる学習上または生活上の困難を克服し自立を図るために必要な技能を授ける教育を行います。

(3) 特別支援学級及び通級指導教室

知的障がい特別支援学級、肢体不自由特別支援学級、病弱特別支援学級、難聴特別支援学級、弱視特別支援学級、難聴・言語障がい通級指導教室、自閉症・情緒障がい特別支援学級、情緒障がい通級指導教室、LD・ADHD等通級指導教室を設置して障がいの状態に応じた教育を行っています。

なお、令和８年度から通級指導教室担当教員による巡回指導方式（対象児童生徒の在籍校に巡回して指導する）を実施しています。

① 知的障がい特別支援学級

知的障がいの程度が比較的軽度な児童生徒に対して、障がいの状態に応じた教育を行っています。

② 肢体不自由特別支援学級

肢体不自由の程度が比較的軽度な児童生徒に対して、障がいの状態に応じた教育を行っています。

③ 病弱特別支援学級

入院治療を要する児童生徒や病虚弱のため通常の学級における学習が困難な児童生徒に対し、医療機関との連携のもとに教育を行っています。

④ 難聴特別支援学級

聴覚障がいの程度が比較的軽度な児童生徒に対して、障がいの状態に応じた教育を行っています。

⑤ 弱視特別支援学級

視覚障がいの程度が比較的軽度な児童生徒に対し

て、障がいの状態に応じた教育を行っています。

⑥ 難聴・言語障がい通級指導教室

難聴児及び言語障がい児に対して、在籍学級等と連携して教育を行っています。

⑦ 自閉症・情緒障がい特別支援学級

他者とのコミュニケーションや対人関係の形成が困難な児童生徒に対して、障がいの状態に応じた教育を行っています。

⑧ 情緒障がい通級指導教室

他者とのコミュニケーションや対人関係の形成が困難な通常の学級の児童生徒のうち、通級による指導を行うことが適当な児童生徒に対し、在籍学級等と連携して教育を行っています。

⑨ LD・ADHD等通級指導教室

学習障がい（LD）や注意欠如多動性障がい（ADHD）等の診断を受けた通常の学級の児童生徒のうち、通級による指導を行うことが適当な児童生徒に対し、在籍学級等と連携して教育を行っています。

(4) 訪問教育

障がいの程度が重度であるか、または重複しており、通学して教育を受けることが困難な児童生徒に対して、特別支援学校教員が家庭あるいは病院等を訪問して行う教育です。

教育内容としては、特別支援学校学習指導要領に準拠して、自立活動等の学習指導を主とした、個別指導や集団指導を行っています。

(5) 学校生活支援員等の配置

小・中・高等学校において、様々な配慮を必要とする児童生徒に対して学校生活上の支援などを行うため、学校生活支援員及び、学校生活支援ボランティアを配置しています。

(6) 学校看護師の配置

小・中・特別支援学校及び高等学校に在籍する医療的ケアを必要とする児童生徒に対して、学校看護師を配置して医療的ケアを実施しています。

(7) 医療的ケアが必要な児童生徒の通学支援

医療的ケアが必要な特別支援学校児童生徒に対して、福祉タクシー等を活用した登校支援を実施しています。

(8) 医療的ケアが必要な児童生徒の宿泊行事同行支援

令和８年度から、医療的ケアが必要な小・中・特別支援学校及び高等学校の児童生徒の宿泊行事（修学旅行、宿泊事業等）参加にあたり、看護師が同行して医療的ケアを実施しています。

９ 高等学校教育

市内には高等学校（全日制）が 40 校（県立 14 校、市立４校、私立 22 校）あり、福岡市が設置する４校においては普通科、総合学科、国際教養科、工業系の学科、家庭系の学科の計 13 学科を設置しています。各校の特色や教育内容等の広報に努めるとともに、魅力を高めるための特色ある教育の取組みを推進するほか、専門学科を有する学校については、令和９年度からの学科改編および共学化に向けた準備を進めています。

(1) 福翔高校

進学型の総合学科高校として「文武両道」を体現する生徒が活躍する高校を目指しています。アントレプレナーシップ教育に取り組み、将来を見据えた探究活動、経済教育プログラムなどの体験的な学びを実施し、グローバルマインドを育んでいます。「キャリア教育の充実」「アクティブラーナーの育成」「部活動の活性化」を実現するためのプログラムや進学コースを充実させています。

(2) 博多工業高校

工業高校ならではの教育を通して、モノづくりのスペシャリストを育て、産業界から求められる確かな技術を身につけた生徒を育成しています。また、各種資格取得や検定合格、社会人として求められる礼儀や規律、コミュニケーション能力等の育成にも力を入れています。令和９年度から、工業系の６学科を工業科１学科に統合します。

(3) 福岡女子高校

市内の公立高校で唯一の女子高校であり、調理師免許の取得ができるなどの特色を持つ家庭科の専門４学科と国際教養科、普通科の計６学科を有しています。普通科に看護進学コースを設置し、多様な進路希望を実現するための教育活動を実践しています。令和９年度から、総合学科に改編するとともに共学化を実施します。

(4) 福岡西陵高校

普通科進学校として、探究活動や ICT 教育の推進など、確かな学力を身につけ、生徒一人ひとりが希望進路を実現する学校を目指し取り組んでいます。また、海外の学校との交流等、国際交流をすすめ、国際性豊かな人間を育成しています。

10　公立夜間中学

令和４年４月に公立夜間中学「福岡きぼう中学校」を早良区百道に開校し、様々な事情で義務教育を十分に受けることができなかった方々に、就学の機会を提供しています。

○所在地	早良区百道３丁目 10 番１号 （福岡市教育センター内）
○施設構成	校長室１室、職員室（事務室を含む）１室、教室６室　※特別教室や保健室については、教育センター内の既存の諸室を活用
○入学対象	福岡市の住民基本台帳に登録されており、かつ学齢期を過ぎた人で以下のいずれかを満たす人 ・様々な事情により義務教育を修了していない人 ・不登校などの事情により義務教育が十分に受けられなかった人

11　幼稚園教育

福岡市立幼稚園は、取り巻く環境の変化に鑑み、その役割・必要性を整理し、各園が立地する地域の保育需要などを踏まえ、あり方の検討を進めてきました。その結果、市立幼稚園も私立幼稚園も同等の教育を受けられる状況にあることなどを総合的に勘案し、市立幼稚園としての役割を終えることとし、平成 30 年度末にすべて閉園しました。

幼稚園教育については、「福岡市保・幼・小・中連絡協議会」を要に、幼児期の教育と学校教育の円滑な接続の観点から、今後も保幼小中連携を推進し、充実を図っていきます。

○市立学校の姉妹校等締結状況一覧

（令和８年３月 31 日現在）

締結校			相手校	相手校所在地	協定締結日
1	高	福岡西陵高等学校	テクニカル・ハイスクール	アメリカ合衆国　オークランド市	昭和 54 年 11 月 17 日
2	高	福翔高等学校	トゥールズロートレック職業高校	フランス　ボルドー市	昭和 59 年　４月　６日
3	高	福岡西陵高等学校	ケルストン男子・女子高校	ニュージーランド　オークランド市	昭和 62 年　３月 20 日
4	高	福岡女子高等学校	東萊女子高校	大韓民国　釜山廣域市	昭和 63 年　９月 20 日
5	中	宮竹中学校	グレンドーイカレッジ中学校	ニュージーランド　オークランド市	平成 元年 11 月 20 日
6	高	福岡西陵高等学校	江原大学校師範大学附設高等学校	大韓民国　春川市	平成 ３年 10 月 30 日
7	小	西新小学校	南川初等学校	大韓民国　釜山廣域市	平成 ５年　３月 27 日
8	小	野芥小学校	下南国民学校	大韓民国　釜山廣域市	平成 ７年　６月 23 日
9	小	別府小学校	リムウェラ・インターメディエット・スクール	ニュージーランド　オークランド市	平成 ８年　８月 16 日
10	中	早良中学校	グレン・イーデン・インターメディエット・スクール	ニュージーランド　オークランド市	平成 ８年 10 月 25 日
11	小	入部小学校	ステエラン小学校	フランス　ボルドー市	平成 11 年　９月 27 日
12	小	内浜小学校	ラジャーディヒル・エクラム小学校	マレーシア　イポー市	平成 11 年 10 月 29 日
13	小	宮竹小学校	パガール・ビシ小学校	マレーシア　クアラトレンガヌ市	平成 12 年　７月 25 日
14	小	東若久小学校	千戸初等学校	大韓民国　ソウル市	平成 13 年　６月 15 日
15	中	箱崎清松中学校	望美中学校（交流校）	大韓民国　釜山廣域市	平成 13 年 11 月　１日
16	小	愛宕浜小学校	レンジビュー・インターメディエット・スクール	ニュージーランド　オークランド市	平成 14 年　３月 27 日
17	小	若宮小学校	サマーヴィル・インターメディエット・スクール	ニュージーランド　オークランド市	平成 14 年　８月　５日
18	中	博多中学校	開林中学校	大韓民国　釜山廣域市	平成 14 年 10 月　１日
19	小	塩原小学校	広南初等学校	大韓民国　ソウル市	平成 15 年　７月 21 日
20	中	金武中学校	大西中学校	大韓民国　大邱廣域市	平成 15 年　７月 25 日
21	小	西高宮小学校	旭水初等学校	大韓民国　大邱廣域市	平成 16 年　２月　６日
22	小	那珂小学校	新川初等学校	大韓民国　釜山廣域市	平成 16 年　４月　４日
23	中	宮竹中学校	ドウングン科学中学校	マレーシア　クアラトレガンヌ市	平成 16 年　７月 31 日
24	小	若久小学校	中星小学校	中華人民共和国　広州市	平成 16 年 12 月 27 日
25	小	西花畑小学校	マリーズベイ・インターメディエット・スクール	ニュージーランド　オークランド市	平成 17 年　８月 25 日
26	小	博多小学校	到遠外国語小学校	中華人民共和国　南京市	平成 19 年　８月 17 日
27	小	和白東小学校	ノーマルインターメディエットスクール	ニュージーランド　オークランド市	平成 22 年　８月 19 日
28	小	那珂南小学校	後龍國民小學	台湾　苗栗縣後龍鎮	平成 23 年 12 月 15 日
29	小	高宮小学校	サマーヴィル・インターメディエット・スクール	ニュージーランド　オークランド市	平成 25 年　９月 24 日
30	中	宮竹中学校	華明中学校	大韓民国　釜山広域市	平成 27 年 12 月 21 日
31	中	住吉中学校	三政中学校	大韓民国　金海市	平成 28 年　８月　３日
32	小	西新小学校	暁庄学院小学校	中華人民共和国　南京市	平成 30 年　２月　９日
33	中	東光中学校	ハウプトシューレ　ヘアベツカウル	ドイツ　フレッヒェン	平成 30 年　９月 25 日
34	小	舞松原小学校	ホーウイック・インターメディエット・スクール	ニュージーランド　オークランド市	令和 元年　９月 26 日
35	中	宮竹中学校	新北市立崇林國民中學	台湾　新北市	令和 ７年　７月 22 日
36	高	福翔高等学校	ｺﾚｯﾀ・ｽｺｯﾄ・ｷﾝｸﾞ・ﾔﾝｸﾞ・ｳｨﾒﾝｽﾞ・ﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟ・ｱｶﾃﾞﾐｰ	アメリカ合衆国　アトランタ市	令和 ７年　８月 22 日

〔参考〕国別の締結件数

①大韓民国	13 件	⑤マレーシア	3 件
②ニュージーランド	10 件	⑥中華人民共和国	3 件
③アメリカ合衆国	2 件	⑦ドイツ連邦	1 件
④フランス	2 件	⑧台湾	2 件
		計	36 件

〔参考〕学校種別の締結件数等

小学校	20 件(19 校)
中学校	10 件(7 校)
高等学校	6 件(3 校)
計	36 件(29 校)

12　教職員

(1) 教職員等現員状況

（令和８年５月１日現在　単位：人）

学校種別	教職員等内訳																
	校長	副校長	教頭	主幹教諭	指導教諭	教諭	講師	養護教諭	養護助教諭	栄養教諭	事務職員	主任実習助手	実習助手	学校栄養職員	用務員	調理業務員	合計
小学校	143	3	190	99	96	3,928	161	164	4	97	243	0	0	0		146	5,274
中学校	69	2	92	67	56	2,270	179	90	2	12	109	0	0	0			2,948
特別支援学校	10	0	17	17	26	686	207	17	0	7	35	2	0	0			1,024
高等学校	4	1	7	8	8	221	41	4	0	0	20	1	1	0			316
合　計	226	6	306	191	186	7,105	588	275	6	116	407	3	1	0	114	146	9,676

注）再任用者を含む。
注）用務員については、拠点となる学校に複数の職員を配置して全校に対応しているため全体の配置数を計上している。

(2) 教職員異動状況

（令和７年３月 31 日～令和８年３月 30 日　単位：人）

区　分	小学校	中学校	特別支援学校	高等学校	総数
採　用	383	242	70	4	699
退　職	229	180	65	18	492
休　職	92	46	28	1	167
復　職	29	19	10	0	58
転　任	778	426	116	19	1,339
昇　任	118	63	12	8	201
総数	1,671	987	300	50	3,008

注）休職には病気休職及び組合専従により、報告対象期間中に１日以上休職した教職員を計上する。

(3) 令和８年度（令和７年度実施）福岡市立学校教員採用候補者選考試験

● 小・中・特別支援・高等学校教員採用区分

受験者数	1,777 人
（内訳）	
小学校教諭	752 人
中学校教諭	579 人
高等学校教諭	53 人
特別支援学校教諭	195 人
養護教諭	146 人
栄養教諭	52 人

(4) 令和８年度管理職候補者選考試験

期日　　令和７年８月

区　分	校長候補者	教頭候補者	合　計
小学校	(45) 178 人	(28) 104 人	(73) 282 人
中学校	(22) 103 人	(13) 66 人	(35) 169 人
高等学校	(1) 6 人	(1) 6 人	(2) 12 人
合　計	(68) 287 人	(42) 176 人	(110) 463 人

注）(　)は女性で内数。

(5) 教員評価制度

平成 29 年度に校長及び高等学校の副校長・教頭へ導入した業績評価について、職員のモチベーションの向上及び働き方改革の推進による組織の活性化を図るため、令和５年度から対象者を全教職員及び事務職員に拡大し、実施しています。職員一人ひとりの業績を適正に評価し、評価結果をフィードバックすることで、職員の資質・能力を向上させ、あわせて組織的・計画的な学校経営の推進に取り組んでいます。

(6) 福利厚生

① 教職員の福利厚生制度

教職員の福利厚生には、法定の制度として地方公務員等共済組合法に基づく「公立学校共済組合」及び地方公務員災害補償法に基づく「公務災害補償」があり、法定外では、「福岡市教職員互助会」があります。

② 福岡市教職員互助会

福岡市教職員互助会では、市立学校の教職員の福利厚生に関する事業として見舞金等の給付事業や健康管理、研修等の助成事業等を実施しており、これらの事業を通じて教職員の健康増進及び研修による資質の向上等を図っています。

③ 教職員住宅

住宅名	建設場所	建物の構造	戸数
小呂１・２号棟　教職員住宅	小呂島	木造２階建	12戸
小呂３号棟　〃	〃	〃	4戸
小呂４号棟　〃	〃	〃	1戸
玄界第１　〃	玄界島	ＲＣ３階建	9戸
玄界第２　〃	〃	木造２階建	12戸

○ 令和８年度事業概要

事業内容		予算額	備考
		千円	
給付	見舞金	7,010	出産見舞金、傷病見舞金、災害見舞金、療養見舞金
	祝金	11,435	入学祝金、結婚祝金、育児祝金
	弔慰金	2,680	死亡弔慰金（本人、配偶者、子、父母、扶養親族）
貸付	貸付金	721,696	一般資金、慶弔資金、車両購入等資金、転居資金、修学資金
文化・厚生助成	厚生活動補助	4,055	スポーツ施設利用助成、スポーツ活動等助成
	健康管理	19,540	人間ドック助成
	研修	6,720	研修助成、セミナー助成、職場等で開催のセミナーへの講師派遣
	カフェテリアプラン	750,470	観劇・スポーツ観戦チケット斡旋、育児、介護、人間ドック・医薬品斡旋ほか
	団体保険	725,355	生命保険、損害保険等
	修学助成	1,128	遺児等修学助成
相談	カウンセリング	3,559	教職員相談室、法律相談

13　学校施設整備事業

学校施設の建設をはじめ、良好な教育環境の向上と充実のための施設整備事業を計画的・年次的に実施しています。

(1)　学校新設及び建替

学校教育環境整備のため、新設校の建設や老朽化し一斉に更新時期を迎える校舎等の建替えを進めていきます。

(2)　校舎購入

福岡市では、一部の学校の新築等を(公財)福岡市施設整備公社に依頼しています。

これに基づき同公社が整備した校舎等については、計画的に購入（取得）しています。

(3)　学校用地取得

学校を新設する場合や学校用地の規模の適正化の観点から必要な用地を関係地権者の協力を得ながら取得し、適切な教育環境の確保に努めています。

(4)　校舎増築

児童・生徒数の将来推計に基づき、普通教室が不足する学校について校舎の増築を行います。

(5)　長寿命化改良

経年劣化の進んだ校舎等の機能回復を行うことに加え、構造体の長寿命化及び社会ニーズに応じた機能確保を計画的に行います。

(6)　附帯施設等整備

前述のほか、プール更衣室、便所、体育用具室、給水施設、外柵、グラウンド、防球ネット等の施設整備を行います。

14　学校施設空調整備事業

児童生徒が健康で快適に学習できる環境を整備します。

(1)　普通教室空調整備事業

平成 28 年度までに小中学校の普通教室に整備した空調の維持管理とともに、PFI 事業により整備した空調については、その性能や事業者の維持管理サービスの継続的なモニタリングを実施します。

(2)　特別教室空調整備事業

令和４年度までに小中学校の特別教室に整備した空調の維持管理とともに、PFI 事業により整備した空調については、その性能や事業者の維持管理サービスの継続的なモニタリングを実施します。

(3)　体育館空調整備事業

教育環境を向上させるとともに、避難所としての環境を改善するため、すべての市立学校の体育館にリース方式で空調を整備します。令和７年度に着手し、令和９年度までの３年間で整備を完了します。

◆整備状況

令和７年度　特別支援学校 10 校、小学校 35 校に整備
令和８年度　小学校 90 校に整備予定
令和９年度　小学校 22 校、中学校 66 校、
　　高等学校４校に整備予定

○ 施設整備の概要

（単位：千円）

区分	校数	事　業　費	摘　　要
校舎購入	2	3,215,335	西都北小、春住小
校舎増築		3,518,397	用地取得費等
長寿命化改良		148,421	次年度設計、躯体調査
建替え事業		775,260	工事、実施設計、基本設計、基本計画等
附帯施設等整備		2,119,300	内外壁改修　外
合計	—	9,776,713	

注）事業費は令和８年度予算額

15　学校規模適正化事業

(1)　概要

小規模校や過大規模校が抱える教育課題を解決し、子どもたちにより良い教育環境を提供するため、「福岡市立小・中学校の学校規模適正化に関する実施方針」に基づき、小・中学校の統合や分離、通学区域の変更等による学校規模の適正化を推進しています。

●主な取り組み

開校年度	行政区	学校名
平成 26 年 4 月	中央区	舞鶴小中学校
平成 27 年 4 月	博多区	住吉小中学校
平成 29 年 4 月	西区	西都小学校
平成 31 年 4 月	東区	照葉北小学校
令和 5 年 4 月	西区	西都北小学校
令和 6 年 4 月	東区	照葉はばたき小学校
令和 8 年 4 月	西区	周船寺中学校

(2)　アイランドシティ地区新設中学校整備

アイランドシティ地区の大規模な住宅開発に伴い、照葉中学校は過大規模の状態が継続することが見込まれることから、令和 11 年４月開校に向けた新設中学校の整備を進めています。

◆スケジュール（実績、予定）
令和７年度　基本設計
令和８年度　実施設計
令和９～10 年度　校舎建設工事、開校準備
令和 11 年４月　開校

16　私学助成

私立高等学校の教育設備整備事業に対して、「福岡市私立高等学校補助金」を支出し、助成を行っています。

区　　分	令和　８　年　度
対　象　校	22校
補　助　総　額	39,486千円

※　私立小・中学校助成および福岡朝鮮初級学校助成については、福岡市内の小中学生に対して、今後、公立・私立の違いや国籍の違いに関わりなく、同じ福岡市の子どもとして分け隔てなく児童生徒個人を支援する様々な事業に取り組むことから、平成 24 年度をもって終了しました。

17　就学援助・特別支援教育就学奨励費

(1)　就学援助

経済的理由により学用品等、学校での学習に必要な費用の支払いが困難な児童生徒の保護者に支援を行うことにより、義務教育の円滑な実施を図ります。

平成 18 年度からは、国県立小中学校の児童生徒で福岡市に住所を有する場合も対象としています。

※根拠：教育基本法、学校教育法、福岡市児童生徒等就学援助規則

(2)　特別支援教育就学奨励費

小中学校の特別支援学級等に就学する児童生徒の保護者に対して、就学に必要な学用品費の援助を行うことにより経済的負担を軽減し、特別支援教育の振興を図ります。

なお、平成 25 年度からは、一定の障がいを有する児童生徒で普通学級に就学する場合も対象としています。

※根拠：特別支援学校への就学奨励に関する法律、福岡市立小中学校特別支援教育就学奨励費交付要綱

18　奨学制度

奨学金事業等（公益財団法人　福岡市教育振興会）

設立年月日　　昭和 34 年７月
所在地　　福岡市中央区天神一丁目８番１号

(1) 目的及び沿革

本会は、明治 40 年から昭和 25 年まで制定されていた「小学校基本財産蓄積条例」等による寄附金利息等をもとに、将来の福岡市の教育経費のすべてをその利息で賄うこととしたこの条例の趣旨等を生かし、福岡市教育の振興発展を図るため、主として教育的援助を行うことを目的として、昭和 34 年７月に設立されました。以来、市や市内企業、一般市民からの寄附金を募ることで基本財産の拡大に努め、その利息や市助成金により奨学金貸与等の諸事業を実施しています。

また、郡教育振興基金を設置し、平成 12 年度からアジア・世界に視野を広げる教育の充実を図るため、姉妹校等交流事業・高校生留学奨励事業を行っています。

（令和８年度当初予算額）
基　本　金　　61,180 千円
市 補 助 金　　64,305 千円
市 貸 付 金　　3,644,282 千円

(2) 事業内容

① 奨学金事業

福岡市民の子で、福岡市教育振興会が指定した福岡県内の高等学校、高等専門学校若しくは専修学校（高等学校卒業と同等と認められる高等課程）に在学し、まじめに勉学する者で、学資の支弁が困難と

認められる者に奨学資金・入学資金を貸与しています。

※　奨学生の受付と決定

奨学生の申込みは、前年度の 11 月～12 月に市内中学校を通じて受け付けて２月に採用予定者を決定し、高校等入学の進路が確定した者から順次奨学金の貸与を開始します。

● 奨学資金・入学資金

区分	奨学資金	入学資金	償還期間
公立	月額18,000円 月額15,000円 月額10,000円	50,000円	９年以内
私立	月額25,000円 月額15,000円 月額10,000円	100,000円	12年又は ９年以内

② 住居費補助事業

離島（小呂島、玄界島）及び板屋地区出身者で高等学校、高等専門学校若しくは専修学校（高等学校卒業と同等と認められる高等課程）に在学し寄宿している生徒に対し住居費の補助を行っています。

● 補助状況

年　　度	人　　員	補 助 額（月額）
令和７年度	7人	14,000円
令和８年度	10人	14,000円

注）令和７年度は年度末時点人員、令和８年度は当初予算人員

③ 郡教育振興基金事業

海外の姉妹校等への児童生徒の派遣を支援するとともに、高校生の海外留学を支援するために費用の一部を助成する事業を行っています。

表１　令和８年度就学援助（給付単価と給付見込人員）

区分		対象学年	給付単価	給付見込人員	事業費（予定）
小学校	給食費	全	－	－ 人	－ 千円
	学用品費等	１年	13,230	1,999	25,601
		２～６年	15,500	11,443	171,691
	入学準備金（Ｒ７年度入学後支給分）	１年	64,300	766	47,431
	入学準備金（Ｒ８年度入学前支給分）	Ｒ９年度新１年	64,300	1,220	75,543
	修学旅行費	６年	対象経費の実費（上限26,180）	2,663	60,368
	通学費（２km以上）	全	必要と認められる額	128	3,661
	校外活動費(宿泊を伴うもの)	全	対象経費の実費（上限3,690）	2	3
	社会科見学費	５年	対象経費の実費	2,757	3,403
	卒業アルバム代等	６年	対象経費の実費（上限11,000）	2,453	11,738
	オンライン通信費	全	15,000	8,264	121,233
	計	－	－	－	520,672
中学校	給食費	全	実費（通常月7,600）	7,511	563,207
	学用品費等	１年	25,040	2,527	61,884
		２，３年	27,310	5,011	133,840
	入学準備金（Ｒ７年度入学後支給分）	１年	81,000	857	66,085
	入学準備金（Ｒ８年度入学前支給分）	Ｒ９年度新１年	81,000	1,654	127,543
	修学旅行費	２年	対象経費の実費（上限62,300）	2,755	135,707
	通学費（３km以上）	全	必要と認められる額	97	3,929
	体育実技用具費	全	実費（上限7,650）	3	23
	校外活動費(宿泊を伴うもの)	全	対象経費の実費（上限6,210）	205	418
	卒業アルバム代等	３年	対象経費の実費（上限10,000）	2,486	7,930
	修学旅行（旅券）	２年	11,000	18	198
	オンライン通信費	全	15,000	7,456	110,386
	夜間中学（給食費・入学準備金以外）	－	－	－	1,259
	計	－	－	－	1,212,409
合計		－	－	－	1,733,081

注）令和８年度当初予算額

19　発達教育センター



○所在地	福岡市中央区地行浜二丁目１番６号
○建物構造	鉄筋コンクリート （地下１階　地上３階）
○延床面積	3,166 ㎡
○敷地面積	3,056 ㎡
○設置年月日	平成７年４月１日

(1) 概要

障がいのある児童生徒の成長や発達を促すために、特別支援教育に関して子どもと学校をつなぐ中心的指導施設として設置し、教育の在り方について保護者の理解を得るとともに、子どもたちの能力を高めるための教育活動を援助する教育機関としての役割を担っています。

○ 特別支援教育の教育計画作成に関する業務を通して、特別支援教育の積極的な推進を図っています。

○ 特別支援学校の学校指導に関する業務及び学校教育基盤の整備を図っています。

○ 特別支援教育関係機関及び行政・研修機関との連絡調整を通して、特別支援教育の円滑な推進を図っています。

(2) 学校指導

障がいのある児童生徒の障がいの状態や発達段階、特性等に応じた学校教育を推進するため、就学相談や本センターの教育相談と連携した学校指導を行っています。

(3) 教育相談

① 目的

児童生徒の障がいの状態及び教育ニーズ等を的確に把握し、家庭での関わり方や学校での教育等について、児童生徒の保護者や教職員を対象に、関わり方や教育の在り方等に関する相談・支援を行っています。

② 相談件数

（令和７年度）

区分		相談申込（人）	相談件数（件）
その他就学前		0	0
小学校	通常学級	204	913
	特別支援学級	41	314
中学校	通常学級	34	172
	特別支援学級	5	24
特別支援学校	小学部	0	0
	中学部	2	7
	高等部	0	0
その他		4	12
合計		290	1,442

(4) 就学相談

① 目的

次年度小学校入学予定者及び市立小中特別支援学校在学の児童生徒で障がい等があるため、学校教育上特段の配慮を必要とする者に対して検査、面接等を通して、適切な学校教育を受けられるよう就学に関する相談及び支援を行います。また、市立小中特別支援学校において学校看護師による医療的ケアを希望する者に対して、就学に関する相談とともに適切に学校看護師による医療的ケアを受けられるよう、医療的ケアに関する相談を行います。

② 内容

ア　行動等の観察・記録

運動機能やコミュニケーションの様子を観察し、障がいの状態の把握

イ　医療相談

小児科医等による医療相談

ウ　難聴・言語相談

聴覚・言語に障がいがある児童生徒の養育・教育に関する相談

エ　面接相談

保護者の意向を聴取し、就学先等に関する助言

20　教育センター



○所在地	福岡市早良区百道三丁目 10 番１号
○建物構造	鉄筋コンクリート　４階建
○延床面積	7,826 ㎡
○敷地面積	6,481 ㎡
○設置年月日	昭和 24 年５月７日(教育研究所)
	昭和 57 年２月１日(教育センター)

(1)　概要

教育センターは、教育に関する専門的・技術的事項の調査研究及び教育関係職員の研修等を行うことを目的として設置され、信頼に応え得る教職員を育成するために、教職員の資質・能力の向上・活性化を図る研修・研究を充実させることを方針とし、研修事業、及び調査研究事業を実施しています。

研修事業では、教職員の指導力向上をめざし、経験年数・職能・教科等・教育課題に応じた研修講座を実施しています。

調査研究事業では、学校現場の支援として、教育センター研究協力事業のほか、学校訪問・来所相談での指導・助言を行っています。また、授業力向上支援センターにおいて、教育情報の提供や指導・助言を行っています。さらに、各種派遣研修、研修員等による調査研究を推進しています。

(2)　事業計画

①　研修講座の企画・実施

＜目的＞

教職員の指導力向上の充実を図り、福岡市の学校教育を支える人材育成を推進し、福岡市の教育の充実・発展に寄与します。

＜内容＞

福岡市教員育成指標に基づき、教職員の指導力向上を図るために、それぞれのキャリアステージやニーズに応じて研修を受講できるように、経験年数・職能・教科等・教育課題に応じた研修講座を企画・実施します。

研修講座の編成は、以下のとおりです。令和８年度は、研修の目的や内容に応じて、「対面型」や「リアルタイム・オンライン型」、「オンデマンド型」などの研修形態を設定しています。

○ 法定・経験年数研修

教職員の経験年数に応じて求められる資質・能力の向上を図る研修を行っています。

・初任者研修（１、２、３年次）
・６年次研修
・中堅教諭等資質向上研修（11 年次）
・20 年次研修、30 年次研修

○ 職能研修

職能に応じて求められる資質・能力の向上を図る研修を行っています。

・校長、副校長・教頭、主幹教諭、学校事務職員、常勤講師や非常勤講師等の職種に応じた研修
・人権教育担当者や特別支援学級担任、研修担当者等の役割に応じた研修

○ 教科等研修（学習指導）

教科・領域に関する専門的知識・技能を習得し、学習指導力の向上を図る研修を行っています。

・深い学び各教科等
・小学校各教科等ステップアップ　　等

○ キャリア研修

今日的な教育課題を学ぶことを通して、教育に関する視野を広げ、人間力の向上を図る研修を行っています。

・事案対応や危機管理に関する研修
・児童生徒理解に関する研修
・働き方改革に関する研修　　等

○ 特別支援教育、人権教育、教育相談に関する研修

②　派遣研修の実施

ア　教職員等中央研修

＜目的＞

学校経営等に資する課題解決力の育成を図り、各地域の中核となる校長、副校長・教頭、中堅教員及び事務職員等を育成します。

＜内容＞

教育行政リーダー、校長、副校長・教頭等、中堅教員、次世代リーダー教員、事務職員等を育成

＜派遣状況＞

令和７年度（17 人）

イ　国立特別支援教育総合研究所派遣研修

＜目的＞

障がいのある児童生徒の教育を担当する教職員を対象に、特別支援教育に関する専門的知識及び技術を深め、指導力の向上を図るとともに、その成果を教育

委員会が実施する研修内容に生かし、福岡市の特別支援教育の一層の充実を図ります。

＜内容＞

特別支援教育に関する講義、演習、研究協議、実地研修、課題研究等

＜派遣状況＞

令和７年度（１人）

ウ　福岡市立高等学校教員長期研修

＜目的＞

学校教育の場を離れ、幅広い知見と豊かな人間性の習得をめざし、これからの学校教育に必要な教員の資質や指導力の向上を図ります。

＜内容＞

調査研究部門と企業等社会体験部門のいずれかを選択

＜派遣状況＞

令和７年度（１人）

③　研修指導員等による指導・支援

研修指導員等が、指導に課題がある教職員に対して指導・助言を行い、指導力向上を図ります。

ア　指導に課題がある教職員に対する取組み

(ｱ) 研修指導員による電話での聞き取り及び学校訪問

＜内容＞

学習指導や学級経営等で指導に課題や不安がある教職員の状況を全学校へ聞き取り、相談及び必要な支援等を実施。

(ｲ) 若年教職員に対する支援

＜対象＞

１～４年次教職員。

＜内容＞

学習指導や学級経営等で指導に不安がある若年教職員に対して、一人一人に応じたアウトリーチ型の支援を実施。

(ｳ) 指導に一部課題がある教職員に対する支援

＜対象＞

教科指導や学級経営などの指導において、一部課題がある教職員。

＜内容＞

校長の要請に応じて、研修指導員が、授業やコミュニケーションなど個々の課題に応じた指導を実施。

(ｴ) 指導に著しい課題がある教職員に対する支援

＜対象＞

教科指導や学級経営などの指導において、著しい課題がある教職員。

＜内容＞

校長の要請に応じて、研修指導員を中心に、人材育成課及び教育委員会事務局担当課が連携し、個別指導を実施。（最長１年間）

(ｵ) 指導が不適切な教職員に対する支援（指導改善研修）

＜対象＞

知識、技術、指導方法その他教員として求められる資質、能力に著しい課題があり、指導が不適切な教職員。

＜内容＞

研修指導員が、教育センターにおいて、教科指導や生徒指導、学級経営等に関する研修、社会体験研修などを実施。（１年間：最長２年間）

イ　体罰等の不祥事を起こした教職員に対する取組み（特別研修）

＜対象＞

体罰等の不祥事を起こした教職員。

＜内容＞

研修指導員が、教育センターにおいて、服務・倫理研修等を実施。

④　授業力向上支援センターにおける教育情報の提供

学校運営や学級経営、授業づくり等を支援し、教職員の資質・能力の向上を図ります。

ア　教育関係図書等

教育関係図書、教育関係資料を収集、保管し、教育実践に役立つ情報の提供を行います。

○ 教育関係図書、教育関係資料の収集、保管、展示、貸出

○ 教科書の保管、展示

イ　視聴覚教材

視聴覚教材を収集、保管し、学校における校内研修や授業づくりに役立つ情報の提供を行います。

○ 教育関係 VTR、DVD の収集、保管、展示、貸出

ウ　その他の教育情報の提供

授業づくりに役立つ学習指導案、研究紀要、動画等の提供を行います。

○ ホームページや福岡市先生応援サイトによる研究紀要、校内研修資料等の提供

＜利用者数・保有数・貸出数＞

（令和８年３月 31 日現在）

	令和７年度
来所者数	5,897 人
ネット利用者数	1,673 人
図書蔵書数	33,182 冊
教育資料保有数	16,680 冊
VHS 保有数	2,581 本
DVD 保有数	374 本
学習指導案（福岡市）	5,413 本
学習指導案（福岡市外）	2,246 本
図書・教育資料貸出数	4,308 冊
VHS・DVD 貸出数	11 本

⑤　研究推進の支援

ア　教育センター研究協力校への支援

＜目的＞

福岡市喫緊の課題や先進的教育課題の解決をはじめ、校内研修推進及び人材育成を図るために、指定した研究協力校と教育センターが協力してその方途を探り、実践事例を創出し、取組みを全体に展開することで、福岡市教育の振興・充実をめざしています。

＜内容＞

○ 校内研修推進及び人材育成に向けて、具体的な手法を実践的に研究し、その成果をまとめて全市に普及・啓発を行っています。また、学習指導要領の趣旨及び「第３次福岡市教育振興基本計画」や「学校教育指導の重点」等に基づき、子どもたちの学びの転換を推進する授業開発について、学校と教育センターが協力して、校内研修を通した実践的研究を進めています。

＜方法＞

○ 令和８年度は研究協力校４校が、主題、研究構想、推進計画等を教育センターと学校が協議を重ねながら研究を推進しています。

○ 研究期間は２年間を基本とし、その間は予算措置を講じるとともに、教育センターの指導主事等が継続的に協議及び指導助言にあたり、全市に向けて発表や情報提供等を行っています。

イ　学校への支援（学校訪問、来所相談）

＜目的＞

各学校の校内研修・校内研究・授業研究等に対して、学校訪問による指導助言及び来所相談に応ずる指導助言を行い、教職員の資質・能力の向上を図るとともに、各学校の研修・研究の充実を図っています。

＜内容＞

○ 校内研修会・校内研究会・授業研究会等での指導助言（学校訪問）

○ 校内研修・校内研究・授業等に関する指導助言、指導上の悩みに関する指導助言（来所相談）

○ 配慮を要する児童生徒に対する支援に関する指導助言（学校訪問・来所相談）

⑥　研修員等による調査研究

ア　研修員による調査研究

長期研修員による調査研究は、「第３次福岡市教育振興基本計画」の具現化や教育の最新動向を踏まえて実現すべき学校教育の姿、授業における普遍的で確かな指導技術等、本市の重点施策や喫緊の教育課題に対する取組みを明らかにし、研究の成果を全市に還元するとともに、「令和の日本型学校教育」を担う教師に必要な資質能力を高め、本市学校教育を牽引する次世代のリーダーを育成することを目的として実施しています。

令和７年度は、長期研修員 12 名が、指導主事に指導を受けながら、調査研究等を進めました。

年度末に、研究成果物として、教育センター研究発表会を開催しました。

令和８年度の研究領域等は、以下のとおりです。

○ 深い学びの教育実践研究として 12 名が授業実践を行います。各学校の校内研修への派遣に加え、教育センター研究発表会にて研究成果を還元する予定です。

イ　非常勤研修員による調査研究（G研）

非常勤研修員による調査研究は、本市の教育課題の解決や学習指導要領のよりよい実施に向けた実践研究を行い、教育実践上の基礎資料の提供を通して、全市へ還元を図るとともに、教育実践に関する専門的知識や技能の向上を目的として実施しています。

ウ　指導主事による調査研究

福岡市における教育課題並びに福岡県、九州地区、指定都市及び全国の教育研究所連盟等の共同研究課題を解明するため、指導主事等による調査研究を行い、その成果は刊行物を通じて公表します。

・指定都市教育研究所連盟関係
・全国教育研究所連盟関係
・九州地区教育研究所連盟関係
・福岡県教育研究所連盟関係

生涯学習

１　概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・42
２　生涯学習情報の提供・・・・・・・・・・・・・・・・・42
３　公民館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・42
４　市民センター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・43
５　空港周辺共同利用会館・・・・・・・・・・・・・・・・45
６　家庭教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・45
７　子ども読書活動の推進・・・・・・・・・・・・・・・・45
８　青少年教育の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・45
９　成人教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・45
10　社会教育関係職員研修・・・・・・・・・・・・・・・・46
11　総合図書館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・47

生　涯　学　習

1　概要

生涯にわたり、自ら学び考える力や豊かな人間性をはぐくむため、また、少子・高齢化やIT化、グローバル化の進展などによる社会・経済の急速な変化に対応するため、新しい知識や能力を主体的に習得していくことが求められています。

福岡市では、このような生涯学習に関する情報の提供や市民の学習活動を支援しています。

社会教育施設については、公民館の整備を年次計画により進めています。また、行政区単位に市民センターを設置しており、令和４年度に南市民センターを子どもプラザ及び音楽・演劇練習場との複合施設として改築したほか、令和７年度より中央市民センターの大規模改修を行っています（令和９年夏頃開館予定）。

さらに、市民一人ひとりの連帯意識を高め、地域の教育機能の活性化を図るため、各種講座や研修並びに各種団体の育成、学習活動の援助を行い、指導者やボランティアの養成確保に努めています。

加えて、今なお社会に根強く残っている同和問題をはじめとする一切の差別をなくすため、社会教育の全領域において、基本的人権の尊重を基調とする施策を展開しています。

2　生涯学習情報の提供

市民の学習活動を支援するため、公民館や大学、民間事業者等の関連機関・団体と連携し、学習情報や人財リストの提供を行っています。

いつでも、どこでも、気軽に生涯学習に関する情報を入手できるように、ホームページ「福岡市学習情報提供システム　まなびアイふくおか」を平成14年度に開設し、学習情報等を提供しています。

（http://gakushu.city.fukuoka.lg.jp/）

- 「講座・イベント情報」で福岡都市圏のさまざまな機関・団体等の講座・イベント等を紹介
- 「講師・指導者情報」で福岡市と外郭団体の６つの人財リスト「福岡市地域人財バンク」を紹介
- 「公民館情報」で市内150館の講座・イベントやサークル情報等を発信
- さまざまな生涯学習関連機関・団体等のホームページへリンク

福岡市地域人財バンク登録リスト

- 生涯学習関係講師リスト
- 環境教育・学習人材リスト
- 博多マイスター
- 福岡市スポーツリーダーバンク
- アミカス人材情報
- 文化芸術人材情報リスト

3　公民館

「市民がさまざまな学習を通して、自律的に、豊かに生きていける社会」の実現を目指して、人権問題をはじめ子育て支援やまちづくり、防災・防犯など、さまざまな地域課題の解決に役立てるため、講座等の各種事業を実施しています。

また、コミュニティづくりの「核」となる施設と位置づけ、自主的な活動を促進するため、多様な人材の発掘・育成等を通して、コミュニティの活性化に向けた支援を行っています。

利用時間	午前９時～午後10時
休館日	毎月月末、５月３日～５日、 ８月13日～15日、12月29日～１月３日 ※臨時休館あり ※令和８年６月福岡市公民館条例改正
施設	講堂・学習室・和室・事務室（児童等集会室・地域団体室）

○設置状況　（令和８年４月１日現在）

区	設置数	区	設置数
東	30	城南	11
博多	22	早良	24
中央	14	西	24
南	25	合　計	150館

○公民館利用状況　（150館）　（令和７年度）

	利用人数（人）
主催事業	288,949
主催会議	36,682
行政利用	279,287
地域諸団体	827,674
図書利用	57,948
グループ・サークル	1,244,263
その他	661,078
館内計	3,395,881
主催事業	98,387
グループ・サークル	1,954,371
その他	86,982
館外計	2,139,740
合計	5,535,621

	利用回数
主催事業	10,972
主催会議	1,995
行政利用	4,306
地域諸団体	58,671
図書利用	33,455
グループ・サークル	217,614
その他	349,320
計	676,333

(1) 公民館講座

子育て、男女共同参画社会の形成、環境問題や国際理解等の現代的課題に関する学習機会を提供するとともに、子どもの健全育成関連事業、高齢者地域参画事業、地域活動ボランティア養成等への支援を実施しています。

（令和７年度）

	館数	回数	延べ受講者数
子どもの健全育成関連事業	149	2,237	72,856
地域人材育成事業			
地域活動ボランティア養成講座	25	157	3,776
地域リーダー育成講座	34	338	7,610
地域の実態に即した事業・社会の動向に対応した事業			
安全・安心まちづくり講座	38	135	4,912
男女共同参画学習講座	33	107	3,156
環境問題学習講座	49	197	3,783
高齢者地域参画支援講座	147	2,000	53,766
多文化共生関連事業	29	217	4,446
地域のデジタル化支援事業	40	282	4,036
その他	123	1,974	120,966
家庭・地域の教育力向上関連事業			
家庭教育学級	44	298	6,427
乳幼児ふれあい学級	128	1,471	39,859
子育てサポーター養成講座	5	14	267
その他	60	552	24,590
地域体育振興事業	70	437	16,584

(2) 人権教育の推進

市民一人ひとりの同和問題をはじめ様々な人権問題に対する正しい認識と人権意識の高揚を目指して、日常的な啓発に努めるとともに、地域指導者、社会教育関係団体、グループ・サークル会員等を対象とした研修を実施しています。

4 市民センター

市民の教育、文化の振興、社会福祉の増進に寄与するとともに、地域の連帯意識の高揚に資するため、行政区単位に設置している市民センターでは、各種講座・講演会、研修会などが開催されるとともに、市民の学習や文化、芸術の発表・地域活動の場として利用されています。

平成 24 年度から、指定管理者制度を導入しており、市民サービスの向上に努めています。

利用時間	午前９時～午後９時（ホールは午後 10 時まで、図書館は午前 10 時～午後６時、東図書館のみ午前９時～午後８時）
休 館 日	毎月最終月曜日（その日が休日に当たる時は、その日後において最初の休日でない日） 年末年始（12 月 28 日～１月３日）

(1) 東市民センター

○ 建物構造　鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)地上２階建(一部４階建)
○ 敷地面積　9,343 ㎡
○ 延床面積　11,566 ㎡
○ 主要施設　ホール(800 人固定席)、視聴覚室、実習室、会議室、研修室（多目的室)、和室、託児室　※図書館（東図書館)、音楽・演劇練習場、行政サービスコーナー、利便施設を併設

(2) 博多市民センター

○ 建物構造　鉄筋コンクリート造地下１階地上５階建
○ 敷地面積　3,043 ㎡
○ 延床面積　4,725 ㎡(うち１階屋内駐車場 627 ㎡)
○ 主要施設　ホール(500 人固定席)、視聴覚室、音楽室、実習室、会議室、和室、託児室　※図書館（博多図書館)、子どもプラザを併設

(3) 中央市民センター（改修前）

○ 建物構造　鉄筋コンクリート造地下１階地上３階建(一部４階建)
○ 敷地面積　4,382 ㎡
○ 延床面積　3,888 ㎡
○ 主要施設　ホール(500 人固定席)、視聴覚室、音楽室、実習室、会議室、和室、託児室
※図書館（中央図書館）を併設

※大規模改修工事のため令和７年 10 月から令和９年夏頃まで休館

(4) 南市民センター

○ 建物構造　鉄筋コンクリート造(一部Ｓ造)地下１階地上４階建
○ 敷地面積　8,632 ㎡

○ 延床面積　6,581 ㎡
○ 主要施設　ホール(736 人固定席、52 人移動席)、視聴覚室、実習室、会議室、研修室、和室、託児室　※図書館（南図書館)、音楽・演劇練習場、子どもプラザを併設

(5) 城南市民センター

○ 建物構造　鉄筋コンクリート造地下１階地上４階建
○ 敷地面積　7,437 ㎡
○ 延床面積　4,043 ㎡
○ 主要施設　ホール(500 人固定席)、視聴覚室、音楽室、実習室、会議室、和室、託児室
※図書館（城南図書館）を併設

(6) 早良市民センター

○ 建物構造　鉄筋コンクリート造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造）地下１階地上４階建(一部５階建)
○ 敷地面積　4,381 ㎡
○ 延床面積　4,094 ㎡
○ 主要施設　ホール(500 人固定席)、視聴覚室、音楽室、実習室、会議室、和室、託児室
※図書館（早良図書館）を併設

(7) 西市民センター

○ 建物構造　鉄筋コンクリート造地下１階地上４階建(一部５階建)
○ 敷地面積　4,338 ㎡
○ 延床面積　5,208 ㎡
○ 主要施設　ホール(800 人固定席)、視聴覚室、音楽室、実習室、会議室、和室、託児室
※図書館（西図書館）を併設



【南市民センター】

市民センターの利用状況　※東・南…音楽・演劇練習場含む

○ 主催者別利用状況　（令和７年度）

区分＼市民センター	東	博多	中央	南	城南	早良	西	計
主催事業	156 件 5,055 人	92 件 7,043 人	100 件 2,003 人	267 件 11,147 人	445 件 5,192 人	388 件 6,164 人	82 件 2,509 人	1,530 件 39,113 人
団体	1,917 35,802	1,648 65,557	484 21,275	1,934 77,580	820 27,845	773 24,536	839 12,728	8,415 265,323
グループ及びサークル	10,439 93,780	1,918 23,141	1,744 17,418	8,528 52,116	1,564 19,414	1,732 20,943	2,002 17,037	27,927 243,849
公共団体	1,061 49,638	320 12,510	241 18,275	814 30,240	353 12,197	1,039 28,723	867 16,631	4,695 168,214
計	13,573 184,275	3,978 108,251	2,569 58,971	11,543 171,083	3,182 64,648	3,932 80,366	3,790 48,905	42,567 716,499

○ 会場別利用状況　（令和７年度）

区分＼市民センター	東	博多	中央	南	城南	早良	西	計
ホール	404 件 70,336 人	294 件 53,020 人	165 件 31,927 人	329 件 78,256 人	245 件 27,677 人	292 件 36,360 人	0 件 0 人	1,729 件 297,576 人
会議室及び研修室	2,964 43,766	1,774 30,285	924 11,097	2,437 31,012	1,046 16,163	1,398 18,982	1,377 21,425	11,920 172,730
和室	918 6,357	545 3,327	498 2,267	275 1,465	449 2,541	706 3,607	753 3,814	4,144 23,378
視聴覚室	555 14,869	396 10,274	251 5,929	361 8,677	403 8,038	487 10,008	490 10,179	2,943 67,974
音楽室	8,128 42,951	522 5,818	408 4,758	7,528 45,936	653 5,953	610 7,335	763 9,332	18,612 122,083
実習室	604 5,996	447 5,527	323 2,993	613 5,737	386 4,276	439 4,074	407 4,155	3,219 32,758
計	13,573 184,275	3,978 108,251	2,569 58,971	11,543 171,083	3,182 64,648	3,932 80,366	3,790 48,905	42,567 716,499

５　空港周辺共同利用会館

航空機の騒音により学習活動が著しく阻害されている地域の住民について、その障害の緩和を目的とした、学習、集会等の活動のため設置しています。

設 置 数	17 館
利用時間	午前９時～午後 10 時
休 館 日	毎週月曜日 年末年始（12 月 29 日～１月３日）
施　　設	集会室・学習室・休養室

６　家庭教育

(1) 家庭教育支援事業

家庭の教育力の向上や、子どもの基本的生活習慣の定着に向け、入学説明会等を活用した学習会、家庭教育支援パンフレット活用研修会、早寝・早起き・朝ごはん啓発講演会や家庭教育支援講座などを開催しています。

(2) 不登校児童生徒の保護者支援事業

不登校児童生徒の保護者の孤立防止や不安・悩みの解消を図るため、NPO と共働で、セミナーの実施や電話・メール相談、学校保護者の会の開催支援等を行っています。

７　子ども読書活動の推進

子どもの読書活動の推進に関する法律に基づき、子どもの自主的な読書活動を推進する環境の整備を図るため、平成 17 年３月に「福岡市子ども読書活動推進計画」を策定。平成 23 年５月に第２次計画、平成 29 年２月に第３次計画、令和５年３月に第４次計画を策定しました。

家庭・地域・学校・図書館等での取組みを促進するため、「福岡市子どもと本の日（毎月 23 日）」の普及、読書リーダーの育成、スタンバード文庫事業などを実施しています。

８　青少年教育の充実

(1) 雁の巣児童体育館

本施設は、雁の巣地区の児童生徒が米空軍基地（昭和 47 年撤収）により課外活動の制限を受けることを緩和するために設置されたもので、体育・レクリエーション活動を通じて同地区の児童生徒をはじめとする福岡市の児童生徒の心身ともに健全な育成を図ることを目的としています。

○建物構造　　鉄骨平屋建
○敷地面積　　842 ㎡
○延床面積　　427 ㎡
○主要施設　　体育館、事務室ほか

利用時間	午前９時～午後９時
休 館 日	毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日以降最初の平日） 年末年始（12 月 29 日～１月３日）

(2) 障がい者青年学級

市内特別支援学校高等部を卒業した知的障がいのある青年を対象に、慣れ親しんだ環境、教員のもとで卒業後の家庭生活の自立及び社会生活の状況を把握し、相談等の機会を確保するとともに、孤立しがちな障がいのある青年に学習・交流の場や機会を提供しています。

９　成人教育

PTA 研修事業

子どもたちの健やかな成長のために、保護者と教職員が協力して、共に学び、活動する PTA が、社会教育関係団体として、適切な運営と自主的な活動を行うため、PTA 活動に関する基本的内容について研修会、研究集会等を実施しています。

(1) PTA 研修講座

各学校における PTA 活動の推進のため、役員・委員としての基礎的な知識を習得するための研修を行っています。

(2) PTA 研究集会

各単位 PTA が、意見交換や情報交換を行い、PTA 活動の効果的な推進を図るために開催しています。

(3) PTA 啓発研修大会

生涯学習の視点に立った研修活動を推進し、会員の資質向上を図るために全市的な講演会等を開催しています。

(4) 特別支援教育啓発研修会

特別支援教育への理解を深め、特別支援学校 PTA と小・中学校 PTA との相互理解・交流を図るための研修を行っています。

(5) PTA 指導資料の刊行

PTA 活動の活性化を図るため、PTA 活動の正しい理解と人権尊重の視点に立った活動を目指して、指導資料「PTA 活動って何？」を刊行し、単位 PTA の役員・委員等に配布しています。

(6) 単位 PTA 人権教育研修

PTA 会員が人権についての理解を深め、学校での人権学習を積極的に受けとめ、人権を尊重し、人の多様性を認め合う地域づくりを目指すために実施しています。

10　社会教育関係職員研修（令和７年度実施状況）

(1) 一般研修

教育委員会や区役所の社会教育関係職員を対象に、行政の推進や社会教育事業の具体的な企画・運営などについて認識を深める研修を実施しています。（１回　受講者数 20 人）

(2) 基礎・応用研修

公民館職員等を対象に、社会教育に関する基礎・応用研修を実施しています。（５回　受講者数 216 人）

(3) 人権教育研修

公民館及び社会教育関係団体等における人権教育研修が効果的に実施されるよう、助言・指導にあたる主任社会教育主事等関係職員の人権についての理解を深める研修を実施しています。（４回　受講者数 109 人）

(4) 社会教育主事講習

社会教育主事の資格取得のための講習に職員を派遣しています。（１回　受講者数４人）

11　総合図書館



○所在地	早良区百道浜三丁目７番１号
○建物構造	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨鉄筋コンクリート、鉄骨造）地上５階
○敷地面積	19,818㎡
○延床面積	24,120㎡
○設置年月日	平成８年４月１日
○開館日	平成８年６月29日
○主要施設	こども図書館、ポピュラー部門、新聞・雑誌コーナー、主題別部門、国際資料、九州国連寄託図書館、郷土・特別資料室、文書資料室、福岡文学スペース、団体貸出書庫、書庫、資料整理室、文書資料収蔵庫、映像ホール、ミニシアター、ビデオライブラリー、フイルム収蔵庫、グループ研究室、学習室、点字図書館、学校図書館支援センター

総合図書館は、福岡市の生涯学習推進の中枢施設として、図書資料部門、文書資料部門及び映像資料部門の３部門で構成し、映像ホールやミニシアターを併設、複合機能を備えた総合図書館であり、収蔵能力200万冊の規模を誇る九州では最大級の図書館です。令和６年度末時点で、約130万冊の図書資料をそろえ、市民が明るく落ち着いた雰囲気で読書や学習ができるよう、開架部分に約63万冊の図書資料を配架し、多彩な閲覧席を設け、快適な読書環境を提供しています。

(1) 図書資料部門の活動

近年の日常生活圏の広がりに伴い､福岡都市圏17市町の36図書館等で広域利用を行っています。

また、福岡市広州市友好都市締結40周年を記念し、令和元年に締結した「福岡市総合図書館と広州図書館の協力と交流に関する覚書」に基づき、広州図書館と図書の交換を行っています。平成24年４月より西鉄薬院駅ビル１階「ときめきショップ」・入部出張所に図書返却拠点・ポストを設置、平成24年10月より県立図書館との相互返却を開始、平成26年４月より木の葉モール橋本に図書返却ポストを設置、平成27年４月より福岡市市民福祉プラザとの相互返却を開始、同年７月より同プラザに図書返却ポストを設置、平成28年４月より国立病院機構九州がんセンターに図書返却ポストを設置、平成29年10月１日より、福岡市科学館において予約本の貸出や返却サービスを開始、令和２年８月よりアイランドシティセンターマークスゲートに図書返却ポストを設置、令和５年８月より地下鉄西新駅に図書返却ポストを設置、令和７年８月よりミーナ天神に図書返却ポストを設置しています。

また、令和３年３月３日より、福岡市電子図書館を開館し、電子書籍の貸出を開始、令和５年３月29日より、データ連携基盤「ふくおかサポート」のサービスとして「デジタル貸出カード」を開始し、ＤＸ化を進めています。

①　資料の収集状況

教養、文学、生活、技術、趣味、娯楽、調査研究、レクリエーション等に関する一般図書や絵本、童話、紙芝居等の児童図書、児童研究資料及び各種の雑誌、新聞をそろえて、貸出、閲覧、読書相談等を行っています。また、調査研究のための図書館として、参考図書、郷土資料、国際資料の充実を図り、相談カウンターを設け、他図書館への照会を含むレファレンス業務を実施しています。

ア　図書

（総合図書館）　（令和８年３月31日現在）

		蔵書冊数
一般用	一般図書	713,571冊
	参考図書	71,422
	国際資料	81,407
	郷土資料	107,328
	小計	973,728
こども用	児童研究資料	31,692
	児童図書	107,511
	小計	139,203
団体貸出用	一般図書	54,193
	児童図書	123,682
	小計	177,875
合計		1,290,806

（令和８年３月31日現在）

館名	一般図書	児童図書	計
総合図書館	1,059,613冊	231,193冊	1,290,806冊
各分館計	520,999	231,391	752,390
合計	1,580,612	462,584	2,043,196

イ　新聞雑誌等

（総合図書館）　（令和８年４月１日現在）

種類	日本	外国	計
雑誌	404種	37種	441種
新聞	34	9	43
法令集追録	6	－	6
国会議事録他	2	－	2
その他寄贈雑誌	315	38	353
その他寄贈新聞	11	－	11

（分館）　（令和８年４月１日現在）

種類	分館平均
雑　　誌	63種
新　　聞	11

ウ　その他の資料（総合図書館）

（令和８年３月 31 日現在）

オンラインデータベース	７タイトル

②　資料の利用状況

各分館（11 か所）や男女共同参画推進センター(アミカス)、福岡市科学館の各図書室とコンピュータ・ネットワークを結び、市民がどの施設からも他の図書館資料の貸出返却を受けることができるように、連絡車を毎日運行し、迅速な資料提供を行っています。

ア　個人登録者数　（令和７年度）

館名	一般	児童・生徒	計
総合図書館	122,020 人	23,092 人	145,112 人
各分館計	215,496	41,258	256,754
デジタル	2,788	177	2,965
アミカス	7,246	716	7,962
合　　計	347,550	65,243	412,793

※デジタルとは、ふくおかサポートを利用した新規のデジタル貸出カードの登録をいう。

イ　個人貸出冊数

平成 19 年４月から、自動貸出機を総合図書館に２台、各分館に１台ずつ設置し、令和元年７月には総合図書館に１台増設しています。

平成 22 年４月から、アミカスと図書館情報システムを共有化し、各々の資料を窓口貸出・返却等できるようにしています。

平成 22 年８月以降、返却ポスト及び返却拠点を総合図書館や分館以外の場所にも設置しています。平成 24 年４月から有料宅配サービスを開始しています。

平成 25 年４月から自動返却機を総合図書館に２台、各分館に１台ずつ設置しています。

（令和７年度）

館名	一般	児童	計
総合図書館	609,405 冊	302,110 冊	911,515 冊
各分館計	1,512,487	912,214	2,424,701
アミカス・科学館	137,633	38,170	175,803
合　　計	2,259,525	1,252,494	3,512,019

ウ　福岡市電子図書館

令和３年３月に福岡市電子図書館を開館しています。

電子図書館では、インターネットを通じて、パソコンやタブレット、スマートフォン等から電子書籍を無料で読むことができます。

利用対象者は、福岡市内在住、または福岡市内に通勤・通学している人で、有効な総合図書館貸出カードを持っている人です。

○貸出人数　18,247 人（令和７年度）
○貸出点数　27,306 点（令和７年度）
○コンテンツ数　13,252 点（令和７年度）

エ　予約（リクエスト）サービス

資料が貸出中等で利用できない場合、予約（リクエスト）により、所蔵館（総合図書館、各分館）から迅速な資料提供を行っています。また、未所蔵の資料については、相互貸借により他の図書館から借り受けるという方法でも対応しています。

平成 22 年４月からインターネットによる予約受付数を５冊から 10 冊に増やしています。

（令和７年度）

予　約　方　法	冊数
インターネット	875,980
館内検索機（ＯＰＡＣ）	49,830
リクエストカード・電話	89,684
合　　計	1,015,494

オ　相談事務（総合図書館）　（令和７年度）

部　　門	レファレンス	利用案内	計
主題別部門	23,189 件	12,832 件	36,021 件
ポピュラー部門	9,569	20,585	30,154
こども図書館	17,230	3,635	20,865
合　　計	49,988	37,052	87,040

カ　複写サービス（総合図書館、分館）（令和７年度）
121,650 枚

③　団体貸出

地域における読書活動を推進するため、地域文庫をはじめとする地域団体、放課後児童クラブや学校・ＰＴＡ等の登録団体に対し図書の団体貸出を行っています。

○運行日数　延べ 242 日（令和７年度）
○登録団体　505 団体　（令和８年３月 31 日現在）
○会員数　116,778 人　（令和８年３月 31 日現在）
○利用状況　（令和７年度）

区　分	児　　童	一　　般	計
配本冊数	128,923	28,184	157,107
利用冊数	154,470	33,812	188,282

④　学校図書館支援センター

学校図書館の効果的な活用と運用を支援するため、総合図書館内に学校図書館支援センターを開設し、平成 27 年４月より本格運用を開始しました。学校図書館関係者を対象として、「情報」「ひと」「もの」の３つの観点から支援を行っています。

⑤　読書行事その他

（総合図書館）　　（令和７年度）

行　事　名	期間	回数	内　　容	参加人数
読書活動ボランティア講座	６月～２月	15	初心者を対象に、絵本の読み聞かせコース、ストーリーテリングコース、スキルアップコース	348
おはなし会	５月～３月	121	幼児から小学生を対象に、絵本の読み聞かせ、おはなし、手遊び、紙芝居等	2,425
赤ちゃん向けおはなし会	５月～３月	30	０～２歳児と保護者を対象に、わらべうた、絵本の読み聞かせ等	393
絵本月間	12月	－	さまざまな「おはなし会」、絵本づくり、絵本展示等	438
小学生読書リーダー養成講座	７月～12月	－	小学５～６年生が対象の図書館講習 ※動画等資料により各小学校で実施	634
こども図書館講座	7/11公開	－	幼児～６年生を対象に、自由研究等にも役立つ図書館を利用した調べ学習に関する動画を配信	－
大人のためのおはなし会	8月～2月	4	中学生以上を対象に気軽におはなしを耳で聞いて楽しむ機会を設け、人の生の声による語りで、日本や外国の昔話、創作など様々な物語に親しんでもらい、出典本の紹介と併せて読書への関心を高める。	119
第7回高等学校ビブリオバトル福岡県大会	10/26	1	県内の高校生が、自分が読んで面白かった本を持ち寄り、その面白さをプレゼンし、最も多くの共感を得た書籍を「チャンプ本」とする、知的書評合戦	16校
中高生対象イベント「国連ハビタット＆大学生とグローバルとSDGsについて考える～Your Action for Your Future～」	12/14	1	大学生主導によるワークショップ、国連ハビタット福岡の活動紹介、大学生との交流会を実施。国連ハビタット福岡及び日本国際連合協会福岡県本部との共催事業	中高生30 大学生16
起業・経営相談会	4/13～3/22	69	中小企業診断士による起業・経営相談会	27

（分館）　　（令和７年度）

分館名	行　事　名	回数	参加人員
東図書館	・ひまわりおはなし会	50	423
	・たんぽぽおはなし会	46	632
	・こいのぼり壁飾り作りワークショップ	1	18
	・七色の光のランタン作りワークショップ	1	20
	・光のタペストリー作りワークショップ	1	19
	・クリスマスの壁飾り作りワークショップ	1	19
	・お正月飾り作りワークショップ	1	20
	・なみき読書部	5	21
	・夜の読書会	1	7
	・ツキイチフラワーレッスン	12	167
	・ビブリオバトル	2	68
	・ブックリサイクル	2	－
	・サンジョルディの日	1	200
	・公共図書館はみんなの図書館	11	80
	・幼年文学を考える講座	10	130
	・病気についての情報講座	1	46
	・ディンプルアートを楽しむ	6	108
	・絵本に出てくるお菓子教室	1	17
	・朗読とギターで奏でる物語	1	270
	・韓国語講座	2	25
	・尹東柱（ユン・ドンジュ）の詩を読む	1	18
	・おはなしあれこれ	1	29
	・銀のすずおはなし会	1	27
	・新聞バッグ作りワークショップ	1	7
	・百人一首	1	22
	・夏のわくわくおはなし会	1	53
	・こわいおはなし会	1	18
	・クリスマスおはなし会	1	66
	・五感に触れる植物ワークショップ	1	15
	・わらべうたあそび	1	16
	・ユースフェスタひがし 2025　バラのプレゼントを作ろう	1	13
	・生き活き講座「食べて元気にフレ	1	46

	イル予防」		
	・起業セミナー	4	64
	・起業経営相談会	22	22
	・音読の会	12	118
	・福岡市緑のコーディネーター講座 ミモザのリース作り	1	15
	・歴史講座	1	7
	・ぬいぐるみおとまり会	1	11
	・『百年の孤独』を読む輪読会	10	68
	・ボードゲームで遊ぼう	2	69
	・マサの図書館出張読書会	2	31
	・本の福袋	1	66
	・『へいわってどんなこと？』パネル展	1	―
	・市民ギャラリー	12	―
	・断捨離講座	1	20
	・生米でパンを作る方法を学ぶ	2	29
	・ライフプラン講座	3	15
	・サマーキャンドル WS	1	20
	・岩手の言葉できく宮沢賢治とむかしばなし	1	47
	・水キムチづくりワークショップ	1	6
	・五感で楽しむ中国茶の文化と歴史	1	13
	・甘酒講座	1	8
	・大人のための台湾華語	2	24
	・アートメッセージ（絵手紙）	1	10
	・クリエイトラボ	1	25
	・グリーティングカード	1	10
	・ガクリバ	13	115
	・動物愛護フェスティバルコラボ展示	1	―
和　白図書館	・わじろとしょかんおはなし会	43	329
	・クリスマスおはなし会	1	17
	・あかちゃんおはなし会	12	178
	・工作教室	4	30
	・図書館ガチャで本とであおう！	1	122
	・職場体験	1	4
	・おうちで読み聞かせ講座	1	4
	・わらべうた講座	1	9
	・博物館おでかけワークショップ 封泥	1	3
	・科学館がやってくる！空気の力	1	16
	・図書館見学	4	129
	・大人の夜のおはなし会	1	15
	・出前講座　知って防ごう！消費者トラブル	1	12
	・出前講座　鴻臚館と福岡城	1	14
	・法務局連携展示「相続と遺言」	1	―
	・福祉局連携展示「認知症月間・及び認知症の日」	1	―
	・発達障がい者支援センター連携展示「世界自閉症啓発デー」	1	―
	・音読講座	1	9
	・コミセンわじろ映画館連携展示	2	―

博　多図書館	・どようおはなし会	30	262
	・あかちゃんおはなし会	12	155
	・なつのおはなし会	1	24
	・ふゆのおはなし会	1	14
	・スペシャル手芸教室	1	18
	・手づくり教室	9	98
	・夏のスペシャル手づくり教室	1	12
	・中高生 POP コラボ展示	1	44
	・健康講座（ガン講座）	1	24
	・保護者向け読み聞かせ講座「楽しい絵本の読み聞かせ」	2	42
	・職場体験	1	4
	・図書館見学	3	173
	・図書館新聞「らぶらり」配布	4	―
	・こども新聞配布	4	―
	・博多図書館ブック市	1	135
	・大人のための朗読会	4	30
	・図書館マンスぬりえ	1	100
	・布の絵本展示（新作紹介・ボランティア活動パネル紹介）	1	―
	・マナーアップ展示	1	―
	・「認知症」コラボ展示	1	―
	・「フラワーショウ」コラボ展示	1	―
博多南図書館	・どようおはなし会	48	431
	・ふゆのおはなし会	1	70
	・赤ちゃんおはなし会	12	152
	・YA 春のおすすめ『新しいことを始めよう』	1	―
	・YA 夏の 100 冊	1	―
	・「図書館を使った調べる学習コンクール」第 28 回入賞作品展示	1	―
	・認知症関連本展示	1	―
	・「地域の皆さまおすすめの本」パネル展示	1	―
	・「福岡市人権週間関連本」展示	1	―
	・「つなげてみよう！えほん de しりとり」	1	―
	・法務局連携展示「相続と贈与」	1	―
	・「昭和 100 年記念」展示	1	―
	・「こども図書館司書が教えるおうちで読み聞かせ」	1	10
	・図書館見学	2	232
中　央図書館	・土ようおはなし会	30	221
	・夏のおはなし会	1	14
	・赤ちゃんおはなし会	4	45
	・絵本月間「かがく絵本のおはなし会」	2	21
	・大人のための読書会「ヨルドク」	12	60
	・大人のための読書会「ヨルドク＋」	11	73
	・こども未来局連携展示「自閉症：発達障害啓発週間」	1	―
	・中央市民センターロビー展示「図書館の匠」	1	―
	・保護者向け絵本読み聞かせ実践講座	1	16
	・大人のための読書会「ヨルドク 100 回記念」展示	1	―
	・追悼展示「岩崎京子氏」	1	―

南図書館	・土ようおはなし会	49	651
	・赤ちゃんおはなし会	12	323
	・子どもプラザ赤ちゃんおはなし会	6	281
	・子どものつどい	1	162
	・クリスマスのつどい	1	178
	・きいてよおはなし	2	41
	・みんなで”脳トレ”音読会	3	56
	・工作教室「ハロウィーンかざりを作ろう」	1	19
	・はじめての読み聞かせ講座	1	33
	・出張おはなし会	1	20
	・夏の夜のこわ～いおはなし会	1	31
	・文化の夏祭り	1	196
	・施設見学	5	244
	・職場体験	1	4
城南図書館	・どようおはなし会	49	579
	・赤ちゃんおはなし会	11	231
	・秋のおはなし会	1	68
	・大きい子おはなし会	2	35
	・新聞ばっぐワークショップ	1	8
	・絵本月間読み聞かせ講座（赤ちゃん向け）	1	19
	・絵本月間幼児への読み聞かせ講座	1	9
	・絵本の読み聞かせ体験	3	3
	・絵本月間「司書が選ぶ 100 冊の絵本」福袋	1	60
	・「世界自閉症啓発デー」PR 展示	1	－
	・福祉局連携展示「認知症月間・認知症の日」	1	－
	・法務局連携展示「相続と遺言」	1	－
	・福岡市「花の祭典」連携展示	1	－
早良図書館	・どようおはなし会	48	344
	・だっこしておはなしかい	10	128
	・どようおはなし会スペシャル	1	21
	・だっこしておはなしかいスペシャル	1	40
	・え！？どようびに？だっこしておはなしかい	1	4
	・本の福袋	1	127
	・おうち展（おうちじかんに作った作品展）	1	15
	・ブックリサイクル	1	272
	・絵本クイズ	1	29
	・こわいおはなし会	1	24
	・がいこくごおはなし会	1	4
	・草花のおはなし会&おりがみ教室	1	11
	・うさ子ちゃん分類ぬりえ配布	1	150
	・よしながこうたく　給食番長ぬりえ配布	1	120
	・調べる学習コンクール優秀作品展示	1	－
	・がんに関する情報講座「肝膵胆管がんについて」	1	21
	・赤ちゃんとおうちの人のための絵本講座	1	35
	・こども司書養成講座「修理・ブックフィルムかけ」	1	5
	・こども司書養成講座「百科事典を使ってみよう」	1	5
	・こども司書養成講座「おはなし会にチャレンジ」	1	2
	・こども司書養成講座「ひとたな図書館」	1	6
	・おすすめの本の木	1	50
	・図書館ビンゴ	1	100
	・しまんと新聞ばっぐワークショップ	1	11
	・図書館見学	1	182
	・早良市民センター連携企画「日本人と神社」図書展示	1	－
	・早良市民センター連携企画「アンデルセン」図書展示	1	－
	・戦後80年企画展示「沖縄戦」	1	－
	・福岡アジア美術館関連展示「おばけ」	1	－
	・博多座歌舞伎関連展示「あらしのよるに」	1	－
	・FUKUOKA FLOWER SHOW　しおり配布	1	200
	・スタンプラリー「あの名物棚を巡ろう！名作と出会おう！」	1	185
	・夜の図書館で好きな本を５分で熱く語る会	10	28
	・さわらとしょかんラジオ体操部	10	40
	・出張ボードゲーム会	2	27
	・大人のためのおはなし会「世界の民話」	1	30
	・大人のためのおはなし会「小泉八雲の怪談」	1	24
	・紙ヒコーキ教室	1	30
	・早良図書館通信配布	4	200
	・「小学生のためのうさ子ちゃんブックリスト」配布	1	25
早良南図書館	・すくすくおはなし会	12	259
	・わくわくおはなし会	12	179
	・出張おはなし会	12	235
	・大人のためのおはなし会	4	32
	・「つきよみ」大人のための読書会	13	84
	・出張ボードゲーム	5	125
	・図書館でボードゲーム	4	143
	・図書館見学	4	285
	・「こどもの読書週間」おはなし会	2	5
	・「こどもの読書週間」工作会	2	18
	・ブッカーかけ体験会	1	5
	・上映会（子ども向け）	1	42
	・上映会（大人向け）	1	235
	・リサイクルブック市	1	250
	・えほんのとびら～福岡市子どもと本の日～	3	37
	・絵本から広がる子育て講座 part Ⅱ	1	21
	・ブックドクター	1	7
	・夏の涼やかおはなし会	1	12

	・関西弁えほんの会	1	15
	・夏休みこわいおはなし会	1	24
	・夏休み工作会	2	23
	・夏休み絵本ワークショップステンドグラス写真立て	1	20
	・選書選挙	1	314
	・夏休み事業　小学生おたすけ隊	1	143
	・さわらみなみとしょかんおしごと体験	2	10
	・飛行機トークショー	1	32
	・夏休み企画　早良南図書館検定	1	88
	・大人の工作会	1	16
	・図書館ビンゴ	1	150
	・あまりもん de なにつくる？「ちぎり絵でカードを作ろう」	1	9
	・平和のおはなし会	1	12
	・歴史講座	3	183
	・とびだす絵本おはなし会	1	29
	・4 周年おめでとうおはなし会	1	7
	・楽しく学ぼう　おうちのキケン	1	16
	・トレジャーハンターライブラリ	1	215
	・絵本「こんとあき」といっしょにあそぼう	1	ー
	・ぬいぐるみおとまり会	1	15
	・人生の最期を考える	1	7
	・４周年記念イベント　芥川賞作家鈴木結生氏講演会	1	88
	・ヨシタケシンスケ　パネル展	1	ー
	・読み聞かせ講座講演会	1	22
	・4 周年記念事業 プレゼント配布	1	605
	・4 周年記念おはなし会	1	7
	・おしごと体験～展示をつくってみよう～	1	5
	・本の処方箋～あなたにすすめる読み薬～	1	73
	・かなたけの里公園収穫祭(おはなし会・工作会)	1	82
	・サンタクロースをさがそう！	1	100
	・競技かるた体験会	2	10
	・春休み　おしごと体験	2	12
	・俳句講座　入門編	1	16
	・マネー講座（子ども・大人）	2	32
	・冬休みこわいおはなし会	1	9
	・図書館みくじ	1	70
	・新春おはなし会	1	8
	・大人向け司書体験	1	5
	・節分おはなし会	1	23
	・春の工作会	1	12
	・英語でおはなし会	4	77
	・韓国語にふれてみよう	1	28
	・しかけ絵本展示	1	ー
	・飛行機写真展	1	ー
	・出張授業（小学校）	2	153
	・オリジナル読書手帖（子ども・大人）	通年	803
	・パスファインダー配布	1	ー
	・図書館だより「シカタト」配布	6	各320

西図書館	・どようおはなし会	48	611
	・赤ちゃんおはなし会	24	364
	・小学生のためのおはなし会	12	47
	・どようおはなし会（スペシャル）	2	43
	・赤ちゃんおはなし会(スペシャル)	4	59
	・小学生のためのおはなし会(スペシャル)	2	22
	・わらべうた講座	1	21
	・図書館見学	3	336
	・職場体験	1	4
	・「里親」関連展示（西区保健福祉センター共催）	1	ー
	・「相続と遺言」関連展示法務局共催	1	ー
	・「認知症」関連展示（西区保健福祉センター共催）	1	ー
	・図書館マンス「作品展」	1	ー
西部図書館	・どようおはなし会	33	645
	・赤ちゃんおはなし会（おおきくなあれ ～0.1.2 おはなし会～）	10	291
	・夏のおはなし会	1	17
	・秋のおはなし会	1	26
	・西部図書館 1 日おはなし会（ねんね組・あんよ組・どよう・冬）	4	83
	・図書館見学	12	820
	・文化講座（福岡アジア美術館のコレクションとその活動）	1	7
	・考古学教室(「古代のアクセサリー勾玉をつくろう」)	1	30
	・なつやすみ講座（「遊びにおいでよ動物園」）	1	21
	・健康講座（「がんと栄養～栄養を上手く摂るための工夫～」）	1	29
	・いつまでも元気な足腰でいるための運動講座	2	51
	・みんなで読もう！頭いきいき音読タイム	1	13
	・親子で楽しむ赤ちゃん絵本	1	21
	・「認知症を考える」（西区保健所連携展示）	1	ー
	・「９月は認知症月間」（福祉局連携展示）	1	ー
	・「世界自閉症啓発デー」連携 PR 展示	1	ー

(2) 文書資料部門の活動

歴史的・文化的価値を有する福岡市の公文書及び行政資料並びに郷土福岡の歴史に関する古文書資料及び郷土資料を収集・保存し、調査研究を進め、閲覧に供する「福岡市の資料保存センター」としての役割を果たします。

また、福岡ゆかりの文学資料を収集・保存、閲覧に供し、文学を通して福岡の文化の継承と振興を図ります。

①　資料の収集状況　　（令和８年３月 31 日現在）

資料内容	公文書	行政資料	古文書資料	郷土資料	文学資料
冊・点数	23,233	55,515	89,946	107,328	24,970

② 資料の利用状況 （令和７年度）

利用内容	ﾚﾌｧﾚﾝｽ	利用案内	閲　覧	複　写
件　数	2,244	1,254	110	100

※閲覧・複写件数はマイクロフィルム利用等申請件数

③ 普及活動 （令和７年度）

行　事　名	期間	内　　容	参加人数
歴史的公文書展示「花と緑と笑顔あふれるまち・福岡～福岡市の緑化のあゆみ～」展	2/4～3/29	歴史的公文書等をとおして、みどりの基本計画や福岡市植物園の成り立ちを紹介	533
郷土・特別資料室月例展示	通年	郷土・特別資料室内展示コーナーにおいてテーマ別に郷土資料の関連図書等を展示・紹介	―
古文書学講座	9/6 9/13 9/27 10/4	初心者のための古文書講座	156
常設展示「海の歌う日―伊藤野枝の子どもたち」	7/18～10/26	福岡ゆかりの文筆家・女性解放運動家の伊藤野枝(のえ)の子ども達についての展示	12,263
常設展示「俳句で楽しむ春夏秋冬―福岡・博多の俳人たち」	R8.2/20～4/26	近代の福岡の俳壇で活躍した福岡・博多の俳人たち8人の生涯と活動、また主要な句集や俳誌を紹介	1,904
ミュージアムウィーク対象イベント「ミステリ作家たちの横顔展in福岡」	5/1～6/1 6/4～6/29	佐賀在住のミステリ作家・竹本健治氏の声かけで始まった人気ミステリ作家たちの「落描き」を集めた企画展	―
福岡教育大学・福岡市文学館共催講座「読書の未来―上野英信自筆原稿デジタル資料の可能性	6/28	国文学研究資料館と共同で取り組んだ、総合図書館が収蔵している上野英信自筆原稿資料のデジタル化を受けて、デジタル資料がもたらす読書の未来の可能性についての講座を開催	34
常設展関連事業「真実一路に生きた伊藤野枝と、その子どもたち。」	9/21	明治・大正期における女性の社会的な立場、「真実一路」に生きた伊藤野枝の生き様などについて講演	135

(3) 映像資料部門の活動

映像文化の普及・振興を図るため、フィルム・アーカイブとして、アジア映画を中心とした国内外の優れた映像資料及び映像関係資料を収集し、貴重な文化財として長期保存するとともに、映像ホール・シネラで公開・上映します。

① 資料の収集状況（令和８年３月 31 現在）

ア　映画フィルム　3,466 本(日本映画 1,904 本、アジア映画 938 本、その他の外国映画 624 本)

イ　ビデオ、ＤＶＤ　5,355 点

ウ　ＣＤ、カセット　15,154 点

② 利用状況 （令和７年度）

種　　別	数
映像ホール・シネラ（入館者）	16,440人
ミニシアター（入館者）	4,567人
ビデオ等貸出数	2,434点
ＣＤ貸出数	19,664点

③ 主な行事 （令和７年度）

行事名	期間	回数	内　　容	入場者
通常上映	水～日曜日	262	収蔵作品の上映	10,431
特別上映	4/19	1	甫木元空と青山真治	19
	5/3～5/24	18	七里圭「ピアニストを待ちながら」／伊藤高志「遠い声」＋収蔵作品集	288
	6/5～6/28	22	ジョージア映画祭	615
	7/3～7/6	8	ヴィジョン・オブ・マフマルバフ	152
	8/6～8/10	10	夏休みの映画館	710
	8/20～8/30	18	ＥＵフィルムデーズ	558

特別上映	9/23～9/27	9	青山真治と音楽	230
	10/2～10/19	23	フィリピンTBAスタジオの軌跡	517
	11/3	2	第32回福岡映像コンテスト	134
	11/12～11/15	26	日韓映画館の旅	487
	11/30	1	福岡ユネスコ・アジア文化講演会	15
	12/6～12/14	8	ＰＦＦアワード2025福岡	147
	12/21～12/27	6	ウカマウ集団60年の全軌跡：21世紀編	149
	1/22～1/31	17	小田香：地下世界と	386
	2/5～2/22	19	アンソロジー・フィルムアーカイブス	349
	2/7～2/21	3	キムズビデオ	64
講演会等	5/3	1	「ピアニストを待ちながら」トークイベント	58
	6/7	1	「ジョージア映画祭」トークイベント	81
	7/6	1	「ヴィジョン・オブ・マフマルバフ」トークイベント	46
	9/23	1	「青山真治と音楽」トークイベント	65
	10/5	1	「フィリピンＴＢＡスタジオの軌跡」トークイベント	57
	11/16 11/22	3	「日韓映画館の旅」トークイベント・作品解説	115
	12/6～12/14	7	「ＰＦＦアワード2025福岡」トークイベント・作品解説	181
	12/21	1	「ウカマウ集団60年の全軌跡」トークイベント	47
	1/24	2	「小田香：地下世界と」トークイベント	70
	2/5～2/7	4	「アンソロジー・フィルムアーカイブス」作品解説	88

④　映像資料の活用状況（令和７年度）

公民館上映

公民館名	上映月日	観客数（人）
長尾公民館	4/9	16
日佐公民館	4/22	39
春吉公民館	5/15	21
東箱崎公民館	5/27	20
原西公民館	5/30	17
香住丘公民館	6/5	20
多々良公民館	6/12	19
下山門公民館	6/17	24
奈多公民館	6/27	21
玄界公民館	7/3	11
片江公民館	7/9	39
飯原公民館	7/18	33
高宮公民館	7/24	13
愛宕公民館	7/29	46
春住公民館	8/1	24
早良公民館	8/5	35
壱岐東公民館	9/5	25
柏原公民館	9/19	6
南片江公民館	9/24	42
堤公民館	9/26	22
姪浜公民館	10/1	24
三宅公民館	10/7	28
東花畑公民館	10/15	40
花畑公民館	10/23	29
今宿公民館	11/6	22
飯原公民館	11/14	36
小笹公民館	11/19	19
塩原公民館	11/28	14
横手公民館	12/4	35
城原公民館	1/7	27
城南公民館	1/28	16
野多目公民館	2/6	21
田島公民館	2/17	17

計 32 館（33 回）　総観客数 821 人（一館平均 25 人）

文　　化

（文化財、文化関係施設）

文化

１　概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　55
２　文化財とその保護・・・・・・・・・・・・・・・・・・　55
３　埋蔵文化財の保護・・・・・・・・・・・・・・・・・・　56
４　鴻臚館跡の整備と調査・・・・・・・・・・・・・・・・　57
５　福岡城跡の整備と修復工事・・・・・・・・・・・・・・　57
６　美術館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　58
７　福岡アジア美術館・・・・・・・・・・・・・・・・・・　60
８　博物館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　62
９　埋蔵文化財センター　・・・・・・・・・・・・・・・　64

文　　化

（文化財、文化関係施設）

1　概要

福岡市は、玄界灘に面し、対馬海峡を挟んで大陸と接し、古くから対外交流の門戸、拠点として発展してきました。このため市内に残る多数の遺跡の中には、日本の稲作農耕の始まりを示す板付遺跡、大宰府の前身とみられる那津官家跡、古代の迎賓館であった鴻臚館跡、蒙古襲来を防いだ元寇防塁など、ほかには見られない遺跡があります。

また古代以来、外交・貿易により発展を遂げてきた博多とその周辺には、奈良時代から江戸時代までの都市の遺構が埋もれ、聖福寺、承天寺、櫛田神社、筥崎宮など古代・中世初期にさかのぼる寺社が多くあります。ユネスコ無形文化遺産に登録された博多祇園山笠も鎌倉時代に始まったと伝えられます。

室町時代後期に博多商人の町として栄えた博多は、江戸時代には福岡藩の城下町福岡と双子都市を形成しました。博多・福岡とその周囲の古くからの漁村・農村には、それぞれに特有の民俗が形成され、現在に至っています。

こうした歴史を背景に、市内には多数の文化財（建造物、美術工芸品、無形文化財、民俗文化財、記念物、埋蔵文化財など）が残され、国・県・市の文化財に指定されたものも多くあります。文化財は国民共有の財産として、将来に守り伝えられるべきものであり、その調査、保存、整備を積極的に進めるとともに、文化財保護思想の普及にも努めています。

文化事業としては、博物館が歴史資料、民俗資料、古美術資料、考古資料の収集保管と研究に基づき、展示や講座等の普及活動を進め、美術館は美術文化の振興を図るため、美術品の収集と研究、展示活動などを行い、福岡アジア美術館は、アジアの近現代美術作品の系統的な収集、展示やアジアの美術作家等との交流事業を行っています。

2　文化財とその保護

福岡市周辺は、地理的条件から古代日本における最先進地域として、また、文化の発祥地として位置付けられています。このため、豊富な文化財が残されており、これらの貴重な文化財の保存整備を図っています。さらに、計画的に文化財の保存・活用を進めるため、平成31年３月には、福岡市の文化財の総合的な保存活用の方向性を取りまとめた、『福岡市の文化財の保存活用に関する基本方針』を策定しました。また、同年４月に施行された改正文化財保護法では、市町村の文化財保存活用地域計画作成及び国による認定が位置付けられました。福岡市では令和２年度から計画の作成に着手し、令和４年７月に認定されました。

(1)　文化財保存整備・活用事業

① 金隈（かねのくま）遺跡（昭和47年国指定史跡）

福岡平野東側の丘陵にある弥生時代の共同墓地跡で、甕棺墓348基、土壙墓119基などが発見されました。棺内からはゴホウラ製貝輪や石剣などとともに残存状態の良い弥生人骨が多数出土しました。北部九州独自の墓制である甕棺墓の変遷、社会構成、また人種の問題など弥生時代研究に重要な意義を持っています。現在遺跡は整備され、ガイダンス施設「甕棺展示館」では125基の甕棺・土壙墓と人骨が、出土したままの状態で見学できます。

② 野方（のかた）遺跡（昭和50年国指定史跡）

早良平野西側の山麓にある弥生時代後期から古墳時代にかけての環濠集落と墓地跡。調査された地区だけで93 棟の竪穴住居跡が発見されており、当時の社会を考える上で極めて重要な遺跡の一つです。平成３年度に整備を終え、環濠を復元しています。またガイダンス施設「住居跡展示館」では、発掘調査時の状態のままで竪穴住居跡を展示しています。

③ 板付（いたづけ）遺跡（昭和51年国指定史跡）

福岡平野の中央に位置する弥生時代初頭の集落・墓地・水田跡。台地上の集落は二重の環濠に囲まれ、その周りの低地では水田が営まれていました。弥生文化形成における農耕村落の一典型を示す極めて貴重な遺跡といえます。平成７年度に整備を終え、環濠・竪穴住居・水田など当時のムラを完全な形で復元しています。ガイダンス施設「板付遺跡弥生館」では当時の生活が体感できる展示を行い、また土器作りなどの公開講座、田植えや稲刈りなどを通して「日本最古の米作りのムラ」の再現に努めています。

④ 吉武高木（よしたけたかぎ）遺跡（平成５年国指定史跡）

早良平野西側山麓に位置し、弥生時代中期初頭の特定集団墓や中期後半の大型建物の存在などから、弥生時代における「クニ」の成立と展開を知るうえで重要な遺跡として知られています。平成29年４月に国史跡吉武高木遺跡「やよいの風公園」として開園しました。開園後の公園では、「コスモスまつり」等のイベントを開催しています。

⑤ 福岡市赤煉瓦文化館（ふくおかしあかれんがぶんかかん）（昭和44年国指定重要文化財）

国指定重要文化財「旧日本生命保険株式会社九州支店」を保存整備し、貸会議室や文化財関連の展示を設けて、市民の文化交流の場として活用しています。令和元

年８月には施設のさらなる有効活用を図るためにエンジニアカフェなどを設置しました。

(2) 無形文化財・無形民俗文化財の公開事業

無形文化財や無形民俗文化財の公開事業に補助金の交付を行い助成しています。（令和７年度実績）

① 無形文化財

一朝軒伝法竹、玄清法流盲僧琵琶

② 無形民俗文化財

今津人形芝居、飯盛神社のかゆ占、はやま行事、今宿青木獅子舞、元岡獅子舞、元岡祇園ばやし、宇田川原豊年獅子舞、能古島白髭神社おくんち行事、飯盛神社流鏑馬行事、草場の盆綱引き、田隈の盆押し・盆綱引き、田島神楽、城の原の盆踊り、金隈の鳶の水、今津十一日まつり、今宿上町天満宮鬼すべ行事、唐原の祇園山笠行事、筥崎宮神幸行事、筥崎宮玉せせり行事

(3) 文化財資料調査

① 福岡市内寺社資料調査

市内所在の寺社収蔵文化財の所在把握と保存環境の改善、今後の保存活用を目的として、美術工芸品・典籍・古文書等を対象とする総合調査を実施しています。令和７年度は香椎宮及び志賀海神社の収蔵資料の調査を行い、『香椎宮資料』（福岡市文化財叢書第十集）を刊行しました。

(4) 市内の指定文化財

（令和８年４月１日現在）

区分		国指定		県指定		市指定		合計	
		件数	員数	件数	員数	件数	員数	件数	員数
有形文化財	建造物	(0) 9	9	11	11	16	16	36	36
	絵画	(0) 13	18	6	27	18	45	37	90
	彫刻	(0) 11	32	13	17	20	40	44	89
	工芸品	(3) 20	22	15	22	21	21	56	65
	書跡・典籍・古文書	(1) 13	813	6	47	32	1,453	51	2,313
	考古資料	(1) 10	2,792	16	37	57	1,226	83	4,055
	歴史資料	(0) 0	0	2	4,806	6	273	8	5,079
	小計	(5) 76	3,686	69	4,967	170	3,074	315	11,727
無形文化財		(0) 1	1	7	11	2	2	10	14
民俗文化財	有形	(0) 0	0	17	128	14	246	31	374
	無形	(0) 2	2	7	7	23	23	32	32
	小計	(0) 2	2	24	135	37	269	63	406
記念物	史跡	(0) 14	20	5	5	14	20	33	45
	名勝	(0) 0	0	0	0	2	2	2	2
	天然記念物	(0) 2	2	3	3	4	865	9	870
	小計	(0) 16	22	8	8	20	887	44	917
合計		(5) 95	3,711	108	5,121	229	4,232	432	13,064

() 内は国宝（国指定の内数）

(5) 市内の登録文化財

（令和８年４月１日現在）

区分		国登録	市登録	合計
有形文化財	建造物	66	21	87
	絵画	0	0	0
	彫刻	0	0	0
	工芸品	0	0	0
	書跡・典籍・古文書	0	0	0
	考古資料	0	0	0
	歴史資料	0	0	0
	小計	66	21	87
民俗文化財	有形	0	0	0
	無形	0	24	24
	小計	0	24	24
登録記念物	史跡	0	0	0
	名勝	1	0	1
	天然記念物	0	0	0
	小計	1	0	1
合計		67	45	112

3 埋蔵文化財の保護

福岡市は大陸に近く、古来、先進文化受容の窓口として、我が国の歴史上重要な位置を占めてきました。このような歴史的役割を背景に、市域内には約 1,000 か所の遺跡（埋蔵文化財包蔵地）が存在し、貴重な資料を提供しています。

これらの埋蔵文化財は国民共有の財産であり、将来的にわたって守り伝えていくことが文化財保護の理念であり、行政の責務です。福岡市では以下の事業を行っています。

(1) 各種事業に係る事前審査

公共事業、民間事業に伴う事前の届出・通知を受け付け、事業地内における埋蔵文化財の有無を文化財分布地図、現地踏査、試掘調査等によって確認しています。

令和７年度の事前審査件数は公共事業 178 件、民間事業 1,217 件、計 1,395 件と、前年度比で約５％増加しています。窓口、ＦＡＸ、メールによる包蔵地の照会件数は 3,907 件と、インターネット「福岡市 Web まっぷ」への包蔵地地図公開により、前年度比で約 45％減少しています。試掘件数は公共１件、民間 333 件、計 334 件と、前年度比で約 26％増加しています。

(2) 緊急発掘調査

土木工事などによってやむを得ず破壊される遺跡については、工事に先立って発掘調査を行い、記録保存の措置を講じています。

令和７年度には下記の 21 遺跡で 56 件の緊急発掘調査を行いました。

有田遺跡群(276～279 次)、飯倉Ｄ遺跡（４～６次)、

飯氏遺跡（14 次）、井尻Ｂ遺跡（62～64 次）、
井相田Ａ遺跡（５・６次）、今津Ｃ遺跡（３次）、
雑餉隈遺跡（24 次）、洲崎台場跡（１次）、
住吉神社遺跡（５次）、田村遺跡（35 次）、
那珂遺跡群（201～207 次）、野方平原遺跡（４次）、
博多遺跡群（265～279 次）、箱崎遺跡（133～135 次）、
原遺跡（40 次）、比恵遺跡群（163 次）、
福岡城下町遺跡（12～14 次）、南八幡遺跡（30 次）、
麦野Ａ遺跡（40～42 次）、姪浜遺跡（９次）、
吉塚遺跡（22・23 次）

上記の中で特筆すべきものとして、以下のものが挙げられます。

博多区の井相田Ａ遺跡６次調査では弥生時代中期から後期にかけて 27 基の甕棺墓が出土しました。中期中葉の甕棺墓群は同じ向きに列状に埋葬される「列埋葬墓地」で、北部九州の弥生時代中期の代表的な埋葬方法を採用しています。

(3) 資料整理

発掘調査を実施して得られた図面・写真などの各種記録類、出土遺物は整理・図化・編集などの作業を経て、発掘調査報告書として公刊されます。令和７年度は巻末の一覧の通り、報告書 28 冊、年報１冊を刊行しました。これらの報告書は関係各機関や図書館などに配布し、市民や研究者の閲覧に供しています。整理した記録・資料類は埋蔵文化財センターに収蔵保管し、調査研究や公開普及に活用しています。

(4) 周知と普及活動

調査成果を広く市民に知っていただくため、現地説明会やホームページによる告知などを行っています。

4　鴻臚館跡の整備と調査

(1) 整備

平成 31 年３月に、整備の具体的な内容やスケジュールを示す「国史跡鴻臚館跡整備基本計画」を策定しました。令和７年度は、鴻臚館東門等の復元にかかる工事に着手しました。

(2) 調査

平成 11～17 年度の第Ⅳ期調査により、東西方向の堀を隔てて南北に鴻臚館の施設が存在したことなどが判明し、平成 18～25 年度の第Ⅴ期調査では、平和台野球場跡地北側部分において、北館の北側の旧地形などを確認しました。令和元年度～４年度まで第Ⅵ期調査として、福岡高等裁判所跡地の調査を行いました。

(3) 公開事業

① 鴻臚館跡展示館

展示館では、平安時代の遺構と遺物を調査が終了したままの状態で見学でき、また当時の建物の大きさや様式を実感しながら理解できるように原寸大の建物模型を展示しています。館外は芝生広場として整備し、奈良時代から平安時代の鴻臚館の施設の移り変わりをわかりやすく平面的に表示しています。

② 展示館の入館者

令和７年度の入館者は、34,411 人となっています。

③ 鴻臚館広場

鴻臚館広場では「遺構表示」などの暫定的な整備を行っています。これによって鴻臚館跡の建物の大きさを実感してもらうとともに、市民の憩いの場や各種イベントの会場としての利用を促進し、鴻臚館跡への理解と愛着の醸成を図っていきます。

5　福岡城跡の整備と修復工事

(1) 整備

福岡城跡の整備については、平成 17 年度に今後の整備の理念と方向性を定めた「福岡城跡保存整備基本構想」を策定しました。

平成 24 年度から「国史跡福岡城跡整備基本計画」の策定作業に着手し、平成 26 年６月に策定しました。令和６年度に潮見櫓を復元し、公開しています。

(2) 調査

令和７年度は、歴史的景観の創出によりさらなる集客・魅力向上を図るため、鉄物櫓石垣の調査および解体修理等を実施しました。

また、福岡城のかつての状況を確認するため福岡城天守台の発掘調査等を実施しました。

６　美術館



○所在地	中央区大濠公園１番６号
○建物構造	鉄筋コンクリート造２階建
○延床面積	14,630 ㎡
○設置年月日	昭和 54 年 11 月３日 平成 31 年３月 21 日リニューアルオープン
○主要施設	コレクション展示室(近現代美術室 A･B･C、古美術企画展示室、松永記念館室、東光院仏教美術室)、特別展示室、ギャラリーA･B･C･D･E･F ほか

福岡市美術館は、福岡市の美術文化の振興を図るため、水と緑豊かな市民の憩いの場、大濠公園内に、昭和 54 年 11 月３日に開館し、今日まで多くの市民に親しまれています。

(1) 基本性格

① 文化生活を豊かにはぐくみ、市民に愛される美術館
② 美術センターとして内外の情報サービスを行う美術館
③ 歴史と伝統を生かし、新しい未来を育てる美術館

(2) 事業概要

① 美術作品その他の美術資料の収集展示
② コレクション展示、特別展示、講演会等の開催
③ 特別展示室、ギャラリー、ミュージアムホール等の貸与
④ 内外の美術情報資料の収集と提供
⑤ 美術に関する調査及び研究
⑥ 教育普及事業
スクールツアー、ファミリーDAY、夏休みこども美術館、つきなみ講座、その他講座・講演会、博物館実習、ボランティア活動

【美術資料収集方針】
○ 近代の西日本出身者や関係の深い作家の作品
○ 近現代美術の流れを展望できる国内外の優れた作品
○ 西日本に関係の深い近世以前の作品
○ 寄贈された一括コレクションに深いかかわりのある作品
○ アジア美術(東洋美術)の独自性を示す古代からの(近代以降を除く)優れた作品

(3) 施設内容

① コレクション展示室
○ 近現代美術室 A･B･C
20 世紀以降の国内外の近現代美術の流れを展望できるすぐれた作品を系統的に展示
ラファエル・コラン 「海辺にて」
サルヴァドール・ダリ「ポルト・リガトの聖母」
アンディ・ウォーホル 「エルヴィス」
マルク・シャガール 「空飛ぶアトラージュ」
ジョアン・ミロ 「ゴシック聖堂でオルガン演奏を聞いている踊り子」 ほか
○ 古美術企画展示室
古美術の小企画展や旧福岡藩主黒田家に代々伝承された絵画・工芸をはじめとした寄贈コレクションを中心に、日本・東洋の古美術作品を展示
○ 松永記念館室
小田原の(財)松永記念館から寄贈された故松永安左エ門氏のコレクションで重要文化財を含む茶道具、仏教美術を中心に展示
重要文化財 野々村仁清「色絵吉野山図茶壷」
重要文化財 尾形乾山「花籠図」 ほか
○ 東光院仏教美術室
東光院旧蔵の重要文化財「薬師如来立像」および「十二神将像」を中心に、同寺の仏教美術資料を常時展示
② 特別展示室
美術館主催の特別企画展のほか、巡回展などを開催
③ ギャラリーA･B･C･D･E･F
市民の創作活動の発表の場として個展やグループ展などを開催
④ ミュージアムホール
講演会や講座のほか、上映会や演劇、コンサートの会場として利用
⑤ アートスタジオ
ワークショップや講演会、ダンス、パフォーマンスなどの場として利用
⑥ レクチャールーム
小規模な講演会や講座、ワークショップに利用
⑦ その他
キッズスペース、カフェ、レストラン、ミュージアムショップ

(4) 入館者の状況

○展覧会

（令和７年度）

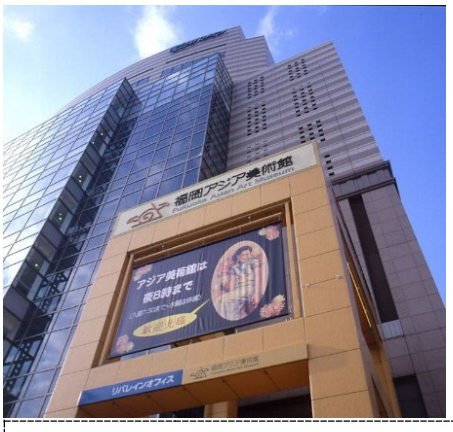
展覧会名			会期等	観覧者数/人
主催事業	コレクション展示		通年	265,067
	特別展示	珠玉の近代絵画「南国」を描く	令和７年10月11日 ～令和７年11月24日	11,146
		古代エジプト展	令和７年12月13日 ～令和８年３月８日	78,845
		第57回福岡市美術展	令和８年３月24日 ～令和８年３月29日	4,884
		計		94,875
その他の貸会場展覧会			152件	350,071
合計				710,013

○講座等

（令和７年度）

講座名		実施日数/日	参加者延人数/人
主催事業	ファミリーDAY	2	2,161
	つきなみ講座	12	583
	どこでも美術館	26	1,237
	夏休みこども美術2025「描いてみよう！音楽のせん いろ かたち」	1	22
	夏休みこども美術館2025「みてみて つくって 音楽会」	1	62
	バリアフリーギャラリーツアー	3	29
	やさしい日本語ツアー	1	19
	いきヨウヨウ講座「アートとヨガで心と体をすこやかに～ミュージアム・ヨガ」	1	19
合計		47	4,132

7　福岡アジア美術館



○所在地	福岡市博多区下川端町３番１号 リバレインセンタービル７・８階
○建物構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
○延床面積	9,101 ㎡
○開館年月日	平成 11 年３月６日
○主要施設	アジアギャラリー、企画ギャラリー、交流ギャラリー、交流スタジオ、あじびホール、アートカフェ、エントランス壁画、図書閲覧室等

アジア美術の独自の創造を目指し、アジア近現代美術を通じて人々が集い、互いに理解し、創造、発信する、アジア美術の国際的な交流の場として開館しました。

(1) 基本性格

世界的に類をみないアジア近現代美術作品のコレクションを生かした展示のみならず、日常的なアジアとの交流、調査研究活動を積極的に展開します。また、アジアの美術作家や研究者等と日本・福岡の美術作家、研究者、市民が互いに創り、学びあうことにより、新たな創造と相互理解を促す機会を提供します。

(2) 事業概要

① 美術交流

アジアの美術作家や研究者を招へいし、市民との共同創作、研究、ワークショップ、講座等を行う美術交流事業。

令和７年度は、３期７組の美術作家（モハメド・ファズレ・ラッビ・フォティック／バングラデシュ、ウィリー・サイウッド／ラオス、馬場さおり／福岡、進藤冬華／北海道、小田原ルーカス／ブラジル、アルピタ・アカンダ／インド、チェン・イェンチー／台湾）を招へいし、作品制作及びワークショップを行いました。

令和８年度は、３期９組の美術作家（ハン・ハン／ベトナム、アムシャド・スヌワール／ネパール、イアン・ティー／シンガポール、ジャン・マヨ／フィリピン、チョン・ユギョン／福岡、シエ・ヨウチョン／台湾、マハラニ・マンチャナガラ／インドネシア、ヌラフマット・ウィディヤセナ／インドネシアほか）を招へいします。

② 展示

ア　企画展示

独自の視点で企画した特別展を開催し、アジアの近現代美術を紹介します。

イ　コレクション展示

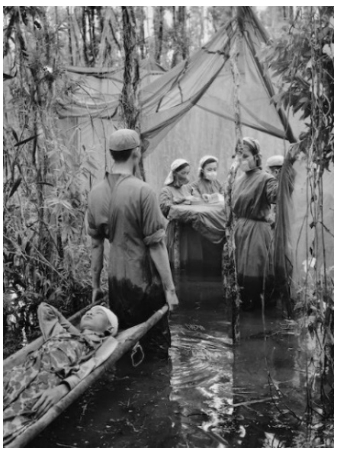
収蔵品を展示し、アジア近現代美術の流れを示すほか、ジャンル別やテーマ別にアジア美術を紹介します。

③ 収集

美術作品、その他美術資料の収集

方針：アジア美術の独自性を示す優れた作品を収集

対象範囲地域：パキスタン以東、モンゴル以南、インドネシア以北・以西



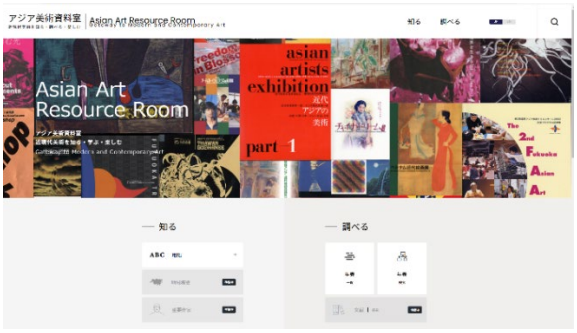
ヴォー・アン・カイン（ベトナム）
《軍移動診療所 1970 年 9 月》1970/2010 年

④ 教育普及

ア　講演会・シンポジウム等の開催

イ　美術教育プログラムの実施

ウ　美術をはじめとするアジアの文化に関する情報の収集と提供



アジアの近現代美術を学ぶウェブサイト
「アジア美術資料室」（日／英）

エ　令和６年度より、福岡市博物館、福岡市美術館と連携して「対話型アート鑑賞」事業を実施し、小学生を対象とした図工の鑑賞学習を行っています。

(3) 施設内容

① アジアギャラリー

アジア近現代美術の流れを系統的に展示し、また、ジャンルやテーマ別にアジア美術作品を紹介するコレクション展を開催します。

② 企画ギャラリー

アジア美術のほか、幅広い分野の特別企画展を主催・共催します。

③ 交流ギャラリー

アジアの美術作家が福岡滞在中に創作した美術作品の展示や、市民に創作活動の発表の機会を提供します。

④ 交流スタジオ

アジアの美術作家の滞在制作や市民向けワークショップを実施します。

⑤ あじびホール

美術交流事業や展覧会にあわせて、美術教育プログラム、講演会やシンポジウム等を開催します。また、ミニコンサートや小演劇、上映会など、文化・芸術活動を楽しむ機会を提供します。

⑥ アートカフェ

アジアの美術、文化、歴史などの書籍約 10,000 冊が置かれており、食事や休憩とともに自由に読書が楽しめます。

⑦ エントランス壁画

１階エントランスでは、中国の人気アーティストのブー・ホァによる約４ｍ×11ｍの壁画が来館者を迎えます。

⑧ その他

図書閲覧室、ミュージアムショップなどがあります。

(4) 特別企画展

① おいでよ！夏の美術館 vol.３　大どろぼうの家

会期　令和８年７月９日～令和８年８月 30 日

② アジア美術の歩き方 南アジア特別編 対立の先へ～光の水脈をめぐる旅

会期　令和８年９月 19 日～令和９年１月 11 日

(5) 入館者の状況

（令和７年度※12 月から３月は休館）

展覧会名			会期	観覧者数
主催事業	コレクション展		通年	45,455人
	特別企画展	おいでよ！夏の美術館vol.２「オバケ？」展	R７.７.10～R７.８.31	41,157人
		ベトナム、記憶の風景	R７.９.13～R７.11.９	6,262人
その他の貸会場展覧会			39件	55,012人
あじびホール利用			75件	5,484人
アートカフェ来訪者				99,654人
施設利用者合計				253,024人

８　博物館



○所在地	早良区百道浜三丁目１番１号
○敷地面積	50,648.80 ㎡
○延床面積	23,889.98 ㎡
○建物構造	鉄骨鉄筋コンクリート造３階建
○開館	平成２年 10 月 18 日
○種別	歴史民俗博物館
○主要施設	常設展示室、企画展示室、 特別展示室、講堂、 講座室、体験学習室、授乳室、多目的研修室、オープンテラス、読書室

福岡市博物館は、福岡が古くから大陸との交流拠点として重要な役割を果たしてきたことを踏まえ、対外交流の歴史を基本テーマに、郷土の貴重な文化遺産を保存、継承するとともに、新たな市民文化の創造に寄与することを目的としています。

(1) 基本性格

① 先人の残した文化遺産を保存、継承し、東アジアにおける福岡の歴史と民俗を学ぶ博物館
② 文化遺産を通して市民とのコミュニケーションをすすめ、新しい市民文化を育む博物館
③ 調査研究機能とともに高度の情報サービス機能をもち、市民の生涯学習の場としての博物館

(2) 事業内容

① 博物館資料の収集と展示
② 博物館資料に関する調査研究
③ 博物館資料に関する企画展、講演会等の開催
④ 博物館資料に関する情報の収集と提供
⑤ その他必要な事業

(3) 博物館資料の収集

博物館の諸事業を効果的に行うため、昭和 58 年度から福岡の歴史と民俗に関係の深い資料の収集を積極的に行ってきました。令和８年３月末現在の収集資料は、累計で 210,023 件になります。

(4) 施設内容

① 常設展示室

平成 25 年 11 月３日、「FUKUOKA　アジアに生きた都市と人びと」をテーマにリニューアルオープン。福岡の歴史や人びとのくらしを独自の時代区分で紹介。また、すべての人にやさしく使い勝手の良い施設を目指し「ユニバーサル・ミュージアム」の理念を掲げ、体感型の展示方法も取り入れています。

② 企画展示室

４つの展示室に分かれており、博物館の収蔵品を中心に、歴史、美術工芸、考古、民俗の各部門の展示を定期的に行い、主に福岡市内及び近郊の様々な資料や文化財を、テーマを決めて紹介しています。

③ 特別展示室

博物館主催の自主企画展や、各種実行委員会等の主催による特別展を順次開催します。

④ 体験学習室「みたいけんラボ」

アジアの遊戯をテーマとして、アジア各国の芸能・玩具資料に直接触れることにより、アジアの人々の生活や文化を疑似体験できるようにしています。

⑤ 講堂・講座室

博物館や各種団体等の主催により、歴史・民俗に関する講演会、各種講座を開催します。



国宝　金印「漢委奴国王」

(5) 特別展示室

・魔法の歴史スコープ～見つめてみよう福岡の今～
　会期　令和８年２月 21 日～令和８年４月 12 日
・大恐竜展～「フクイ」から探る獣脚類の進化～
　会期　令和８年４月 24 日～令和８年６月 28 日
・福岡市博物館収蔵　幽霊・妖怪画コレクション
　会期　令和８年７月 19 日～令和８年９月 13 日
・1999 展－存在しないあの日の記憶－
　会期　令和８年 10 月 10 日～令和９年１月 11 日

(6) 企画展示室

室	展 覧 会 名 称	会　期
1・2・4	花爛漫の江戸時代	2/3～4/19
3	勾玉展	2/3～4/19
1～4	第 38 回新収蔵品展 ふくおかの歴史とくらし	4/22～6/14
1	博多祇園山笠展 25	6/18～8/16
4	戦争とわたしたちのくらし	6/18～8/16
1	黒田家の名宝４	8/18～4/25
4	福岡市無形民俗文化財・福岡県有形民俗文化財追加指定記念 大濱流灌頂と大燈籠絵	8/18～10/18
4	古文書と記録で見る福岡藩政史８	10/20～1/11
4	館蔵考古資料展	1/13～4/18

(7) 講演会・講座等

総館長の歴史講座「楽史の集い」
　５月 23 日　文書のなかの豊臣兄弟
　７月 25 日　「幽霊・妖怪画コレクション」によせて
　９月 26 日　黒田長政

(8) 子どもを対象とした事業

みんなのミュージアム
　８月５日、６日（ねんどでつくろう　みんなの百鬼夜行）
　12月19日（古代の機織りを体験しよう！）
　３月27日（金印の使われ方を知ろう！）

(9) 学習事業

① 博物館体験学習事業
　市立中学校、特別支援学校（中等部）の生徒、市立小学校の児童を対象に博物館で体験学習を実施します。
　小・中学校・特別支援学校実施予定数５回（361 人）

② 出前学習事業
　市立小学校、特別支援学校（小学部）の児童を対象に、博物館から講師を派遣し、出前学習を実施します。
　４メニュー　実施予定数　103 回（9,101 人）

③ 対話型鑑賞
　福岡市美術館、福岡アジア美術館と連携し、市内の小学校・特別支援学校（小学部）が校外学習で利用できる「対話型鑑賞」事業を実施します。
　実施予定数　40 回（3,324 人）

(10) 福岡市史の編さん事業

　市民の郷土に対する誇りと愛着を醸成するとともに、重要な歴史資（史）料を市民の財産として後世に継承するため、総合的で体系化された「福岡市史」を編さんし、福岡市発展の指針とします。

① 『新修 福岡市史』の制作
② 編集委員会・専門部会等の開催、資(史)料調査・収集整理
③ 講演会・研究会の開催（年１～２回）
④ 広報誌（年１～２回）、研究誌（年１回）の発行

(11) 入館者の状況

（令和７年度）

展　覧　会　名		観覧者数/人
常　設　展・企　画　展		122,924
特別展	民藝 MINGEI― 美は暮らしのなかにある	3,153
	アニメ「鬼滅の刃」 柱展 ―そして無限城へ―	49,143
	芥見下々『呪術廻戦』展	43,297
	ディズニー・アニメーション・イマーシブ・エクスペリエンス	109,262
	魔法の歴史スコープ～見つめてみよう福岡の今～	4,647
	特 別 展　計	209,502
合　　計		332,426

※「民藝 MINGEI― 美は暮らしのなかにある」は、令和７年４月からの観覧者数（令和７年２月８日から開催）
※「魔法の歴史スコープ～見つめてみよう福岡の今～」は、令和８年３月までの観覧者数（令和８年４月 12 日まで開催）

９ 埋蔵文化財センター



○所 在 地	博多区井相田二丁目１番 94 号
○建物構造	鉄骨鉄筋コンクリート造３階建(一部２階)
○延床面積	10,713 ㎡
○設置年月日	昭和 57 年２月 22 日
○主要施設	展示室（第１・第２・第３）、研修室、図書室、資料閲覧室、収蔵庫・特別収蔵庫・記録類収蔵庫、木器処理室・金属器処理室・光学機器室、資料整理室 月限収蔵庫(博多区月限一丁目 13 番 17 号)

福岡市埋蔵文化財センターは、市域から出土した遺物や調査記録類を一括収蔵・保管し、また科学的な保存処理を施すとともに、市民が郷土の歴史をより身近なものとして学ぶために、これらを広く公開・展示し、市民文化の向上に資するために設置されました。

(1) 展示施設

令和６年度から令和 10 年度にかけて、老朽化した建物内部の大規模改修工事を実施する計画です。工事に伴い、令和６年４月から展示室を閉鎖しています。

(2) 保存処理と調査研究

① 保存処理

令和７年度は木製品 167 点、金属製品やガラス製品など 143 点について科学的保存処理を行いました。

② 調査研究

調査研究成果を年報（第 44 号）にまとめ、650 部を発刊、公共団体や研究機関へ寄贈しました。

(3) 普及活動

郷土の歴史を遺跡や遺物を通して学び、文化財保護思想の育成を目的に下記の講座・展示を開催しました。

① 考古学講座・発掘調査速報講座

ア　７年度の考古学講座は「倭国と古代東アジア　交流と諸国興亡の時代」を年間テーマとして３回開催し、計 822 人が受講しました。

	講座名	開催日	受講者数
1	弥生時代抗争の背景の変化と高地性集落の東方波及－その多元的性格と役割の解明をめぐって－」	Ｒ７．７．12	288
2	「倭軍は百済・加耶連合軍とともに高句麗・新羅両軍といかに戦ったか－戦闘の実相を探る－」	Ｒ７．９．20	300
3	古代韓日交流史－韓半島諸国と倭国諸地域との「交流」と韓半島三国時代諸国の興亡－」	Ｒ７．12．20	234

イ　令和７年度における市内の発掘調査の報告である発掘調査速報講座は計 139 人が受講しました。

	講座名	開催日	受講者数
1	発掘調査速報講座	Ｒ８．３．14	139

② 館外展示

当センターでは、出土品の活用の一環として、地域学校等の身近なところで出土品と接する機会を積極的に設け、市民の文化財保護に対する理解が深まるように努めています。

(4) 教育活動

① 出前授業

出前授業は福岡市内から出土した豊富な歴史遺産を収蔵庫に眠らせたまま後世に伝えるのではなく、新たな資料活用法として出土品を学校へ持ち込み、文化財専門職(センター職員)が授業を行うものです。

「ふるさと福岡」を誇りに思う子供たちを育てることを目的に、授業は①校区内遺跡からの出土品に直接触れて歴史を身近に感じること、②大昔の生活体験を行い歴史認識を深めること、の２本の柱から構成されています。

令和７年度は、５月から 10 月にかけて、22 校の小学校で計 64 回の授業を行い、1,870 人が学習体験を行いました。

・令和７年度　出前授業主要メニュー

授業メニュー	授業内容
出土品にさわろう！	本物の出土品に実際に触れて、当時の使い方を学ぶ
火起こしに挑戦！	舞い切り式の火起こしを体験し、火と人間の歴史を学ぶ

・令和７年度　出前授業実施状況

	学校数	授業回数	受講生徒数
市立小学校	22 校	64 回	1,870 人
市立中学校	0 校	0 回	0 人
特別支援学校（小学部）	0 校	0 回	0 人
特別支援学校（中学部）	0 校	0 回	0 人
合　　計	22 校	64 回	1,870 人



（出前授業風景）

(5) 資料の収蔵と活用

市域内の発掘調査による出土品や調査記録類を一定の収蔵方法によって整理・収蔵し、また必要なものについては科学的処理を行い、調査研究や貸出など各種の利用に役立てています。

なお、令和７年度は大規模改修工事に伴い、一部業務を制限しました。

① 収蔵

令和７年度は、博多遺跡群など 99 件の調査等の収蔵を行いました。その内訳は、出土遺物（コンテナ 4,324 箱）と記録類（写真 37,341 点、図面 5,190 枚等）等を本収蔵しました。これにより延べ 2,401 遺跡（調査）分について検索、公開できるようになりました。

② 資料の利用・活用

博物館などの展示資料や出版物の掲載資料、また小学校の補助教材として考古資料や写真の貸出し、さらには資料の撮影、閲覧申請への対応なども行っています。令和７年度は館内の大規模改修工事に伴い利用を一部制限しており、資料利用・活用は 144 件、5,560 点でした。

③ 図書の整備と利用

考古学関連書籍や全国の遺跡調査報告書を収蔵している図書室の蔵書数は令和７年度末で 113,826 冊を数えます。工事に伴い、令和６年６月から図書館の一般利用は休止しています。

(6) 入館者の状況　（令和７年度）

区　分	個　人（人）	団　体（人）	合　計（人）
学　生	1	0	1
一　般	446	0	446
合　計	447	0	447

人権教育

１　概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66
２　学校教育における人権教育の推進・・・・・・・・ 66
３　社会教育における人権教育の推進・・・・・・・・ 66

人　権　教　育

1　概要

国においては、平成 12 年 12 月に「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」を施行し、「社会的身分、門地、人種、信条又は性別による不当な差別の発生等の人権侵害の現状その他人権の擁護に関する内外の情勢にかんがみ、人権教育及び人権啓発に関する施策の推進について、国、地方公共団体及び国民の責務を明らかにするとともに、必要な措置を定め、もって人権の擁護に資する」こととしました。さらにこの法律に基づき、人権教育及び人権啓発に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、平成 14 年３月に「人権教育・啓発に関する基本計画」が策定されました。

福岡市においても、これまでの取組みの成果・課題や社会情勢の変化を踏まえて、平成 11 年１月に策定した「人権教育のための国連 10 年」福岡市行動計画の見直しを行い、新たに平成 16 年１月に「福岡市人権教育・啓発基本計画」を策定し、「人権を尊重し、人の多様性を認めあうまち」福岡市の実現に向けて、全庁的な人権教育・啓発の取組みを進めています。

教育委員会においても、平成 18 年２月に教育長名で「人権教育の推進について」を通知し、同和問題の残された課題を認識するとともに、同和問題を人権問題という本質からとらえ、同和問題の解決への取組みをあらゆる人権問題の解決につなげていくという見地から、すべての学校や地域において人権教育を推進し、同和問題の早期解決を図るとともに、あらゆる人権問題の解決を目指すものとしました。

その後、平成 20 年４月に通知された文部科学省の「人権教育の指導方法等の在り方について（第三次とりまとめ）」及び「新しいふくおかの教育計画」を踏まえ、平成 21 年６月に「福岡市教育委員会人権教育推進計画」を策定（平成 26 年４月改訂）し、同計画に基づく施策の着実な推進を図りました。

また、平成 29 年度には、すべての学校・園で人権教育を着実に推進するための取組姿勢や押さえておくべき方向性を、「３つの柱」として策定しました。

現在は、「第２次福岡市教育委員会人権教育推進計画」の成果と課題を踏まえ令和８年策定の「第３次福岡市教育委員会人権教育推進計画」に基づき、すべての学校や地域において、より効果的・計画的に人権教育を推進し、あらゆる人権問題の解決をめざしています。

2　学校教育における人権教育の推進

学校における人権教育は、人権尊重の理念に対する理解を深め、これを体得できるようにすることを旨とし、同和問題などさまざまな人権問題に対する科学的認識に立って、人権という普遍的文化を構築していく意志と実践力を持った人間の育成を目指すものです。

人権教育の推進にあたっては、教師自らの人権問題に対する認識を深めるとともに、保護者や子どもの願いを正しく受け止め、日常の教育活動の反省に基づき、指導力の向上及び自己啓発を図り、実践を深めることが大切です。

また、教育活動全体を通して、全ての児童生徒が人権尊重の意識を高めるとともに、同和問題をはじめあらゆる人権問題の解決を図っていく意志と実践力を培うことが必要です。

そのためには、学校経営方針の中に、「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」「第３次福岡市教育委員会人権教育推進計画」や「人権教育の指導方法等の在り方について」「人権教育推進のための３つの柱」等の理念や趣旨を踏まえた人権教育の推進計画と共に、「人権教育全体計画」・「人権教育年間指導計画」を作成し、校長を中心に全教職員が一体となって、教育活動の中で組織的・計画的に推進する必要があります。

また、学力向上については、全国学力・学習状況調査の結果をもとに教育課題を明らかにし、各学校において、学力向上のための指導資料を作成して、実効性のある学力向上の取組みを推進するとともに、地域人材を活用して放課後に児童への補充学習を行い、地域との連携を図りながら、学力の向上と進路指導の充実に取り組むことが重要です。

3　社会教育における人権教育の推進

社会教育のあらゆる機会に、基本的人権の尊重を基調とする総合的な視点に立った人権教育を積極的に推進します。

(1)　市民を対象とした人権教育の推進

すべての市民が同和問題など、様々な人権問題を自らの課題としてとらえ、人権についての理解や認識を深めるとともに、人権を確立するための方法と手段について学習することができるよう、研修会や指導者研修会を実施しています。また、人権教育の充実を図るため、社会教育関係職員等を対象とした研修を実施しています。

(2) 人権啓発地域推進組織の育成・支援

「人権を尊重し、人の多様性を認め合うまち」の実現に向け、地域において市民が自主的に人権に関する学習や啓発に取り組む人権啓発地域推進組織の育成・支援を行っています。現在、全市147小学校区（うち１校休校）中142校区、146組織（令和８年４月１日現在）が結成され、それぞれの地域の状況に即した、講演会・研修会、人権まつりや人権週間の開催、広報紙や人権カレンダーの発行、人権標語入り看板やのぼりの作成など、創意工夫をこらした多彩な取組みが展開されています。

(3) 地域の教育力育成・支援事業

地域の自主的・組織的な学習活動及びその成果を実践する活動等の支援を行い、もって社会全体で子どもをはぐくむ「共育（ともいく）」を推進する主体の育成・支援を図ります。

○ 家庭の教育力パワーアップ事業

家庭の教育力の向上を図ることを目的として、保護者同士や地域とのつながりの中で、家庭教育の重要性について理解を深め、子どもの成長に喜びや生きがいを感じながら、保護者として成長しようとする活動を行う地域グループを支援します。

○ 共生する地域づくり事業

人の多様性を認め合い、共生する地域づくりを推進することを目的として、福岡市人権教育・啓発基本計画に基づく人権課題の当事者を中心として、地域における住民同士の交流や相互理解を図りながら、人権問題の解決に向けた学習や啓発活動を行う地域グループを支援します。

○ 地域学び場応援事業

児童生徒の家庭学習の習慣化や学習意欲の向上を図り、学力の向上等につなげることを目的として、保護者や地域における住民等の連携、協力の下、社会全体で子どもをはぐくむ「共育（ともいく）」を実践する活動として、小・中学生を対象とした放課後等における補充学習に取り組む地域グループを支援します。

(4) 社会教育関係職員等を対象とした研修

（令和７年度）

事業名	内容	実施回数	参加人数
公民館職員等人権教育研修	人権教育を推進する社会教育関係職員としての役割と公民館における人権教育の取組みについての研修	回 162	人 2,505
公民館人権教育研修	公民館における学級講座に人権教育を位置付け、また組織的な地域ぐるみの活動として推進し住民の人権問題に対する認識を深めるための研修	519	19,162
団体・地域指導者等研修	社会教育関係団体指導者や地域指導者を対象に人権問題への理解と、取組みを促進するための研修	44	777
人権講座 人権を考える集い	地域指導者の人権問題に対する正しい認識と人権意識の高揚を図るための講座及び研修	34	6,468
教育委員会職員 人権教育研修	職員一人ひとりが人権問題を自らの課題として正しくとらえ、業務遂行に当たって、その趣旨を十分反映させていく力をつけるとともに、管理・監督職員の指導力の一層の充実を図り、各職場ぐるみの取組みを強化するための研修	3	1,333
社会教育関係職員研修(再掲)	公民館及び社会教育関係団体等における人権教育研修が効果的に実施されるよう、助言・指導にあたる主任社会教育主事等の社会教育関係職員の人権についての理解を深める研修	4	109

(5) 学校教育における人権教育の推進　　（令和７年度）

事業名	事業内容	実施対象
1　人権教育関連研修講座		
(1) 校長研修	３つの柱を中心とした人権教育の推進に向けて、子どもアドボカシーについて	全校長
(2) 副校長・教頭研修	学校における人権教育 学校における人権教育推進のために期待すること	全副校長・教頭
(3) 教務担当者研修	人権教育の推進	教務主任、教務担当（主幹・指導教諭）
(4) 新任教務担当者研修	家庭、地域との連携	新任教務主任、新任教務担当（主幹・指導教諭）
(5) 初任者研修１年次	人権教育に関する法的根拠と本市の取組、同和問題について、同和問題についての正しい理解、部落差別の現実に学ぶ	１年次教諭等（小･中･特･高・養護･栄養・日本語指導・他府県転入・学校事務）
(6) 初任者研修２年次	性的マイノリティに関する正しい理解、外国人に関する人権問題、性の多様性	２年次教諭等（小･中･特･高・養護･栄養・日本語指導）
(7) 初任者研修３年次	障がい者理解、発達障がいに関する理解	３年次教諭等（小･中･特･高・養護･栄養・日本語指導）
(8) ６年次研修	人権教育に関する理論と実践 「ぬくもり」題材を活用した授業実践（または人権教育実践）	６年次教諭等（小･中･特･高・養護･栄養・日本語指導）
(9) 中堅教諭等資質向上研修（11年次）	人権教育に関する理論と実践	中堅教諭等（小･中･特･高・養護・栄養）
(10) 人権教育担当者研修	校内人権教育研修の推進と人権教育担当者の役割	全人権教育担当者
(11) 全市人権教育研修	特定職業従事者としての役割、差別の現実に学ぶ	全教員（非常勤講師を除く）
(12) 部落問題学習指導基礎研修	部落問題学習指導事例、部落問題学習の指導のポイント	教員（小・中悉皆）
(13) 新任常勤講師等研修	人権教育	初めて教職を経験する者
(14) 常勤講師等経験者研修	人権教育	常勤講師等
(15) 非常勤講師研修	人権教育	非常勤講師
(16) 人権教育（第三次とりまとめと人権８課題）	人権教育の基本原理	教員（選択研修）
(17) 人権意識を高める学習指導	児童生徒の人権感覚を育む学習指導の在り方（人権読本「ぬくもり」の指導事例）	教員（一部悉皆、選択研修）
(18) 男女平等教育研修	男女平等教育の推進	教員（担当者）
(19) 学校事務職員研修３年次	人権教育の正しい理解	学校事務職員３年次等
(20) はじめての部落問題学習	部落問題学習の基礎・基本	教員（選択研修）
2　校内人権教育研修経費負担	校内人権教育の研修、実践経費の負担	市立小・中・高・特別支援学校
3　人権教育研究団体助成	福岡市教職員によって構成される人権教育を自主的に推進している団体に対する研修費の助成	○市立小中学校長人権教育研究会 ○市立小中学校教頭人権教育研究会 ○市人権教育研究会 ○市進路保障研究会 ○市立高等学校進路保障研究会

資　料

1　市立学校一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69
2　市内幼稚園・認定こども園一覧・・・・・・・・・・ 73
3　教育機関等一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 78
4　公民館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 79
5　空港周辺共同利用会館・・・・・・・・・・・・・・ 82
6　附属機関・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 83
7　外郭団体等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 87
8　ＰＴＡ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 87
9　市立高等学校の通学区域・・・・・・・・・・・・・ 87
10　福岡市内指定・登録文化財一覧・・・・・・・・・・ 88
11　令和７年度刊行物等一覧・・・・・・・・・・・・・ 106

1 市立学校一覧

(1) 小学校(147校)

（令和８年５月１日現在）

番号	学校名	校長名	創設年月日	所在地	電話	ＦＡＸ
1	舞鶴小	宇都宮　美保	平26. 4. 1	810-0073　中央区舞鶴二丁目６番１号	741-6322	741-4039
2	当仁小	宇都宮　純一	明 6. 2.25	810-0063　中央区唐人町三丁目１番４５号	741-2701	741-4475
3	博多小	衛藤　勇治	平10. 4. 1	812-0023　博多区奈良屋町１番３８号	291-2001	291-2002
8	警固小	田中　賢治	明19. 4.	810-0023　中央区警固一丁目１１番１号	741-3664	741-3665
9	西新小	武田　綾子	明 6. 2.	814-0002　早良区西新六丁目４番１号	831-4584	831-4585
10	春吉小	大田　隆志	明 6. 1.	810-0003　中央区春吉一丁目１７番３８号	751-6386	751-6387
11	住吉小	松下　誠	平24. 4. 1	812-0017　博多区美野島三丁目２２番７号	431-2739	431-2730
12	草ケ江小	児玉　清孝	大14. 9. 1	810-0045　中央区草香江二丁目３番５号	771-3815	771-3816
13	堅粕小	中島　健次	明22.10.	812-0013　博多区博多駅東一丁目８番１号	431-4194	431-4978
14	馬出小	田中　恵子	明41. 4. 1	812-0054　東区馬出一丁目１２番２７号	641-6588	641-6589
15	千代小	石田　悦嗣	明 6. 3.	812-0045　博多区東公園８番１号	651-3070	651-7352
16	原小	山下　洋介	明 6. 3.	814-0022　早良区原二丁目５番１号	821-2535	821-2536
17	長尾小	江口　友子	明 6. 3.29	814-0123　城南区長尾五丁目１番１号	871-2271	871-2272
18	吉塚小	今村　和宏	昭 6. 1. 9	812-0041　博多区吉塚二丁目２１番５４号	611-0938	611-0939
19	東住吉小	中野　篤弘	昭10. 4. 1	812-0016　博多区博多駅南二丁目６番１号	431-0634	431-6614
20	筥松小	中野　宏一	昭15.12.17	812-0069　東区郷口町１６番１号	621-1692	621-9046
21	平尾小	真名子　幸	昭18.10.11	810-0014　中央区平尾三丁目２９番１号	522-8215	522-8216
22	高宮小	鶴田　千詠子	明 7. 6. 1	810-0012　中央区白金二丁目１５番４０号	522-8213	522-8214
23	姪浜小	野坂　和幸	平26. 4. 1	819-0002　西区姪の浜二丁目１０番６号	891-3421	891-3422
24	席田小	入江　潔	明 7. 4.	812-0002　博多区空港前四丁目１７番１号	611-4706	611-4707
25	三宅小	士生　圭子	明 8. 5.	811-1344　南区三宅二丁目２３番１号	541-6468	541-6469
26	花畑小	原　康彦	明 6. 3.	811-1356　南区花畑三丁目３４番１号	565-4983	565-4984
27	月隈小	野中　俊一	明 7.	812-0858　博多区月隈三丁目３０番１号	503-5321	503-4650
28	箱崎小	青木　理枝	明 6. 3.	812-0053　東区箱崎二丁目２番４５号	651-3190	651-3766
29	壱岐小	樋口　治久	明16. 3.	819-0041　西区拾六町三丁目２１番１号	881-1568	881-1569
30	能古小	相良　哲哉	明 9. 9.15	819-0012　西区能古３５７番地	881-0858	881-8416
31	今宿小	遠入　哲司	明 7. 5.	819-0161　西区今宿東一丁目２７番１号	806-0009	806-6411
32	今津小	藤本　博幸	明 8.	819-0165　西区今津４８０８番地	806-2004	806-2005
33	玉川小	小野　洋一朗	昭25. 4. 1	815-0035　南区向野一丁目５番１号	541-5331	541-5332
34	高取小	岩田　勝英	昭26. 1.10	814-0012　早良区昭代二丁目１５番５１号	821-6636	821-6637
35	鳥飼小	石田　良一	昭26.11. 1	814-0103　城南区鳥飼四丁目１３番２号	831-4238	831-4239
36	西高宮小	篠原　昌宏	昭27. 4. 1	815-0071　南区平和一丁目６番５５号	531-8136	531-8137
37	赤坂小	沖本　昌美	昭28. 4. 1	810-0042　中央区赤坂二丁目５番２０号	721-1636	721-1637
38	百道小	城田　佳弘	昭29. 4. 1	814-0006　早良区百道三丁目１番１号	821-2183	821-4799
39	曰佐小	小野村　リサ	明35. 4.	811-1311　南区横手三丁目４２番１号	591-5028	591-5038
40	宮竹小	楢尾　好民	昭29. 4. 1	811-1302　南区井尻一丁目１番１号	581-0361	581-0424
41	田隈小	春日　清美	明41. 3.	814-0174　早良区田隈二丁目７番１号	871-3706	871-3707
42	香椎小	蕗谷　有志	明18. 7.18	813-0013　東区香椎駅前三丁目２番１号	681-7231	681-7232
43	多々良小	吉村　明	明21. 6. 1	813-0033　東区多々良一丁目５６番１号	691-3361	691-3362
44	名島小	鬼塚　こゆき	昭11. 4. 1	813-0043　東区名島五丁目５番１号	681-3366	681-3367
45	大楠小	物部　裕幸	昭30. 4. 1	815-0082　南区大楠三丁目１０番１号	522-8211	522-8212
46	春住小	振原　直子	昭30. 4. 1	812-0016　博多区博多駅南五丁目３番１号	431-2315	431-2322
47	板付小	浦川　宣	明 7. 3.29	812-0882　博多区麦野二丁目３番１号	581-0072	581-9312
48	那珂小	野口　信介	大12. 4. 1	812-0893　博多区那珂三丁目１０番１号	431-4979	431-4956
49	那珂南小	篠原　裕子	昭25. 3.31	812-0877　博多区元町三丁目１番１号	581-0208	581-6035
50	香住丘小	大道　一宏	昭31. 4. 1	813-0003　東区香住ケ丘三丁目１０番１号	681-3511	681-3512
51	東光小	平川　洋一	昭31. 4. 1	812-0007　博多区東比恵二丁目２１番１号	411-2498	411-2484
52	南当仁小	小林　信太郎	昭31. 4. 1	810-0053　中央区鳥飼二丁目４番６１号	741-8792	741-8793
53	東吉塚小	杉原　賢太郎	昭32. 4. 1	812-0041　博多区吉塚六丁目８番１１号	611-7671	611-7687
55	若久小	安河内　由美	昭32. 9. 1	815-0042　南区若久一丁目１２番１号	541-4210	541-4227
56	笹丘小	河野　文彦	昭33. 4. 1	810-0034　中央区笹丘二丁目２５番１号	731-0756	731-0757
57	内浜小	窪山　学	昭34. 4. 1	819-0002　西区姪の浜五丁目８番８号	881-0273	881-1322
58	室見小	清水　浩一	昭35. 1. 1	814-0015　早良区室見三丁目３番１号	831-3783	831-3784
59	別府小	林　卓也	昭35. 4. 1	814-0104　城南区別府六丁目９番１号	821-1238	821-1239
60	和白小	東　孝憲	明 6. 3.15	811-0203　東区塩浜一丁目６番１号	606-2061	606-2062
61	金武小	樋口　和寛	明 9. .	819-0035　西区金武２０２８番地の１	811-1303	811-1339
63	周船寺小	井元　尚史	明 8. .	819-0373　西区周船寺一丁目２２番３９号	806-1038	806-8097
64	元岡小	大谷　義明	明10. 3.	819-0384　西区太郎丸一丁目２番２４号	806-1135	806-5038
65	北崎小	大田　豊美	明12. 4. 1	819-0203　西区小田１３８５番地	809-2115	809-1298
66	玄界小	溝尻　頼敦	明15. .	819-0205　西区玄界島２３９番地	809-2951	809-1274

番号	学校名	校長名	創設年月日	所在地	電話	ＦＡＸ
67	小呂小	森　　豊	昭32. 5.	819-0011　西区小呂島２８５番地	809-2911	809-1819
68	千早小	西村　　綾子	昭39. 4. 1	813-0044　東区千早三丁目１３番１号	681-0831	681-0832
69	小笹小	坂田　　佳美	昭39. 9. 1	810-0016　中央区平和五丁目１３番１号	522-8217	522-8218
70	七隈小	森　　春樹	昭39. 4. 1	814-0133　城南区七隈四丁目２５番８号	871-3900	871-3901
71	老司小	大曲　　敬子	昭40. 4. 1	811-1346　南区老司三丁目２番１号	565-2529	565-2651
72	原西小	篠﨑　　俊之	昭40. 9. 1	814-0022　早良区原五丁目１６番１０号	831-6960	831-2496
73	長住小	冨嶺　　靖子	昭40. 9. 1	811-1362　南区長住四丁目５番３９号	541-2931	541-2932
74	原北小	渡部　　祐輔	昭42. 9. 1	814-0031　早良区南庄四丁目５番４０号	821-5586	821-6908
75	筑紫丘小	藤田　　智徳	昭44. 4. 1	815-0034　南区南大橋一丁目１３番１号	551-1572	551-1575
76	西花畑小	瀧澤　　康介	昭44. 4. 1	811-1355　南区桧原二丁目２０番１号	565-1573	565-1574
77	弥永小	田中　　展史	昭45. 4. 1	811-1323　南区弥永四丁目２番１号	581-5585	581-5558
78	堤小	米山　　智子	昭45. 4. 1	814-0153　城南区樋井川六丁目２７番５６号	861-2785	861-2484
79	飯倉小	阿比留　　和彦	昭45. 4. 1	814-0161　早良区飯倉七丁目３０番９号	801-4400	801-8948
80	城浜小	清家　　貴文	昭46. 4. 1	813-0045　東区城浜団地３１番１号	661-6915	661-6961
81	若宮小	増田　　和幸	昭46. 4. 1	813-0036　東区若宮三丁目１２番１号	661-6655	661-6916
82	城南小	長　　克洋	昭46. 4. 1	814-0111　城南区茶山六丁目２０番１号	851-5154	851-5166
83	勝馬小	肝付　　幸枝	明 9. 4.15	811-0325　東区勝馬１７８６番地	603-6615	603-6920
84	志賀島小	隈本　　良知	明 8. 1.15	811-0323　東区大字志賀島１５６６番地の１	603-6506	603-6541
85	西戸崎小	二田水　幸祐	明24. 4. 1	811-0321　東区西戸崎六丁目３番１号	603-0046	603-0208
86	東花畑小	南正覚　禎哉	昭47. 4. 1	811-1351　南区屋形原二丁目２３番１号	566-7700	566-7701
87	金山小	松嶋　　緑	昭47. 4. 1	814-0131　城南区松山一丁目２０番５６号	861-5313	861-5129
88	下山門小	齊藤　　豪	昭47. 4. 1	819-0052　西区下山門四丁目１５番１号	891-1688	891-0549
89	長丘小	林田　　栄治	昭48. 4. 1	815-0075　南区長丘二丁目２２番４２号	511-1350	511-1413
90	美和台小	久保田　篤	昭49. 4. 1	811-0212　東区美和台二丁目２５番１号	606-4755	606-4789
91	八田小	田中　　盛幸	昭49. 4. 1	813-0031　東区八田二丁目１５番１号	671-4080	671-4085
92	板付北小	志方　　納子	昭49. 4. 1	812-0888　博多区板付二丁目２番２０号	451-5022	451-5024
93	西長住小	沼瀬　　真寿美	昭49. 4. 1	811-1361　南区西長住一丁目９番２０号	512-1335	512-4343
94	賀茂小	上原　　純	昭49. 4. 1	814-0164　早良区賀茂一丁目３１番１号	862-0233	862-4516
95	脇山小	横江　　寛	明23. 4. 1	811-1111　早良区大字脇山２５５８番地	804-2805	804-2842
96	内野小	田代　　豊治	明21. 4. 1	811-1123　早良区内野八丁目１５番１号	804-2207	804-4100
97	曲渕小	―	明 6. 4. 1	811-1133　早良区大字曲渕７１３番地の１	―	―
98	入部小	市丸　　日出夫	明41. 4. 1	811-1102　早良区東入部二丁目２１番１５号	804-2902	804-2999
99	東月隈小	土井　　三幸	昭50. 4. 1	812-0854　博多区東月隈四丁目１７番１号	504-0550	504-0595
100	有田小	小田　　ひろみ	昭50. 4. 1	814-0033　早良区有田八丁目１７番１号	861-1235	861-1309
101	壱岐南小	室井　　靖代	昭50. 4. 1	819-0032　西区戸切二丁目１７番１号	811-0955	811-5715
102	和白東小	振原　　基治	昭51. 4. 1	811-0215　東区高美台二丁目８番１号	607-0621	607-2978
103	片江小	山本　　博敏	昭51. 4. 1	814-0142　城南区片江四丁目５番１号	862-1600	862-4532
104	野芥小	須佐　　健吾	昭51. 4. 1	814-0171　早良区野芥七丁目１６番１号	862-1814	862-4571
105	西陵小	桐原　　健司	昭51. 4. 1	819-0055　西区生の松原三丁目９番２号	881-1702	881-5313
106	舞松原小	向井　　みちる	昭52. 4. 1	813-0042　東区舞松原五丁目１９番１号	671-6171	671-6242
107	福浜小	香川　　雅博	昭52. 4. 1	810-0066　中央区福浜一丁目２番１号	771-0125	771-2069
108	南片江小	酒井　　美佐緒	昭52. 4. 1	814-0143　城南区南片江二丁目９番１号	862-2311	862-4639
109	大原小	細田　　志郎	昭52. 4. 1	814-0022　早良区原三丁目８番１０号	843-7731	843-9430
110	香椎東小	室井　　松美	昭53. 4. 1	813-0014　東区香椎台一丁目９番１号	681-1511	681-1557
111	弥永西小	石松　　あゆみ	昭53. 4. 1	811-1323　南区弥永二丁目１０番１号	585-1556	585-1589
112	東若久小	小林　　博美	昭53. 4. 1	815-0042　南区若久三丁目３７番１号	561-8020	561-7855
113	四箇田小	井上　　敬介	昭53. 4. 1	814-0176　早良区四箇田団地５６番１号	811-6103	811-1968
114	壱岐東小	梅根　　伸一郎	昭53. 4. 1	819-0031　西区橋本一丁目１４番１号	811-6101	811-6152
115	石丸小	穴井　　仁人	昭53. 4. 1	819-0025　西区石丸三丁目９番２５号	881-1336	881-4872
116	鶴田小	只隈　　伸雄	昭54. 4. 1	811-1352　南区鶴田三丁目７番１号	566-5677	566-6008
117	田島小	鋤田　　誠	昭54. 4. 1	814-0113　城南区田島三丁目２０番１号	844-2848	844-4478
118	愛宕小	北田　　尚雄	昭54. 4. 1	819-0015　西区愛宕四丁目１５番１号	882-0264	882-4398
119	福重小	小谷　　学	昭54. 4. 1	819-0022　西区福重四丁目２５番１号	882-0400	882-4364
120	三筑小	渋田　　和彦	昭55. 4. 1	812-0887　博多区三筑二丁目９番１号	501-8740	501-8741
121	飯原小	川邊　　悦子	昭55. 4. 1	814-0022　早良区原七丁目３番１号	862-2155	862-2156
122	青葉小	只隈　　信一	昭56. 4. 1	813-0025　東区青葉三丁目９番１号	691-2301	691-2302
123	奈多小	後藤　　芳孝	昭56. 4. 1	811-0205　東区奈多団地４０番１号	607-7177	607-7178
124	野多目小	髙巣　　健一	昭56. 4. 1	811-1347　南区野多目二丁目６番１号	565-7651	565-7652
125	高木小	馬場　　一裕	昭57. 4. 1	815-0004　南区高木三丁目１１番１号	501-7521	501-7523
126	堤丘小	溜　　和久	昭57. 4. 1	814-0151　城南区堤一丁目１６番１号	863-7611	863-7671
127	有住小	松瀬　　寿彦	昭57. 4. 1	814-0033　早良区有田七丁目１７番１号	831-5558	831-5559
128	城原小	古賀　　博晃	昭57. 4. 1	819-0054　西区上山門一丁目２７番１号	882-0333	882-0312

番号	学校名	校長名	創設年月日	所在地	電話	ＦＡＸ
129	香椎浜小	臼井　直美	昭58. 4. 1	813-0016　東区香椎浜二丁目２番２号	672-8511	672-8510
130	大池小	岡村　恵	昭59. 4. 1	815-0072　南区多賀二丁目８番１号	561-1016	561-1046
131	早良小	東　智裕	昭59. 4. 1	811-1122　早良区早良一丁目８番１号	804-5550	804-5512
132	香椎下原小	西村　泰三	昭60. 4. 1	813-0002　東区下原一丁目４番１号	682-3906	682-3907
133	弥生小	森　邦康	昭60. 4. 1	812-0893　博多区那珂四丁目９番１号	451-1935	451-1936
134	塩原小	下田　一郎	昭61. 4. 1	815-0032　南区塩原一丁目２７番１号	551-1355	551-1429
135	田村小	赤崎　公彦	昭61. 4. 1	814-0175　早良区田村三丁目３２番１号	864-4362	864-4691
136	千早西小	山口　猛虎	昭62. 4. 1	813-0016　東区香椎浜一丁目４番１号	682-1089	682-1090
137	東箱崎小	西川　秋生	昭62. 4. 1	812-0053　東区箱崎五丁目１１番２０号	641-9351	641-9352
138	柏原小	平山　浩三	平元. 4. 1	811-1353　南区柏原五丁目２１番１号	565-4555	565-4556
139	飯倉中央小	山中　剛	平元. 4. 1	814-0161　早良区飯倉三丁目６番３５号	845-5425	845-5426
140	玄洋小	堀川　淳	平元. 4. 1	819-0167　西区今宿三丁目３８番１号	806-8146	806-8147
141	小田部小	木下　博子	平 2. 4 .1	814-0032　早良区小田部六丁目４番１号	845-8330	845-8331
142	香陵小	内田　智佳子	平 4. 4. 1	813-0016　東区香椎浜四丁目３番２号	682-0022	682-0063
143	百道浜小	竹下　清近	平 5. 4. 1	814-0001　早良区百道浜四丁目２４番１号	845-7750	845-7751
144	松島小	藤原　千恵美	平 5. 4. 1	812-0062　東区松島一丁目３９番１号	612-5511	612-5512
145	横手小	古賀　真理子	平 7. 4. 1	811-1311　南区横手四丁目２２番１号	501-9275	501-9334
146	三苫小	佐伯　修一郎	平 8. 4. 1	811-0201　東区三苫七丁目２番１号	606-6075	606-6058
147	愛宕浜小	廣瀬　実子	平 8. 4. 1	819-0013　西区愛宕浜四丁目４２番１号	885-0910	885-0915
148	姪北小	二田水　祐倫	平19. 4. 1	819-0002　西区姪の浜二丁目２０番２３号	882-1004	882-1225
149	照葉小	吉武　光洋	平19. 4. 1	813-0017　東区香椎照葉二丁目２番１号	681-1310	681-1311
150	西都小	岩崎　憲史	平29. 4. 1	819-0377　西区女原北１２番４５号	834-2312	807-2472
151	照葉北小	岩見　洋孝	平31. 4. 1	813-0017　東区香椎照葉七丁目５番１号	692-2522	661-2033
152	西都北小	宮野　直哉	令 5. 4. 1	819-0379　西区北原二丁目４０番１号	834-9020	834-9021
153	照葉はばたき小	篠原　浩一	令 6. 4. 1	813-0017　東区香椎照葉６丁目５番３５号	710-8144	710-8145

注）学校番号順に記載（4番、5番、6番、7番、54番、62番は欠番）

注）曲渕小（97番）は令和元年度より休校

(2)　中学校(72校)　　（令和８年５月１日現在）

番号	学校名	校長名	創設年月日	所在地	電話	ＦＡＸ
1	箱崎中	早川　敏行	昭22. 4. 1	812-0061　東区筥松四丁目２１番２２号	611-2296	611-2297
2	福岡中	坂井　武彦	昭22. 4. 1	812-0054　東区馬出三丁目１１番１号	641-6685	641-6686
3	千代中	山田　稔	昭22. 3.17	812-0044　博多区千代四丁目１７番４７号	641-4531	641-4532
4	東光中	深川　成浩	昭22. 4. 1	812-0008　博多区東光二丁目１５番１号	411-2935	411-2936
5	博多中	田中　大三	昭58. 4. 1	812-0020　博多区対馬小路１３番４０号	281-6644	281-6645
7	東住吉中	井浦　寿美	昭22. 4.16	812-0016　博多区博多駅南二丁目５番１号	431-6064	431-6065
8	春吉中	堀澤　恵二	昭22. 4. 1	815-0031　南区清水四丁目２１番５０号	551-4411	551-4412
9	舞鶴中	宇都宮　美保	昭22. 4. 1	810-0073　中央区舞鶴二丁目６番１号	741-4985	741-4986
10	高宮中	平山　久仁子	昭22. 4. 1	815-0082　南区大楠三丁目１１番１号	531-2631	531-2632
11	三宅中	竹内　義則	昭22. 4. 1	815-0033　南区大橋三丁目１８番１号	551-3535	551-3536
12	警固中	久保田　千曲	昭22. 4. 1	810-0042　中央区赤坂二丁目５番２３号	771-2031	771-2032
13	当仁中	氏家　修	昭24. 4.10	810-0066　中央区福浜二丁目７番１号	761-7831	761-7832
14	城西中	西田　淳一	昭22. 4. 1	814-0103　城南区鳥飼六丁目４番１号	821-0938	852-7145
15	百道中	田代　貴之	昭22. 4. 1	814-0006　早良区百道三丁目１８番１１号	821-1738	821-1739
16	西福岡中	木下　隆信	昭22. 4. 1	814-0032　早良区小田部三丁目３２番１号	821-5333	821-5334
17	姪浜中	古閑　悦子	昭22. 4. 1	819-0013　西区愛宕浜一丁目３２番１号	881-1038	881-1039
18	玄洋中	森　正隆	昭22. 4. 1	819-0166　西区横浜二丁目３４番１号	806-0041	806-0357
19	能古中	相良　哲哉	昭27. 8. 1	819-0012　西区能古３５７番地	881-0595	881-8385
20	香椎第１中	深町　義伸	昭22. 4. 1	813-0044　東区千早三丁目１２番１号	681-0765	681-0766
21	多々良中	谷口　紀章	昭22. 4. 1	813-0041　東区水谷一丁目１８番１号	681-1638	681-1639
22	住吉中	松下　誠	昭30. 4. 1	812-0017　博多区美野島三丁目２２番７号	431-2811	431-2812
23	花畑中	永野　主税	昭30. 4. 1	811-1355　南区桧原二丁目２１番１号	565-0901	565-0903
24	高取中	蒔田　彰	昭30.11. 4	814-0022　早良区原三丁目３番１号	821-5362	821-5363
25	友泉中	波多江　貴志	昭32. 4. 1	810-0034　中央区笹丘一丁目２２番１号	751-2388	751-2389
26	筑紫丘中	今村　隆	昭31. 9. 1	815-0036　南区筑紫丘二丁目２８番１号	541-4831	541-4832
27	三筑中	小代　尚由	昭23. 5.25	812-0887　博多区三筑一丁目１０番１号	581-1308	581-1018
28	那珂中	榊　隆二	昭28. 4. 1	812-0893　博多区那珂二丁目１８番１号	431-2338	431-2339
29	和白中	藤野　想督	昭22. 4.16	811-0201　東区三苫一丁目１０番１号	606-5031	606-5032
30	金武中	瀬村　進	昭22. 4. 1	811-1103　早良区四箇三丁目１番３号	811-3974	811-1318
31	吉塚中	宮﨑　宏之	昭35. 5. 1	812-0041　博多区吉塚五丁目１０番６号	621-9163	621-9164
32	城南中	川上　忍	昭36. 4. 1	814-0111　城南区茶山六丁目１９番１号	821-4833	821-4834
33	元岡中	下川　智紀	昭22. 4. 1	819-0380　西区田尻東一丁目１７番１号	806-1039	806-1439

番号	学校名	校長名	創設年月日	所在地	電話	ＦＡＸ
34	北崎中	大谷　邦彦	昭22. 4. 1	819-0203 西区大字小田１３８３番地	809-2621	809-2622
35	平尾中	古賀　新二	昭37. 4. 1	810-0016 中央区平和五丁目１１番１号	521-1768	521-1769
36	玄界中	溝尻　頼敦	昭22. 4.16	819-0205 西区大字玄界島２３９番地	809-2955	809-2957
37	梅林中	井上　純一	昭43. 9. 1	814-0144 城南区梅林三丁目６番１号	871-4100	871-7113
38	長尾中	泉　敦哉	昭44. 4. 1	814-0153 城南区樋井川四丁目１３番１号	871-2998	871-6680
39	小呂中	森　豊	昭22. 4. 1	819-0011 西区大字小呂島２８５番地	809-2911	809-1819
40	志賀中	王丸　庸夫	昭22. 4. 1	811-0322 東区大岳四丁目５番１号	603-0043	603-2204
41	香椎第２中	安部　裕子	昭47. 4. 1	813-0003 東区香住ケ丘一丁目８番１号	661-2073	661-2019
42	曰佐中	前田　亮	昭48. 4. 1	811-1313 南区曰佐三丁目７番１号	501-2043	501-2959
43	原中	副島　裕妃子	昭48. 4. 1	814-0161 早良区飯倉四丁目３４番５８号	801-4688	801-4690
44	席田中	浅見　宏亮	昭48. 9. 1	812-0853 博多区東平尾三丁目３番１号	611-0867	611-0967
45	壱岐中	波多江　美奈子	昭48. 9. 1	819-0041 西区拾六町二丁目１６番１号	811-0551	811-0582
46	早良中	梶原　玲賢	昭22. 4. 1	811-1123 早良区内野七丁目１番１号	804-2206	804-2215
47	多々良中央中	福田　宏	昭50. 4. 1	813-0033 東区多々良一丁目５１番１号	691-3911	691-3912
48	原北中	山田　圭三	昭51. 4. 1	814-0032 早良区小田部七丁目１１番１号	851-3344	851-3522
49	長丘中	池田　いくみ	昭53. 4. 1	815-0075 南区長丘二丁目２６番１号	561-7866	561-3594
50	西陵中	有友　剛	昭53. 4. 1	819-0055 西区生の松原三丁目９番１号	881-1733	881-4691
51	田隈中	白倉　岳	昭54. 4. 1	814-0175 早良区田村四丁目２５番１号	864-2479	864-2486
52	和白丘中	福原　啓二	昭55. 4. 1	811-0213 東区和白丘三丁目１３番１号	606-7611	606-7612
53	内浜中	赤池　潤	昭55. 4. 1	819-0005 西区内浜一丁目１２番１号	882-3855	882-3866
54	老司中	中川　法文	昭56. 4. 1	811-1346 南区老司三丁目３７番１号	565-1960	565-1961
55	次郎丸中	矢野　智也	昭56. 4. 1	814-0165 早良区次郎丸六丁目３番１号	862-3711	862-3749
56	香椎第３中	宮田　邦義	昭58. 4. 1	813-0012 東区香椎駅東三丁目３３番１号	662-7668	662-8456
57	柏原中	寺﨑　英二	昭58. 4. 1	811-1353 南区柏原一丁目８番１号	566-1181	566-1482
58	城香中	志波　宣和	昭59. 4. 1	813-0016 東区香椎浜二丁目２番１号	662-0765	662-0766
59	片江中	児玉　聡	昭60. 4. 1	814-0143 城南区南片江六丁目２７番１号	871-6221	871-6256
60	壱岐丘中	榎田　壽仁	昭60. 4. 1	819-0038 西区大字羽根戸３０３番地の１	811-7731	811-7760
61	板付中	瀧田　文隆	昭62. 4. 1	812-0881 博多区井相田二丁目１番２０号	575-1791	575-1792
62	下山門中	石井　孝二	昭62. 4. 1	819-0052 西区下山門三丁目１２番１号	882-6361	882-6362
63	宮竹中	阿久根　健一郎	昭63. 4. 1	815-0001 南区五十川一丁目４番１号	481-5781	481-5820
64	横手中	星子　真由美	昭63. 4. 1	811-1311 南区横手四丁目１６番１号	501-6451	501-6452
65	原中央中	三田　里恵	平元. 4. 1	814-0022 早良区原一丁目３６番１号	845-5415	845-5416
66	青葉中	増田　瑞穂	平 2. 4. 1	813-0025 東区青葉三丁目７番１号	691-9386	691-9629
67	野間中	三雲　雅文	平 3. 4. 1	815-0036 南区筑紫丘二丁目２番１号	542-6388	542-3694
68	松崎中	村川　正浩	平 4. 4. 1	813-0035 東区松崎一丁目５２番１号	682-0031	682-0124
69	箱崎清松中	原田　真司	平12. 4. 1	812-0064 東区松田二丁目３番１号	612-1237	612-1238
70	照葉中	吉武　光洋	平20. 4. 1	813-0017 東区香椎照葉二丁目２番１号	681-2007	681-1311
71	周船寺中	衛藤　厚介	令 8. 4. 1	819-0373 福岡市西区大字周船寺１７５番１３号	400-2424	400-2425
80	百道松原中	廣瀬　知己	令 7. 4. 1	814-0006 早良区百道三丁目10番１号	400-0133	400-0134
90	福岡きぼう中	町田　隆久	令 4. 4. 1	814-0006 早良区百道三丁目10番１号	400-0751	400-0752

注）学校番号順に記載（6番は欠番）

(3)　特別支援学校(10校)　　（令和８年５月１日現在）

番号	学校名	校長名	創設年月日	所在地	電話	ＦＡＸ
1	福岡中央特別支援	松本　学	昭34. 1.19	810-0065 中央区地行浜二丁目１番１８号	847-2789	847-2790
2	若久特別支援	平川　千佳	昭50. 4. 1	815-0042 南区若久二丁目３番１３号	551-2652	551-5551
3	屋形原特別支援	梅津　幸弘	昭35. 9. 1	811-1351 南区屋形原二丁目３１番１号	565-4901	565-4930
4	南福岡特別支援	浦　健一	昭36. 4. 1	812-0857 博多区西月隈五丁目６番１号	581-2242	581-2988
5	東福岡特別支援	諏訪原　佳子	昭39. 4. 1	813-0025 東区青葉三丁目８番１号	691-5402	691-5401
6	生の松原特別支援	岩下　優子	昭54. 4. 1	819-0043 西区野方七丁目８２５番地	812-0151	812-0152
7	今津特別支援	樋口　政幸	平元. 4. 1	819-0165 西区大字今津５４１３番地	806-8181	806-8180
8	博多高等学園	空　晴美	平16. 4. 1	812-0034 博多区下呉服町１０番４０号	263-9300	263-9301
9	清水高等学園	板谷　芳隆	令 5. 4. 1	815-0031 南区清水一丁目８番４号	408-9001	408-9002
10	城浜高等学園	山本　武志	令 7. 4. 1	813-0045 東区城浜団地１４番１号	405-1721	405-1722

(4)　高等学校(4校)　　（令和８年５月１日現在）

番号	学校名	校長名	創設年月日	所在地	電話	ＦＡＸ
1	福翔	山田　耕史	明33. 4.23	811-1347 南区野多目五丁目３１番１号	565-1670	565-1721
2	博多工業	福岡　哲朗	昭15. 5. 1	814-0155 城南区東油山四丁目２０番１号	862-6575	862-8346
3	福岡女子	大洲　隆一郎	大14. 5.15	819-0013 西区愛宕浜三丁目２番２号	881-7344	883-4227
4	福岡西陵	得能　美和	昭50.10.18	819-0041 西区大字拾六町字広石	881-8175	882-8079

２　市内幼稚園・認定こども園一覧

(1)　幼稚園(115園、休園中の園を除く)

（令和８年５月１日現在）

区　別	園　　名	所　　在　　地	電 話 番 号
東　区 (19園)	博多幼稚園	舞松原五丁目７番５号	681-1107
	福岡文化幼稚園	青葉六丁目４１番３４号	691-1671
	恵泉幼稚園	箱崎三丁目３３番２号	651-5723
	東福岡幼稚園	馬出四丁目１３番１５号	631-0528
	箱崎幼稚園	箱崎二丁目２番２９号	651-8924
	筥松幼稚園	筥松二丁目１９番３号	621-1446
	貝塚幼稚園	貝塚団地５番１号	651-6672
	松崎幼稚園	水谷一丁目１９番３０号	681-2213
	さくら幼稚園	城浜団地１番２９号	662-8679
	千早幼稚園	千早三丁目３番１３号	662-8760
	美和台幼稚園	美和台二丁目２４番１号	606-5162
	博多南幼稚園	高美台二丁目２５番１号	606-8217
	ツルタみとま幼稚園	美和台五丁目２６番１号	607-1361
	奈多幼稚園	奈多団地２３５９番１１号	607-2422
	ふたば幼稚園	志賀島１７３５番地１１６号	603-2804
	博多中央幼稚園	香椎台一丁目５番２２号	681-3131
	東福岡学園自由ケ丘幼稚園	香椎駅東四丁目６５番７号	672-3311
	香椎浜幼稚園	香椎浜二丁目４番７号	681-8611
	香椎照葉幼稚園	香椎照葉二丁目２番８号	662-2300
博多区 (12園)	吉塚ゆりの樹幼稚園	吉塚五丁目５番３９号	621-1055
	玉水幼稚園	竹下二丁目１番８号	431-5623
	カトリック光丘幼稚園	光丘町二丁目１番２５号	573-2231
	正光寺ひかり幼稚園	三筑二丁目３１番１０号	581-1959
	奈良屋幼稚園	奈良屋町１番６号	291-3554
	サルナート幼稚園	博多駅南三丁目１８番２８号	431-3256
	山王幼稚園	山王一丁目５番３６号	441-2800
	那珂幼稚園	那珂一丁目１８番１２号	431-2602
	レバノン幼稚園	西春町一丁目１番３７号	581-0528
	淡水幼稚園	諸岡一丁目１８番３号	581-1461
	席田幼稚園	東平尾一丁目５番４５号	621-2602
	つきぐま幼稚園	東月隈五丁目１０番１６号	503-3097
中央区 (14園)	舞鶴幼稚園	鳥飼一丁目６番１号	751-6650
	福岡雙葉小学校附属幼稚園	御所ケ谷７番１号	521-3705
	汀幼稚園	荒戸二丁目５番１１号	761-0470
	大濠聖母幼稚園	大濠一丁目７番１６号	751-5688
	福岡中部教会付属養巴幼稚園	赤坂三丁目８番４５号	741-5759
	草ケ江幼稚園	草香江二丁目９番２２号	751-3388
	笹丘カトリック幼稚園	笹丘一丁目１７番５１号	713-0019
	しろがね幼稚園	白金一丁目１５番１０号	531-5656
	わかば幼稚園	浄水通３番８号	521-0081
	円龍幼稚園	平尾四丁目１番１号	531-4643
	小笹幼稚園	小笹五丁目１６番３５号	531-3374
	けご幼稚園	桜坂一丁目１０番１７号	751-1503
	筑紫女学園大学附属幼稚園	警固三丁目１３番３４号	731-0787
	ふくはま幼稚園	福浜一丁目４番５号	713-7910

区　別	園　　名	所　　在　　地	電 話 番 号
南　区 （25園）	福岡女学院幼稚園	曰佐三丁目４２番１号	575-2472
	福岡海星女子学院認定こども園マリア幼稚園	老司五丁目２８番２号	565-0951
	宮竹幼稚園	井尻二丁目３番１４号	571-4165
	福岡音楽学院附属幼稚園	平和一丁目２３番２９号	521-1861
	みやこ幼稚園	塩原三丁目８番２１号	541-6901
	香蘭女子短期大学附属香蘭幼稚園	横手一丁目１２番３５号	571-3441
	曰佐幼稚園	曰佐一丁目２６番１２号	571-4148
	カトリック聖クララ幼稚園	大楠二丁目７番１０号	531-5798
	聖心ウルスラ幼稚園	塩原四丁目２５番２０号	541-2428
	高宮カトリック幼稚園	高宮二丁目７番１２号	531-0972
	正法寺ルンビニー幼稚園	横手三丁目２０番１７号	591-1342
	ながずみ幼稚園	長住二丁目１６番２８号	551-0884
	野間幼稚園	野間四丁目１９番２１号	541-5057
	塩原幼稚園	塩原二丁目４番３０号	541-1547
	清星幼稚園	三宅一丁目１７番１２号	541-6820
	筑紫丘幼稚園	若久団地４２番地	551-1090
	大橋幼稚園	大橋三丁目８番２２号	541-3072
	南福岡幼稚園	老司三丁目２８番１号	565-0956
	若久幼稚園	若久一丁目２２番７号	542-0415
	みどりがおか幼稚園	中尾一丁目３２番３２号	541-0350
	花畑幼稚園	花畑二丁目４８番３１号	566-7788
	長丘幼稚園	長丘二丁目２３番１０号	511-1550
	桧原こひつじ幼稚園	桧原二丁目４０番１号	512-1368
	あすなろ幼稚園	弥永二丁目１３番７号	571-2400
	柏原幼稚園	柏原一丁目１２番１５号	566-3111
城南区 （12園）	中村学園大学付属あさひ幼稚園	城西団地９番１号	831-6291
	福岡幼稚園	友泉亭１８番１２号	761-2566
	福岡小鳩幼稚園	長尾五丁目１０番６号	871-2132
	城南幼稚園	七隈一丁目１３番６２号	821-6837
	ダリヤ幼稚園	片江五丁目４番１８号	871-4519
	きりん幼稚園	友丘四丁目１番３２号	871-0366
	別府幼稚園	別府二丁目９番２１号	821-1851
	慶光幼稚園	樋井川二丁目１１番２７号	801-6666
	別府団地幼稚園	別府団地１７番１号	851-7284
	茶山幼稚園	別府六丁目１４番４４号	0570-00-5363
	かなやま幼稚園	金山団地２３番	871-1463
	油山幼稚園	東油山四丁目３番１３号	863-6221

区　別	園　　名	所　　在　　地	電 話 番 号
早良区 （19園）	弥生幼稚園	弥生二丁目３番１２号	821-6157
	認定こども園　おおはら幼稚園	原団地１番１号	831-4157
	淡水さわら幼稚園	干隈五丁目１番５号	871-6646
	むろずみ幼稚園	室住団地４８番１号	831-8463
	高取幼稚園	昭代二丁目８番３３号	821-1527
	西新カトリック幼稚園	城西三丁目１４番１号	851-9625
	西南幼稚園	西新七丁目５番３５号	821-7422
	認定こども園　たぐま幼稚園	次郎丸四丁目８番１２号	861-2156
	あかし幼稚園	荒江三丁目２３番１２号	821-1693
	原幼稚園	原二丁目１３番１１号	821-6712
	ありた幼稚園	有田二丁目１０番２０号	844-1166
	飯倉幼稚園	飯倉四丁目１９番５号	871-5593
	星の原幼稚園	星の原団地６７番１号	801-2600
	はらきた幼稚園	南庄五丁目３番１号	843-9522
	早良幼稚園	野芥八丁目３３番２３号	804-5252
	認定こども園　紅葉幼稚園	田村六丁目２１番７号	801-7916
	さわらサクラ幼稚園	四箇田団地６番１号	811-4950
	西福岡幼稚園	次郎丸二丁目２１番３３号	801-1229
	さつき幼稚園	西油山１５４番地	864-5550
西　区 （14園）	認定こども園　元岡幼稚園	元岡２７９１番地	806-2555
	周船寺幼稚園	周船寺一丁目８番６号	806-1255
	福岡いずみ幼稚園	福重一丁目４番２０号	881-1452
	ゆきぞの幼稚園	徳永４３１番２２号	806-0763
	まつばら幼稚園	今宿一丁目２５番３号	806-0220
	ときわ幼稚園	姪の浜四丁目３番１８号	881-0471
	あたごはま幼稚園	姪の浜二丁目２７番３８号	891-1741
	西陵幼稚園	拾六町四丁目２８番３号	881-6300
	のかた幼稚園	壱岐団地７５番１号	811-3585
	下山門幼稚園	下山門四丁目１６番５号	891-7421
	中村学園大学付属壱岐幼稚園	野方二丁目１４番４３号	811-6831
	周船寺第二幼稚園	北原二丁目３９番３４号	807-1277
	福岡インターナショナルアイスクール幼稚園	拾六町一丁目１５番５号	892-8155
	アソカの森幼稚園	飯氏６９５番地	807-5793

(2)　認定こども園(94園、幼稚園の再掲９園含む)　　（令和８年５月１日現在）

区　別	園　　名	所　　在　　地	電　話　番　号
東　区 (13園)	名島りすの森こども園	名島三丁目２５番１号	674-2380
	きぼうの森こども園	松島三丁目１０番２０号	260-3453
	みらいの森こども園	原田四丁目２４番５７号	624-7035
	認定こども園　リアンかしい保育園	香椎二丁目６番２０号	682-3550
	高美台保育園	高美台二丁目１８番１号	607-1327
	アイランドシティコスモス保育園	香椎照葉二丁目２番１１号	0570-00-5363
	第２アイランドシティコスモス保育園	香椎照葉二丁目２番１０号	0570-00-5363
	ストロベリーヒルズ	三苫四丁目１番１７号	605-6008
	夢の木こども園	馬出一丁目１５番２０号	643-1819
	綾杉保育園	香椎一丁目７番１号	661-3266
	認定こども園　香椎しもばる保育園	下原二丁目２２番３号	663-8876
	たんすい和白保育園	和白五丁目１５番３８号	605-7002
	まごころ保育園	馬出六丁目７番２９号	621-6989
博多区 （９園）	博多ピノキオこども園	上牟田一丁目７番１１号	433-1123
	認定こども園　清水保育園	堅粕一丁目２８番４８号	651-2165
	恵愛ソレイユ保育園	比恵町１４番１１号	433-8817
	第２どろんこ夜間保育園	住吉一丁目２番５０号	271-3343
	どろんこ保育園	住吉一丁目２番５０号	271-3343
	中比恵ソレイユガーデン保育園	博多駅東二丁目１２番３４号	260-8655
	ブライトこども園福岡東比恵	東比恵二丁目１２番３９号	475-1200
	大井保育園	大井二丁目７番１２号	621-3057
	たんすい保育園	諸岡一丁目１９番５号	575-6005
中央区 （７園、幼稚園の再掲１園）	汀幼稚園	荒戸二丁目５番１１号	761-0470
	認定こども園　舞鶴保育園	長浜一丁目２番１５号	771-7884
	笹丘コスモス保育園	笹丘三丁目２番１号	0570-00-5363
	認定こども園　サンタランド	地行三丁目２６番５５号	707-2733
	桜坂保育園	警固三丁目６番４５号	751-1515
	クレシュ六本松	草香江二丁目１５番５号	716-7080
	平和ちとせこども園	平和五丁目１３番３号	531-3866
南　区 (14園、幼稚園の再掲１園)	福岡海星女子学院認定こども園マリア幼稚園	老司五丁目２８番２号	565-0951
	認定こども園　リアンかしはら保育園	柏原六丁目２番６号	564-3770
	寺塚コスモス保育園	寺塚一丁目２１番２０号	0570-00-5363
	花畑ガーデン保育園	花畑四丁目９番２５号	981-1704
	中尾ガーデン保育園	中尾一丁目６番１６号	985-7387
	大橋コスモス保育園	塩原二丁目１０番１０号	0570-00-5363
	いちざきみんなの家	市崎一丁目１５番１１号	406-8215
	えんぜる認定こども園	三宅二丁目３３番２４号	512-6483
	保育所型認定こども園　こどもの森保育園　こもれびテラス的場	的場二丁目１９番１５号	586-7787
	まことながずみこども園	長住七丁目７番２６号	403-0306
	認定こども園　みやけ保育園	向新町二丁目１６番１号	565-6455
	こどもの園純真	南大橋一丁目５番１３号	553-5593
	認定こども園　サンタリーベ	野間四丁目４番１６号	710-2730
	のためこども園	野多目二丁目１６番３５号	408-4090
城南区 （８園）	ひかりの森こども園	七隈七丁目３１番９号	872-1010
	認定こども園　仁愛保育園	樋井川一丁目４番１８号	871-4402
	さくら保育園	神松寺三丁目５番１号	863-7363
	南片江こども園	南片江六丁目１１番７号	407-1885
	認定こども園　白百合保育園	別府六丁目２番４５号	821-0280
	認定こども園　信明保育園	七隈八丁目１５番１２号	863-3366
	田島保育園	田島二丁目２８番１０号	822-4568
	認定こども園　若草保育園	茶山六丁目１番３２号	851-5345

区　別	園　　名	所　　在　　地	電 話 番 号
早良区 (20園、幼稚園の再掲４園)	エミールこども園	有田八丁目１４番２２号	801-1911
	ゆりか認定こども園	原四丁目１５番１号	851-9863
	野芥ガーデン保育園	野芥一丁目１６番３１号	834-2470
	アン・シャーリーこども園	有田五丁目１番１１号	866-2257
	飯原保育園	原七丁目２３番１７号	874-7522
	認定こども園　ひなたの風	城西三丁目１３番１０号	834-3775
	室見ガーデン保育園	小田部七丁目１６番１４号	983-6401
	有住コスモス保育園	有田七丁目１８番８号	0570-00-5363
	さつき幼稚園	西油山１５４番地	864-5550
	認定こども園　しかた保育園	四箇田団地５５４、５８５の１	811-3808
	みんげきこども園	飯倉四丁目８番２３号	407-8261
	認定こども園　若杉保育園	干隈五丁目２３番２７号	861-0470
	認定こども園　わきやま保育園	脇山１２６６番１０号	804-4000
	認定こども園　うちの保育園	内野八丁目６番２７号	804-2935
	認定こども園　おおはら幼稚園	原団地１番１号	831-4157
	認定こども園　たぐま幼稚園	次郎丸四丁目８番１２号	861-2156
	認定こども園　ナーサリーライムスクール	田村六丁目２１番７号	801-4302
	原中央保育園	荒江三丁目１９番７号	822-5057
	原西保育園	小田部三丁目２４番１５号	822-1567
	認定こども園　紅葉幼稚園	田村六丁目２１番７号	801-7916
西　区 (23園、幼稚園の再掲３園)	ゆめの森こども園	橋本二丁目２５番１９号	812-0861
	周船寺もみじの森こども園	大字飯氏８６８番地１号	805-5511
	認定こども園　ひかりと風とサクランボ	今宿町２０５番地	805-7100
	観音寺保育園	愛宕二丁目１９番２号	881-2210
	太郎保育園	太郎丸二丁目７番３号	806-2821
	認定こども園　ひまわり保育園	下山門団地７番２号	881-7324
	認定こども園　成徳保育園	大町団地１１３５番地６号	891-7908
	認定こども園　飯盛保育園	飯盛５３４番地	811-1309
	いき保育園	戸切二丁目１３番９号	811-1258
	いと菜の花保育園	女原北８番５号	0570-00-5363
	伊都コスモス保育園	西都二丁目２０番１０号	0570-00-5363
	姪浜もみじの森こども園	愛宕南二丁目３番６号	891-5661
	福岡いずみ幼稚園	福重一丁目４番２０号	881-1452
	認定こども園　いまづシャラ園	今津４８０７－８－１	806-7050
	さいとみんなの家	西都二丁目１３番８号	707-6380
	認定こども園　しもやまと保育園	下山門三丁目１０番１号	885-4611
	認定こども園　第２ひまわり保育園	生の松原二丁目１２番６号	891-5040
	認定こども園　元岡きらきら保育園	学園通二丁目２０６３番１号	805-6767
	認定こども園　あゆみらい保育園	拾六町一丁目２０番１号	881-2010
	周船寺幼稚園	周船寺一丁目８番６号	806-1255
	認定こども園　地球の子ゆたか保育園	大字徳永３６０番３号	407-1588
	にじのはな保育園	田尻東一丁目１０番１３号	834-5622
	認定こども園　元岡幼稚園	大字元岡２７９１番	806-2555

３　教育機関等一覧

（令和８年５月１日現在）

名称	所在地	電話番号	設置年月日
発達教育センター	中央区地行浜二丁目１番６号	845-0015	平 7. 4. 1
第１給食センター	博多区東平尾一丁目９番１６号	611-6851	平26. 9. 1
第２給食センター	東区香椎浜ふ頭二丁目５番５号	682-7084	平28. 8.30
第３給食センター	西区今宿青木１０４２番８８号	400-0021	令 2.10.15
雁の巣児童体育館	東区雁の巣一丁目６番２０号	606-3457	昭46. 4. 1
背振少年自然の家	早良区板屋５３０番地	804-6771	昭59. 7.21
海の中道青少年海の家	東区大字西戸崎　海の中道海浜公園内	603-2700	平元. 7.29
市民センター			
東市民センター	東区千早四丁目２１番４５号	674-3981	昭52. 7.16
博多市民センター	博多区山王一丁目１３番１０号	472-5991	昭58. 8.26
中央市民センター	中央区赤坂二丁目５番８号	714-5521	昭55. 3.23
南市民センター	南区塩原二丁目８番２号	561-2981	昭53. 7.22
城南市民センター	城南区片江五丁目３番２５号	862-2141	昭59. 8. 1
早良市民センター	早良区百道二丁目２番１号	831-2321	昭57. 2.14
西市民センター	西区内浜一丁目４番３９号	891-7021	昭63. 3. 1
埋蔵文化財センター	博多区井相田二丁目１番９４号	571-2921	昭57. 2.22
教育センター	早良区百道三丁目１０番１号	822-2801	昭24. 5. 7
総合図書館	早良区百道浜三丁目７番１号	852-0600	平 8. 4. 1
東図書館	東区千早四丁目２１番４５号	674-3982	平 8. 4. 1
和白図書館	東区和白丘一丁目２２番２７号	608-8490	平15. 8. 9
博多図書館	博多区山王一丁目１３番１０号	472-5996	平 8. 4. 1
博多南図書館	博多区南本町二丁目３番１号	502-8580	平12. 1.30
中央図書館	中央区赤坂二丁目５番８号	751-9534	平 8. 4. 1
南図書館	南区塩原二丁目８番２号	561-3048	平 8. 4. 1
城南図書館	城南区片江五丁目３番２５号	864-4823	平 8. 4. 1
早良図書館	早良区百道二丁目２番１号	845-8835	平 8. 4. 1
早良南図書館	早良区四箇田団地９番１号	400-0690	令 3.11. 6
西図書館	西区内浜一丁目４番３９号	884-3874	平 8. 4. 1
西部図書館	西区西都二丁目１番１号	807-8802	平22. 7.20
美術館	中央区大濠公園１番６号	714-6051	昭54.11. 3
アジア美術館	博多区下川端町３番１号	263-1100	平11. 1. 1
博物館	早良区百道浜三丁目１番１号	845-5011	平 2.10.18
福岡市総合体育館	東区香椎照葉六丁目１番１号	410-0314	平30.12. 1
福岡市民体育館	博多区東公園８番２号	641-9135	昭47. 4. 1
福岡市ももち体育館	早良区百道二丁目３番１５号	851-4550	昭48. 9.28
地区体育施設			
東体育館	東区香住ケ丘一丁目１２番２号	672-0301	昭55.12.21
博多体育館	博多区山王一丁目９番５号	481-0301	昭59. 3. 3
中央体育館	中央区赤坂二丁目５番５号	741-0301	昭58. 2.13
南体育館	南区塩原二丁目８番１号	552-0301	昭57. 3. 6
城南体育館	城南区別府六丁目１４番２２号	851-0303	昭63. 8. 6
早良体育館	早良区四箇六丁目１７番６号	812-0301	平 7. 7.15
西体育館	西区拾六町一丁目１３番３５号	882-5144	平 6. 1.29
東市民プール	東区名島二丁目４２番１号	662-6111	昭50. 8. 9
博多市民プール	博多区東那珂一丁目９番１５号	473-8855	昭54. 7. 7
中央市民プール	中央区西公園１４番３０号	712-8090	昭50. 2. 8
南市民プール	南区三宅三丁目３１番１号	561-6011	昭51. 3.20
城南市民プール	城南区片江一丁目５番１号	863-7098	平 6. 1.21
早良市民プール	早良区曙一丁目３番１５号	841-1080	昭49. 2.17
総合西市民プール	西区西の丘一丁目４番１号	885-0124	平 7. 7. 9
今宿野外活動センター	西区今宿上ノ原２１７番地２	806-3114	昭47.11.26
社領スポーツ広場	東区社領二丁目１７番２０号	672-0301	平17. 7. 1

4　公民館（150館）

（令和８年４月１日現在）

館番	館　名	所在地		電話番号	開設年月日	館舎面積
東区（30館）						
14	馬出	東区馬出一丁目12-33	〒 812-0054	651-0605	S28.4.1	496㎡
20	筥松	東区筥松一丁目21-1	〒 812-0061	621-4999	S28.1.1	496
28	箱崎	東区箱崎一丁目27-17	〒 812-0053	651-7708	S27.1.1	496
40	香椎	東区香椎駅前二丁目17-19	〒 813-0013	661-3258	S30.2.1	496
41	多々良	東区多々良一丁目56-2	〒 813-0033	691-3767	S30.2.1	496
42	名島	東区名島二丁目42-26	〒 813-0043	681-0155	S31.4.1	496
48	和白	東区和白三丁目28-31	〒 811-0202	606-3001	S35.8.27	496
53	香住丘	東区香住ヶ丘一丁目27-1	〒 813-0003	681-4704	S37.4.1	496
61	千早	東区千早六丁目2-21-101	〒 813-0044	661-3240	S40.7.12	337
67	志賀	東区大字志賀島736-60	〒 811-0323	603-6706	S46.4.5	496
	勝馬分館	東区大字勝馬1587-2	〒 811-0325		H13.4.1	329
68	西戸崎	東区西戸崎五丁目1-1	〒 811-0321	603-0201	S46.4.5	496
78	若宮	東区若宮三丁目27-1	〒 813-0036	662-5454	S51.4.1	496
80	美和台	東区美和台一丁目3-12	〒 811-0212	607-0294	S52.4.1	496
81	城浜	東区城浜団地32-2	〒 813-0045	671-6181	S52.4.1	496
83	和白東	東区高美台二丁目1-8	〒 811-0215	607-2442	S53.4.1	496
85	八田	東区八田二丁目16-20	〒 813-0031	681-5371	S53.12.1	496
97	舞松原	東区水谷一丁目7-13	〒 813-0041	672-2199	S56.4.1	496
102	香椎東	東区香椎台一丁目3-7	〒 813-0014	672-7098	S57.4.1	496
115	奈多	東区奈多二丁目14-2	〒 811-0204	607-4697	S60.4.1	496
116	青葉	東区青葉三丁目10-8	〒 813-0025	691-9799	S60.4.1	496
122	香椎浜	東区香椎浜二丁目4-31	〒 813-0016	682-1697	S62.4.1	496
124	香椎下原	東区下原一丁目4-2	〒 813-0002	682-6334	H1.4.1	496
128	東箱崎	東区箱崎七丁目16-23	〒 812-0053	632-4127	H3.4.1	496
129	千早西	東区千早三丁目3-3	〒 813-0044	683-3933	H4.4.1	496
138	松島	東区松島三丁目15-11	〒 813-0062	612-1533	H8.4.1	496
140	香陵	東区香椎浜一丁目8-7	〒 813-0016	663-4485	H8.10.29	496
142	三苫	東区三苫三丁目3-41	〒 811-0201	606-4511	H11.4.1	496
145	照葉	東区香椎照葉二丁目2-12	〒 813-0017	674-3101	H21.7.1	496
148	照葉北	東区香椎照葉七丁目5-2	〒 813-0017	410-6071	R2.10.1	496
150	照葉はばたき	東区香椎照葉六丁目5-45	〒 813-0017	405-1535	R7.3.1	496
博多区（22館）						
3	冷泉	博多区上川端町6-25	〒 812-0026	281-2245	S29.4.1	496
4	奈良屋	博多区奈良屋町1-6	〒 812-0023	271-4461	S29.4.1	652
5	御供所	博多区上呉服町2-27	〒 812-0036	281-5512	S29.4.1	496
6	大浜	博多区下呉服町10-15	〒 812-0034	281-0343	S28.4.1	496
11	住吉	博多区住吉五丁目6-1	〒 812-0018	441-6955	S29.4.1	496
13	東光	博多区東比恵二丁目21-22	〒 812-0007	411-7792	S28.1.1	496
15	千代	博多区千代一丁目20-11	〒 812-0044	651-0066	S28.4.1	496
18	吉塚	博多区吉塚二丁目21-15	〒 812-0041	611-6320	S28.4.1	496
19	東住吉	博多区博多駅前四丁目11-12	〒 812-0011	431-1271	S27.4.1	496
24	席田	博多区空港前三丁目19-32	〒 812-0002	611-0315	S27.1.1	496
27	月隈	博多区月隈三丁目27-3	〒 812-0858	503-4106	S28.1.1	496
43	那珂	博多区那珂三丁目10-2	〒 812-0893	471-9329	S35.4.1	496
44	板付	博多区麦野一丁目29-12	〒 812-0882	581-1117	S30.4.5	496
45	那珂南	博多区元町三丁目1-2	〒 812-0877	571-4319	S35.4.1	496
52	春住	博多区博多駅南三丁目11-30	〒 812-0016	441-6269	S37.3.29	496
71	東吉塚	博多区吉塚六丁目6-10	〒 812-0041	611-2001	S49.4.1	496
87	板付北	博多区板付二丁目2-70	〒 812-0888	574-0651	S54.2.1	496
88	東月隈	博多区東月隈四丁目3-1	〒 812-0854	504-1360	S54.4.1	496
89	美野島	博多区美野島二丁目6-11	〒 812-0017	474-0070	S54.4.1	496
113	三筑	博多区三筑二丁目9-4	〒 812-0887	573-4664	S59.4.1	496
125	弥生	博多区那珂四丁目9-2	〒 812-0893	451-4534	H1.4.1	496
144	堅粕	博多区博多駅東一丁目8-2	〒 812-0013	473-6010	H16.8.1	496

館番	館　名	所在地		電話番号	開設年月日	館舎面積
中央区（14館）						
1	大名	中央区大名二丁目6-53	〒 810-0041	751-4212	S29.4.1	519
2	当仁	中央区唐人町三丁目1-11	〒 810-0063	751-6824	S28.4.1	496
7	簀子	中央区大手門三丁目10-7	〒 810-0074	712-2268	S29.4.1	496
8	警固	中央区警固一丁目11-2	〒 810-0023	731-4655	S29.4.1	496
10	春吉	中央区春吉一丁目17-13	〒 810-0003	761-2528	S29.4.1	496
12	草ヶ江	中央区六本松一丁目11-1	〒 810-0044	741-7998	S28.4.1	496
21	平尾	中央区平尾三丁目29-23	〒 810-0014	531-6885	S29.4.1	496
22	高宮	中央区大宮二丁目2-11	〒 810-0013	531-0029	S29.4.1	496
37	赤坂	中央区赤坂二丁目5-126	〒 810-0042	751-4691	S29.9.1	496
55	笹丘	中央区笹丘一丁目13-41	〒 810-0034	761-7375	S37.4.1	496
57	舞鶴	中央区舞鶴二丁目6-1	〒 810-0073	771-3541	S39.1.15	496
60	南当仁	中央区今川二丁目8-29	〒 810-0054	741-9053	S40.4.12	496
63	小笹	中央区平和五丁目13-75	〒 810-0016	531-9428	S42.5.4	496
98	福浜	中央区福浜一丁目2-2	〒 810-0066	761-8060	S56.4.1	496
南区（25館）						
25	三宅	南区三宅二丁目25-42	〒 811-1344	541-1088	S27.1.1	496
26	花畑	南区花畑三丁目35-6	〒 811-1356	566-9061	S27.1.1	496
33	玉川	南区向野一丁目3-23	〒 815-0035	541-3212	S28.1.1	496
36	西高宮	南区平和一丁目7-16	〒 815-0071	531-4767	S29.4.1	496
38	曰佐	南区的場二丁目17-6	〒 811-1314	591-5542	S29.10.1	496
46	大楠	南区大楠一丁目22-13	〒 815-0082	521-7044	S33.4.1	496
54	若久	南区若久一丁目11-20	〒 815-0042	541-4200	S37.4.1	496
58	宮竹	南区井尻二丁目4-17	〒 811-1302	581-5050	S39.7.15	496
65	長住	南区西長住二丁目4-3	〒 811-1361	551-4189	S44.4.1	496
66	老司	南区老司三丁目1-8	〒 811-1346	565-1700	S45.4.1	496
69	西花畑	南区花畑四丁目6-8	〒 811-1356	567-0072	S48.6.25	496
73	筑紫丘	南区筑紫丘二丁目22-15	〒 815-0036	512-6477	S49.10.15	496
75	長丘	南区長丘二丁目22-23	〒 815-0075	511-0456	S50.4.1	496
79	弥永	南区弥永団地30-1	〒 811-1322	582-4645	S51.4.1	496
82	東花畑	南区屋形原二丁目8-3	〒 811-1351	511-6655	S52.4.1	496
103	弥永西	南区弥永二丁目14-1	〒 811-1323	582-9620	S57.4.1	496
104	東若久	南区若久六丁目30-12	〒 815-0042	541-9548	S57.4.1	496
109	鶴田	南区鶴田四丁目51-30	〒 811-1352	566-2593	S58.4.1	496
117	野多目	南区野多目二丁目8-12	〒 811-1347	565-4223	S60.4.1	496
120	高木	南区高木三丁目11-7	〒 815-0004	585-1332	S61.12.1	496
123	大池	南区寺塚二丁目9-11	〒 815-0074	511-4231	S63.4.1	496
126	塩原	南区塩原一丁目27-2	〒 815-0032	541-0547	H2.4.1	496
130	柏原	南区柏原四丁目19-6	〒 811-1353	565-8978	H4.4.1	496
135	西長住	南区西長住一丁目10-1	〒 811-1361	551-3515	H5.9.1	496
141	横手	南区横手四丁目24-9	〒 811-1311	572-5661	H10.4.1	496
城南区（11館）						
17	長尾	城南区長尾一丁目3-14	〒 814-0123	871-5619	S27.4.1	496
35	鳥飼	城南区鳥飼四丁目13-1	〒 814-0103	821-5227	S28.4.1	496
59	別府	城南区別府一丁目15-19	〒 814-0104	821-7489	S39.7.15	496
64	七隈	城南区七隈四丁目26-38	〒 814-0133	871-6905	S44.4.1	496
76	堤	城南区樋井川七丁目21-1	〒 814-0153	863-5533	S50.4.1	496
90	城南	城南区茶山六丁目21-5	〒 814-0111	843-9418	S54.9.1	496
95	片江	城南区片江五丁目35-20	〒 814-0142	871-1219	S55.8.11	496
96	金山	城南区友丘六丁目9-36	〒 814-0112	801-2830	S55.10.1	496
99	南片江	城南区南片江一丁目24-21	〒 814-0143	862-2453	S56.4.1	496
110	田島	城南区田島三丁目7-29	〒 814-0113	822-0307	S58.4.1	496
118	堤丘	城南区堤一丁目20-2	〒 814-0151	861-4821	S61.4.1	496

館番	館　名	所在地		電話番号	開設年月日	館舎面積
早良区（24館）						
9	西新	早良区西新二丁目10-10	〒 814-0002	851-9925	S28.4.1	496
16	原	早良区原二丁目5-2	〒 814-0022	821-6414	S27.1.1	496
34	高取	早良区高取一丁目14-13	〒 814-0011	851-9705	S28.4.1	496
39	田隈	早良区野芥二丁目8-1	〒 814-0171	863-7151	S29.10.1	496
56	室見	早良区室見三丁目2-18	〒 814-0015	843-9577	S38.5.1	496
62	百道	早良区百道三丁目1-2	〒 814-0006	831-2401	S41.5.1	496
70	原西	早良区原五丁目12-16	〒 814-0022	851-7683	S48.6.1	496
74	早良	早良区早良二丁目9-33	〒 811-1122	804-2420	S50.3.1	1,064
84	原北	早良区南庄四丁目4-11	〒 814-0031	831-7556	S53.4.1	496
86	飯倉	早良区飯倉七丁目29-27	〒 814-0161	864-0818	S54.1.4	496
92	賀茂	早良区賀茂一丁目33-7	〒 814-0164	863-7741	S55.4.1	496
93	有田	早良区次郎丸一丁目1-6	〒 814-0165	861-7679	S55.4.1	496
100	野芥	早良区野芥七丁目23-20	〒 814-0171	862-3119	S56.4.1	496
105	大原	早良区原四丁目8-13	〒 814-0022	822-0428	S57.4.1	496
106	四箇田	早良区四箇六丁目5-26	〒 811-1103	811-2180	S57.4.1	496
114	飯原	早良区原七丁目3-21	〒 814-0022	864-4545	S59.4.1	496
121	有住	早良区室住団地4-1	〒 814-0035	822-0352	S61.12.1	496
127	田村	早良区田村三丁目24-22	〒 814-0175	862-7349	H2.9.1	496
131	内野	早良区内野八丁目1-5	〒 811-1123	804-8512	H4.4.1	331
	曲渕分館	早良区大字曲渕700-1	〒 811-1133		H21.4.1	324
133	飯倉中央	早良区飯倉三丁目19-5	〒 814-0161	851-3565	H4.9.1	496
134	小田部	早良区小田部六丁目6-10	〒 814-0032	851-8846	H5.4.1	496
136	入部	早良区東入部二丁目14-14	〒 811-1102	803-1247	H5.9.1	496
137	脇山	早良区大字脇山2474-4	〒 811-1111	803-1815	H6.9.14	496
139	百道浜	早良区百道浜三丁目6-24	〒 814-0001	845-5859	H8.4.1	496
西区（24館）						
23	姪浜	西区姪の浜二丁目10-6	〒 819-0002	881-0384	S28.1.1	496
29	壱岐	西区拾六町団地1-14	〒 819-0045	881-1093	S27.1.1	496
30	能古	西区能古726-9	〒 819-0012	881-0873	S28.4.1	496
31	玄洋	西区横浜一丁目2-1	〒 819-0166	806-9811	S27.1.1	496
32	今津	西区今津2131-3	〒 819-0165	806-2021	S27.1.1	496
47	金武	西区大字金武2136-1	〒 819-0035	812-1967	S35.8.27	496
49	周船寺	西区大字飯氏876-1	〒 819-0371	806-1371	S36.4.1	496
50	元岡	西区太郎丸一丁目3-41	〒 819-0384	806-5132	S36.4.1	496
51	北崎	西区大字宮浦1978-1	〒 819-0201	809-1733	S36.4.1	496
72	玄界	西区大字玄界島21-3	〒 819-0205	809-1243	S49.4.1	496
77	下山門	西区下山門四丁目14-38	〒 819-0052	881-8383	S50.4.1	496
91	内浜	西区小戸四丁目11-32	〒 819-0001	882-1371	S54.9.1	496
94	壱岐南	西区戸切二丁目18-20	〒 819-0032	812-0686	S55.4.1	496
101	西陵	西区上山門三丁目5-1	〒 819-0054	891-6342	S56.5.11	496
107	壱岐東	西区橋本一丁目14-2	〒 819-0031	811-2185	S57.4.1	496
108	石丸	西区石丸二丁目5-10	〒 819-0025	881-4983	S57.9.1	496
111	福重	西区福重四丁目25-2	〒 819-0022	882-1839	S58.4.1	496
112	愛宕	西区愛宕四丁目11-11	〒 819-0015	891-7962	S58.11.1	496
119	城原	西区上山門一丁目26-12	〒 819-0054	891-7966	S61.4.1	496
132	今宿	西区今宿青木138-1	〒 819-0162	806-0242	H4.4.1	496
143	愛宕浜	西区愛宕浜四丁目41-10	〒 819-0013	885-4551	H11.4.1	496
	小呂分館	西区大字小呂島61-1	〒 819-0011	805-2013	H2.4.1	282
146	姪北	西区姪の浜二丁目20-28	〒 819-0002	895-1075	H22.4.1	496
147	西都	西区女原北12-11	〒 819-0377	834-2352	H29.4.1	496
149	西都北	西区北原二丁目34-16	〒 819-0379	707-7746	R6.3.31	496

５　空港周辺共同利用会館（17館）

（令和８年４月１日現在）

館番	館　名	所在地		電話番号	開設年月日	館舎面積
1	席田	博多区東平尾二丁目20-1	〒　812-0853	611-0051	S46.4.1	610㎡
2	月隈	博多区月隈六丁目23-17	〒　812-0858	504-1624	S51.4.1	657
3	筥松	東区原田二丁目8-25	〒　812-0063	611-8522	S52.4.1	591
4	箱崎	東区箱崎一丁目36-41	〒　812-0053	641-0525	S53.4.1	574
5	東吉塚	博多区吉塚本町10-24	〒　812-0046	622-5541	S53.4.1	560
6	吉塚	博多区吉塚五丁目15-3	〒　812-0041	611-5755	S54.5.1	560
7	板付	博多区麦野一丁目1-5	〒　812-0882	573-4687	S54.4.16	550
8	那珂南	博多区光丘町一丁目2-1	〒　812-0874	572-1153	S54.5.15	569
9	東月隈	博多区浦田一丁目20-1	〒　812-0861	503-5539	S55.4.15	547
10	東光	博多区東光二丁目20-10	〒　812-0008	473-7432	S55.4.15	564
11	板付北	博多区板付二丁目13-25	〒　812-0888	582-3750	S55.10.1	561
12	那珂	博多区東那珂一丁目13-9	〒　812-0892	473-7763	S56.7.15	559
13	馬出	東区馬出五丁目34-14	〒　812-0054	641-5571	S57.3.1	562
14	三筑	博多区諸岡六丁目31-31	〒　812-0894	572-8005	S59.4.1	560
15	弥生	博多区諸岡一丁目18-11	〒　812-0894	573-0271	H 4.4.1	572
16	東箱崎	東区箱崎七丁目3-4	〒　812-0053	631-2027	H 6.4.1	572
17	松島	東区松島一丁目10-17	〒　812-0062	622-7811	H 7.4.1	590

6　附属機関

(1)　福岡市立学校通学区域審議会

（令和８年７月 31 日現在）

設置目的等	教育委員会の諮問に応じ、市立小学校及び中学校に就学する児童及び生徒の通学区域の設定又は改廃に関する事項を調査審議し、これに関し必要と認める事項を答申します。
設置年月日	昭和 31 年４月１日
根拠法令等	福岡市附属機関設置に関する条例、福岡市立学校通学区域審議会の組織等に関する規則
主管課	学校計画第２課
任期	２年
構成員・名簿 現員　19 名	＜市議会議員＞　とみなが ひろゆき　田原　香代子　井上　まい　綿貫　康代　川口　浩 ＜学識経験者＞　髙妻　紳二郎　稲葉　美由紀　西山　久子　大野　城児　森川　裕史 吉田　直信　中野　晋一郎 ＜父母教師会会員＞　榊　淳英　勝野　晃　白川　義人 ＜学校長＞　篠原　裕子　星子　真由美 ＜教員＞　小森　新吾 ＜市職員＞　平田　成人

(2)　福岡市立学校給食センター運営委員会

（令和８年８月１日現在）

設置目的等	学校給食センターの運営に関し、必要な事項を調査審議します。
設置年月日	昭和 48 年３月１日
根拠法令等	福岡市立学校給食センター条例
主管課	給食運営課
任期	２年
構成員・名簿 現員　11 名	＜中学校及び特別支援学校長・教職員＞　三田　里恵　松本　学　中畑　真理　竹原　せいあ ＜中学校及び特別支援学校父母教師会代表者＞　宮本　亜衣　安部　いづみ ＜学識経験者＞　石﨑　義人　山口　祐史　笠原　優子　森口　里利子 ＜教育委員会事務局職員＞　野原　健

(3)　福岡空港関係教育対策協議会

（令和８年 10 月８日現在）

設置目的等	教育委員会の諮問に応じ、福岡空港周辺の市立学校における騒音による教育の阻害に対して調査審議を行い、対策を協議します。
設置年月日	昭和 34 年４月１日
根拠法令等	福岡市附属機関設置に関する条例、福岡空港関係教育対策協議会規則
主管課	教育環境課
任期	２年
構成員・名簿 現員　12 名	＜市議会議員＞　尾花　康広　綿貫　康代　川口　浩 ＜市長補助機関職員＞　野見山　聡　山中　栄美 ＜教育委員会＞　原　志津子　小川　直也 ＜関係学校長＞　志方　納子　浅見　宏亮 ＜関係学校父母教師会役員＞　安河内　裕美　中村　美菜子 ＜学識経験者＞　大石　京子

(4) 福岡市教科用図書調査研究委員会

（令和８年４月１日現在）

設置目的等	教育委員会の諮問に応じ、教科用図書の採択について調査研究を行い、答申します。
設置年月日	昭和 28 年５月 13 日
根拠法令等	福岡市附属機関設置に関する条例、福岡市教科用図書調査研究委員会規則
主　管　課	小学校教育課、中学校教育課
任　　期	１年
構成員・名簿 現員０名	教科用図書の採択の年に委嘱（次回令和９年度）

(5) 福岡市社会教育委員

（令和８年９月１日現在）

設置目的等	社会教育に関する諸計画の立案、教育委員会の諮問への答申、研究調査などを行います。
設置年月日	昭和 25 年４月 18 日
根拠法令等	社会教育法、福岡市社会教育委員条例
主管課	生涯学習課
任期	２年
構成員・名簿 現員 20 名	＜学校教育関係者＞　内田　智佳子　副島　裕妃子 ＜社会教育関係者＞　中島　瑞恵　榊　淳英　長　ハル　南　幸盛　田中　真理子 片山　紅早　齋藤　光子　上村　篤子　下山　いわ子 ＜家庭教育関係者＞　西本　典子　前田　春菜 ＜学識経験者＞　田原　香代子　坂口　よしまさ　古市　勝也　菊川　律子　野依　智子 伊藤　文一　小田原　耕一郎

(6) 福岡市いじめ防止対策推進委員会

（令和８年７月 15 日現在）

設置目的等	教育委員会の諮問に応じ、いじめの防止等のための有効な対策等について、調査審議し、答申します。
設置年月日	平成 26 年７月１日
根拠法令等	いじめ防止対策推進法、福岡市いじめ防止対策推進委員会条例
主管課	安全・安心推進課
任期	２年
構成員・名簿 現員７名	＜学識経験者＞　西山　久子　奥村　賢一 ＜心理・福祉関係者＞　星出　智絵　高口　恵美　松田　幸 ＜弁　　護　　士＞　井上　敦史 ＜医　　師＞　早渕　雅樹

(7) 市民センター運営審議会

（令和８年９月１日現在）

設置目的等	館長の諮問に応じ、市民センターにおける各種の事業の企画・実施につき調査審議します。
設置年月日	昭和 52 年７月 16 日
根拠法令等	社会教育法、福岡市立市民センター条例
主管課	生涯学習課
任期	２年

	センター（現員）	東（8）	博多（8）	中央（0）	南（7）	城南（8）	早良（7）	西（7）
構成員・名簿	＜学校教育関係者＞	青木　理枝 安部　裕子	振原　直子 榊　隆二	※改修に伴い、令和７年10 月から休館	物部　裕幸 平山 久仁子	石田　良一 児玉　聡	城田　佳弘 山田　圭三	北田　尚雄 波多江美奈子
	＜社会教育関係者＞	箱嶋　次雄 山下 喜久男 板倉 由美子 加藤　純子	森　　任一 小林　正一 坂口 千栄子 松本　文彦		増田　信夫 下澤　伸介 河野　美雪	山﨑　龍二 金子　雅英 大西 みつ子 石橋　玲	蓮井　孝夫 中村 名菜代 越智　廣己	植田　幸二 袈裟丸 悦子 稗田　康子
	＜家庭教育関係者＞	松重　豊子	梶原　裕美		森田 眞由美	中村　理恵	平野　説子	小野 なが子
	＜学 識 経 験 者＞	田村　典明	古市　勝也		中村　洋子	添田　祥史	冨永　明子	伊藤　文一

(8) 福岡市文化財保護審議会

（令和８年７月１日現在）

設置目的等	文化財の保存及び活用に関し、教育委員会の諮問に応ずるとともに、必要な調査及び研究を行います。
設置年月日	昭和 48 年４月１日
根拠法令等	福岡市文化財保護条例
主管課	文化財活用課
任期	２年
構成員・名簿 現員　16 名	＜学 識 経 験 者＞　荒木　和憲　井手　誠之輔　岩﨑　義則　桑原　義博　佐藤　佳代 末松　剛　須永　敬　髙橋　昌彦　福田　千鶴　藤岡　健太郎 松岡　高弘　三島　美佐子　箕浦　永子　宮岡　真央子　宮本　一夫 山下　永子

(9) 福岡市総合図書館運営審議会

（令和８年７月 10 日現在）

設置目的等	図書館の運営に関し、館長の諮問に応じるとともに、館長に対して意見を述べます。				
設置年月日	平成８年４月１日				
根拠法令等	福岡市総合図書館条例				
主管課	総合図書館運営課				
任期	２年				
構成員・名簿 現員 14 名	＜学校教育関係者＞	大田　豊美	氏家　修	星子　奈美	
	＜社会教育関係者＞	倚松　満	貞包　俊晴	上村　篤子	
	＜家庭教育関係者＞	堀　真奈子			
	＜読書活動団体関係者＞	西　聡子			
	＜学 識 経 験 者＞	矢崎　美香	梅野　智美	藤村　興晴	脇山　真治
	＜本 市 の 住 民＞	田中　隆世	藤本　久美		

(10) **福岡市美術館協議会**　　（令和８年４月１日現在）

設置目的等	美術館の運営に関し、館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べます。
設置年月日	昭和54年11月３日
根拠法令等	博物館法、福岡市美術館条例、福岡アジア美術館条例
主管課	美術館事業管理課
任期	２年
構成員・名簿 現員　13名	＜学校教育関係者＞　西田　淳一　萬　順 ＜社会教育関係者＞　大野　城児　野口　尚美　松尾　さち ＜家庭教育関係者＞　重永　侑紀 ＜学 識 経 験 者＞　李　善姫　植野　かおり　浦上　雅司　黒岩　俊哉 千　相哲　瀬戸口　朗子　山内　泰

(11) **福岡市博物館協議会**　　（令和８年４月１日現在）

設置目的等	博物館の運営に関し、館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べます。
設置年月日	平成２年10月18日
根拠法令等	博物館法、福岡市博物館条例
主管課	博物館運営課
任期	２年
構成員・名簿 現員　16名	＜学 校 教 育 関 係 者＞　石田　良一　大谷　邦彦 ＜社 会 教 育 関 係 者＞　板倉　由美子　山田　保彦 ＜家 庭 教 育 関 係 者＞　白川　義人 ＜学　識　経　験　者＞　岩永　真一　大田　精一郎　岡　幸江　岡部　由紀子　サーズ恵美子 嶋田　絵里　菅　優子　富田　淳　溝口　孝司　山下　永子 レオナルド・マローネ

7　外郭団体等

（令和８年４月１日現在）

名　　称	代　表　者	所　　在　　地	所　　管
一般財団法人　福岡市教職員互助会	理事長　下川　祥二	早良区百道三丁目10番１号	職員課
公益財団法人　福岡市教育振興会	会　長　小川　直也	中央区天神一丁目８番１号	教育支援課
公益財団法人　福岡市学校給食公社	理事長　石井　隆之	早良区百道三丁目10番１号	給食運営課

8　ＰＴＡ

（令和８年５月１日現在）

名　　称	代 表 者	所　　在　　地	会 員 数	主 な 事 業
福岡市ＰＴＡ協議会	榊　淳英	中央区舞鶴一丁目４番13号 （福岡市舞鶴庁舎６階）	人 約102,000	・研修活動 ・広報活動 ・環境づくり活動
福岡市立特別支援学校 ＰＴＡ連合会	立木　春香	南区若久二丁目３番13号 （若久特別支援学校内）	約　3,000	
福岡市立高等学校 ＰＴＡ連合会	宮崎　あかね	西区愛宕浜三丁目２番２号 （福岡女子高等学校内）	約　3,600	

9　市立高等学校の通学区域

（令和８年度）

学　校	学　科	通 学 区 域	定　員
福　翔	総 合 学 科	県内全域	320
博 多 工 業	機　械	県内全域	80
	自動車工学	県内全域	40
	インテリア	県内全域	40
	建　築	県内全域	40
	画 像 工 学	県内全域	40
	電 子 情 報	県内全域	40
福 岡 女 子	普　通	福岡市　糸島市	120
	生 活 情 報	県内全域	40
	食 物 調 理	県内全域	40
	服飾デザイン	県内全域	40
	保 育 福 祉	県内全域	40
	国 際 教 養	県内全域	40
福 岡 西 陵	普　通	福岡市　糸島市	320

10　福岡市内指定・登録文化財一覧

指定文化財

(1)　建造物

区分	名称	員数	指定年月日
国	筥崎宮楼門 ３間１戸楼門入母屋造檜皮葺	1　棟	明治 35 年 4 月 17 日
国	筥崎宮本殿 ９間社流造檜皮葺 附棟札 11 枚 上棟天正十五年九月吉日の記があるもの１ 上葺再興寛永十六己卯歳八月如意日の記があるもの１ 上葺再興正徳六丙申暦四月吉之天の記があるもの１ 上葺修補寛保三癸亥歳夏五月吉祥日の記があるもの１ 上葺修補宝暦七丁丑竜七月吉辰日の記があるもの１ 上葺修補宝暦十三癸未竜七月吉辰日の記があるもの１ 上葺再興明和九壬辰竜五月吉祥日の記があるもの１ 天保五年十一月の記があるもの１ 葺替并御繕天保五年甲午十二月吉祥日の記があるもの１ 葺替并御繕天保五年午十二月の記があるもの１ 上葺并修補天保五年甲午竜十二月吉良辰の記があるもの１	1　棟	明治 40 年 5 月 27 日
国	筥崎宮拝殿 桁行４間梁間１間一重切妻造檜皮葺 附棟札１枚再興天明七年五月の記がある	1　棟	明治 40 年 5 月 27 日
国	香椎宮本殿 桁行３間梁間３間一重入母屋造正面千鳥破風附 左右側面各１間車寄付属切妻造 正面及び左右側面各向拝１間檜皮葺 附棟札８枚 上棟享和元歳次辛酉四月中旬の記があるもの１ 再建享和元年歳次辛酉八月吉祥日の記があるもの１ 修補文政十一戊子龍次九月吉曜日の記があるもの１ 修補文久三癸亥年十二月吉晨の記があるもの１ 修補文久年次癸亥十二月吉辰の記があるもの１ 繕文久三癸亥年十二月吉祥日の記があるもの１ 普請文久三亥年十二月吉祥日の記があるもの１ 箱棟造文久四甲子年正月上旬の記があるもの１	1　棟	大正 11 年 4 月 13 日
国	住吉神社本殿 桁行４間梁間２間住吉造檜皮葺	1　棟	大正 11 年 4 月 13 日
国	筥崎宮鳥居 石造明神鳥居 柱に慶長第十四太歳舎己酉季秋中旬の刻銘あり	1　基	昭和 30 年 6 月 22 日
国	旧日本生命保険株式会社九州支店 煉瓦造建築面積 281.8 平方米二階建地下一階 中央塔屋付銅板葺ドライエリア煉瓦塀付属 附便所１棟塀１棟 棟札１枚竣工明治四十二年二月末日の記あり	1　棟	昭和 44 年 3 月 12 日
国	福岡城南丸多聞櫓 一重櫓，南端二重二階隅櫓，本瓦葺	1　棟	昭和 46 年 12 月 28 日
国	旧福岡県公会堂貴賓館 木造建築面積 393.3 平方米二階建玄関ポーチ付 鉄板葺一部桟瓦葺	1　棟	昭和 59 年 5 月 21 日
県	福岡城潮見櫓	1　棟	昭和 27 年 3 月 29 日

区分	名称	員数	指定年月日
県	崇福寺唐門	1　棟	昭和 30 年 4 月 5 日
県	崇福寺山門	1　棟	昭和 30 年 4 月 5 日
県	福岡城花見櫓 二重二階櫓本瓦葺北側附櫓付本瓦葺	1　棟	昭和 30 年 4 月 5 日 （名称変更） 平成 29 年 3 月 17 日
県	福岡城下之橋御門	1　棟	昭和 31 年 4 月 3 日
県	旧母里太兵衛邸長屋門	1　棟	昭和 31 年 4 月 3 日
県	旧福岡城祈念櫓	1　宇	昭和 32 年 8 月 13 日
県	石造九重塔（相輪欠） 附境内板碑群一括伝米一丸墓石	1　基	昭和 35 年 8 月 16 日
県	曲淵五重石塔	1　基	昭和 39 年 5 月 7 日
県	福岡県立福岡高等学校校舎	1　棟	平成 24 年 3 月 26 日
県	西南学院大学博物館（ドージャー記念館）	1　棟	平成 27 年 3 月 17 日
市	名島門	1　棟	昭和 53 年 3 月 30 日
市	東長寺六角堂 附仏龕１基及び卓１脚	1　棟	昭和 63 年 3 月 31 日
市	浄満寺山門	1　棟	平成 2 年 3 月 29 日
市	飯盛神社本殿	1　棟	平成 2 年 3 月 29 日
市	旧三浦家住宅	1　棟	平成 7 年 7 月 31 日
市	住吉神社能楽殿	1　棟	平成 12 年 3 月 23 日
市	旧山下家住宅 附明治八年（１８７５）の棟札	1　棟	平成 12 年 3 月 23 日
市	九州大学西新外国人教師宿舎第３号棟	1　棟	平成 13 年 3 月 12 日
市	曲渕水源地水道施設附平尾浄水場配水池点検用通路入口建物１棟	1　基	平成 21 年 3 月 2 日
市	白鬚神社本殿 附棟札 11 枚 造替享保十二丁未年九月廿一日の記があるもの１ 葺替宝暦二壬申年八月四日の記があるもの１ 葺替明和四己亥年十月五日の記があるもの１ 葺替天明七丁未年十月七日の記があるもの１ 葺替昭和九年九月七日の記があるもの１ 屋根修築昭和三十二年四月十三日の記があるもの１ 小神社修理昭和四十七年十月吉日の記があるもの１ 渡廊下屋根替昭和四拾九年九月吉日の記があるもの１ 屋根替昭和五十九年三月吉日の記があるもの１ 修復平成三年五月吉日の記があるもの１ 時期不詳修理とみられるもの１	1　棟	平成 22 年 3 月 18 日
市	白鬚神社拝殿	1　棟	平成 22 年 3 月 18 日
市	住吉神社唐門	1　棟	平成 22 年 3 月 18 日
市	承天寺開山堂	1　棟	平成 23 年 3 月 17 日
市	承天寺唐門	1　棟	平成 23 年 3 月 17 日
市	承天寺鐘楼	1　棟	平成 23 年 3 月 17 日
市	虚白院庵室	1　棟	令和 4 年 3 月 28 日

(2)　絵　画

区分	名称	員数	指定年月日
国	絹本著色大応国師像 徳治二年ノ自賛アリ	1　幅	明治 45 年 2 月 8 日
国	絹本著色高峰断崖中峰和尚像 比丘文康ノ賛アリ	1　幅	大正元年 9 月 3 日
国	絹本著色禅家六祖像 子曇ノ賛アリ	6　幅	大正元年 9 月 3 日

区分	名称	員数	指定年月日
国	絹本著色大鑑禅師像 慶元戊午華蔵宗演ノ題記アリ	1　幅	大正元年 9 月 3 日
国	絹本著色大覚禅師像 附絹本著色夢窓国師像（邵元ノ賛アリ）１幅 絹本著色実山真禅師像（文安四年ノ賛アリ）１幅	1　幅	大正 6 年 4 月 5 日
国	紙本著色花籠図 尾形乾山筆	1　幅	昭和 13 年 7 月 4 日
国	紙本著色病草紙残闕 （肥満女）	1　幅	昭和 16 年 7 月 3 日
国	板絵著色天部像 （醍醐寺五重塔壁画断片）	1　面	昭和 31 年 6 月 28 日
国	紙本著色地獄草紙断簡 （勘當の鬼）	1　幅	昭和 34 年 12 月 18 日
国	紙本墨画五祖荷鋤図 樵隠悟逸の賛がある	1　幅	昭和 46 年 6 月 22 日
国	紙本墨画布袋図 足利義持筆自筆の金剛経要文がある	1　幅	昭和 46 年 6 月 22 日
国	紙本著色泰西風俗図 六曲屏風	1　双	昭和 52 年 6 月 11 日
国	紙本著色洛中洛外図 六曲屏風	1　双	平成 23 年 6 月 27 日
県	紙本墨画出山釈迦像	1　幅	昭和 30 年 3 月 5 日
県	絹本著色黒田如水像	1　幅	昭和 30 年 3 月 5 日
県	紙本著色黒田長政像	1　幅	昭和 30 年 3 月 5 日
県	絹本著色十二天像	12　幅	昭和 36 年 1 月 14 日
県	箱崎八幡宮縁起上下二巻 附誉田八幡縁起上下二巻 八幡縁起（筆者不詳）上下二巻	2　巻	昭和 37 年 2 月 20 日
県	絹本著色十王図	10　幅	昭和 49 年 8 月 6 日
市	絹本著色地蔵菩薩像	1　幅	昭和 54 年 2 月 26 日
市	絹本著色十王像	10　幅	昭和 54 年 2 月 26 日
市	承天寺古図	1　幅	昭和 57 年 3 月 1 日
市	絹本著色志賀海神社縁起	3　幅	昭和 60 年 3 月 7 日
市	絹本著色楊柳観音菩薩像（甲本）	1　幅	平成 10 年 3 月 19 日
市	絹本著色楊柳観音菩薩像（乙本）	1　幅	平成 10 年 3 月 19 日
市	樹下婦人図	2　面	平成 15 年 3 月 10 日
市	聖福寺古図	1　巻	平成 16 年 3 月 11 日
市	紙本著色筑前・豊前国絵図屏風	1　雙	平成 18 年 3 月 23 日
市	楢﨑家歴代肖像	5　幅	平成 20 年 3 月 24 日
市	礒野家歴代肖像 附礒野家由緒書礒野家系譜２冊	12　幅	平成 20 年 3 月 24 日
市	駿岳元甫頂相	1　幅	平成 22 年 3 月 18 日
市	絹本著色不動明王二童子像	1　幅	平成 23 年 3 月 17 日
市	絹本著色愛染明王像	1　幅	平成 23 年 3 月 17 日
市	絹本著色源頼朝像 附立花増弘筆奉命贈聖福寺丹岩和尚書１幅	1　幅	平成 26 年 3 月 17 日
市	紙本墨画梅に鳩・東坡風水洞図六曲屏風	1　双	平成 28 年 3 月 7 日
市	絹本著色仏涅槃図	1　幅	令和 6 年 3 月 21 日
市	絹本著色仏涅槃図	1　幅	令和 6 年 3 月 21 日

(3) 彫　刻

区分	名称	員数	指定年月日
国	木造薬師如来立像	1　軀	明治 37 年 2 月 18 日
国	木造薬師如来坐像	1　軀	明治 37 年 2 月 18 日
国	木造釈迦如来及両脇侍像（覚皇殿安置）	3　軀	明治 37 年 2 月 18 日
国	木造千手観音立像（所在護摩堂）	1　軀	明治 37 年 2 月 18 日
国	木造十二神将立像（本尊二属スル分）	12　軀	明治 37 年 2 月 18 日
国	木造阿弥陀如来立像	1　軀	明治 37 年 8 月 29 日
国	木造聖観音坐像	1　軀	明治 39 年 4 月 14 日
国	木造日光菩薩立像	1　軀	大正元年 9 月 3 日
国	木造十二神将立像（安底羅(申)迷企羅(酉)宮毘羅(亥)ノ３軀ヲ除ク）	9　軀	大正元年 9 月 3 日
国	銅造菩薩半跏像	1　軀	昭和 12 年 5 月 25 日
国	木造阿弥陀如来立像	1　軀	令和元年 7 月 23 日
県	木造如来坐像残欠	1　軀	昭和 32 年 4 月 23 日
県	石造狛犬	1　対	昭和 33 年 4 月 3 日
県	石造菩薩形立像	1　軀	昭和 33 年 11 月 13 日
県	石造降魔釈迦像	1　軀	昭和 33 年 11 月 13 日
県	石造降誕釈迦像	1　軀	昭和 33 年 11 月 13 日
県	木造善導大師立像	1　軀	昭和 34 年 3 月 31 日
県	木造鎮西上人坐像	1　軀	昭和 34 年 3 月 31 日
県	石造地蔵菩薩坐像 附境内板碑群一括	1　軀	昭和 35 年 8 月 16 日
県	木造大日如来坐像	1　軀	昭和 48 年 11 月 15 日
県	木造薬師如来坐像	1　軀	昭和 49 年 8 月 6 日
県	銅造亀山上皇立像 附石造台座１基	1　軀	平成 13 年 2 月 21 日
県	木造亀山上皇立像（銅像原型）	1　軀	平成 21 年 3 月 30 日
県	木造千手観音立像 木造十一面観音立像 木造六臂観音立像 木造持国天立像 木造多聞天立像	5　軀	令和 5 年 3 月 28 日
市	木造文殊菩薩騎獅像	1　軀	昭和 53 年 3 月 30 日
市	木造毘沙門天立像	1　軀	昭和 55 年 3 月 10 日
市	木造釈迦如来坐像 附木造普賢菩薩騎象像 木造文殊菩薩騎獅像	1　軀	昭和 58 年 3 月 31 日
市	木造釈迦如来及両脇侍像 附木造獅子像二軀	3　軀	昭和 59 年 3 月 31 日
市	木造弥勒如来坐像	1　軀	昭和 62 年 3 月 30 日
市	木造不動明王坐像	1　軀	昭和 62 年 3 月 30 日
市	銅造誕生釈迦仏立像	1　軀	平成 4 年 3 月 23 日
市	木造阿弥陀如来立像	1　軀	平成 5 年 3 月 25 日
市	木造大日如来坐像	1　軀	平成 5 年 3 月 25 日
市	綿津見神社仏像群 附木造伝虚空蔵菩薩立像 木造伝薬師如来坐像	3　軀	平成 8 年 3 月 25 日
市	銅造日蓮上人立像	1　軀	平成 12 年 3 月 23 日
市	木造十六羅漢像 附石膏型	16　軀	平成 13 年 3 月 12 日
市	陶造薬師如来坐像 （金の隈地蔵堂旧蔵）	1　軀	平成 14 年 3 月 4 日

区分	名称	員数	指定年月日
市	陶造地蔵菩薩坐像	1　軀	平成 14 年 3 月 4 日
市	陶造大心円願坐像	1　軀	平成 14 年 3 月 4 日
市	木造観音菩薩立像	1　軀	平成 15 年 3 月 10 日
市	銅造菩薩坐像	1　軀	平成 15 年 3 月 10 日
市	銅造弘法大師坐像	1　軀	平成 18 年 3 月 23 日
市	木造東照権現坐像 附厨子	1　軀	平成 19 年 3 月 15 日
市	木造二天王立像	2　躯	令和 6 年 3 月 21 日

(4)　工芸品

区分	名称	員数	指定年月日
国宝	太刀 無銘一文字（名物日光一文字） 附葡萄蒔絵刀箱一合	1　口	昭和 8 年 1 月 23 日 （国宝指定） 昭和 27 年 3 月 29 日
国宝	刀 金象嵌銘長谷部国重本阿花押 黒田筑前守（名物へし切）	1　口	昭和 11 年 9 月 18 日 （国宝指定） 昭和 27 年 3 月 29 日
国宝	梵鐘 承和六年伯耆國金石寺鐘在銘	1　口	昭和 28 年 11 月 14 日 （国宝指定） 昭和 29 年 3 月 20 日
国	銅鐘 天正十七年小早川隆景寄進ノ後銘アリ	1　口	明治 39 年 4 月 14 日
国	銅鐘 清寧十一年ノ古銘及明応七季ノ後銘アリ	1　口	明治 39 年 4 月 14 日
国	鍍金鐘	1　口	明治 39 年 4 月 14 日
国	孔雀文沈金経箱延祐二年棟梁禅□杭州油局橋金家造の銘がある	1　合	大正 6 年 4 月 5 日
国	太刀 銘一	1　口	昭和 12 年 5 月 15 日
国	短刀 銘国吉（西蓮）	1　口	昭和 27 年 3 月 29 日
国	童鎧残闕 胸板・胴正面一、栴檀板一、鳩尾板一	3　箇	昭和 36 年 6 月 30 日
国	石燈籠 火袋底裏刻銘の終りに「観應元年庚寅六月廿八日勧進尼了法」 「大工井行長」とある	1　基	昭和 37 年 2 月 2 日
国	五彩魚藻文壺 大明嘉靖年製	1　口	昭和 39 年 1 月 28 日
国	黒漆平文唐櫛笥 附黒漆平文台１基	1　合	昭和 45 年 5 月 25 日
国	猿投灰釉壺	1　口	昭和 50 年 6 月 12 日
国	色絵吉野山図茶壺 仁清作	1　口	昭和 51 年 6 月 5 日
国	黒糸威胴丸具足（黒田長政所用） 一の谷兜・小具足付 附水牛脇立兜２頭 紙本著色黒田長政像１幅	1　領	昭和 52 年 6 月 11 日
国	金霰鮫打刀拵 中身備州長船祐定	1　口	昭和 57 年 6 月 5 日
国	波螺鈿鞍	1　背	昭和 60 年 6 月 6 日
国	線刻十一面観音鏡像 背面に長承三年，定俊の寄進刻銘がある	1　面	平成 12 年 6 月 27 日
国	絵唐津菖蒲文茶碗	1　口	平成 18 年 6 月 9 日

区分	名称	員数	指定年月日
県	太刀 伝宗近	1　口	昭和 31 年 1 月 16 日
県	刀 銘筑前箱崎八幡宮境内住源左衛尉八幡宮 至徳三年三月吉日四十三才鍛	1　口	昭和 31 年 1 月 16 日
県	梵鐘	1　口	昭和 32 年 12 月 20 日
県	刀 銘阿州氏吉作	1　口	昭和 33 年 7 月 26 日
県	脇差 銘備州住左衛門尉政広作永徳三癸亥二月日	1　口	昭和 33 年 7 月 26 日
県	梵鐘	1　口	昭和 33 年 11 月 13 日
県	銅製雲版	1　面	昭和 33 年 11 月 13 日
県	梵鐘	1　口	昭和 33 年 11 月 13 日
県	梵鐘 附銘文巻子１巻	1　口	昭和 34 年 3 月 31 日
県	銅製鉢	3　口	昭和 36 年 10 月 21 日
県	銅製酒瓶	3　口	昭和 36 年 10 月 21 日
県	流金吊燈籠	2　基	昭和 36 年 10 月 21 日
県	鍵	1　箇	昭和 36 年 10 月 21 日
県	剣 銘信國 銘筑前國住信國源吉次	2　口	昭和 57 年 4 月 1 日
県	銅密教法具 一、九頭龍鈴一、九頭龍杵	2　口	平成 16 年 2 月 18 日
市	銅造塔婆型厨子	1　基	平成 7 年 3 月 30 日
市	喚鐘	1　口	平成 21 年 3 月 2 日
市	喚鐘	1　口	平成 21 年 3 月 2 日
市	喚鐘	1　口	平成 21 年 3 月 2 日
市	喚鐘	1　口	平成 21 年 3 月 2 日
市	喚鐘	1　口	平成 21 年 3 月 2 日
市	殿鐘	1　口	平成 21 年 3 月 2 日
市	殿鐘	1　口	平成 21 年 3 月 2 日
市	半鐘	1　口	平成 21 年 3 月 2 日
市	殿鐘	1　口	平成 21 年 3 月 2 日
市	喚鐘	1　口	平成 21 年 3 月 2 日
市	喚鐘	1　口	平成 21 年 3 月 2 日
市	喚鐘	1　口	平成 21 年 3 月 2 日
市	殿鐘	1　口	平成 21 年 3 月 2 日
市	喚鐘	1　口	平成 21 年 3 月 2 日
市	喚鐘	1　口	平成 21 年 3 月 2 日
市	半鐘	1　口	平成 21 年 3 月 2 日
市	喚鐘	1　口	平成 21 年 3 月 2 日
市	喚鐘	1　口	平成 21 年 3 月 2 日
市	喚鐘	1　口	平成 21 年 3 月 2 日
市	喚鐘	1　口	平成 21 年 3 月 2 日

(5)　書跡・典籍・古文書

区分	名称	員数	指定年月日
国宝	誓願寺盂蘭盆縁起 栄西筆、治承二年七月十五日 附誓願寺建立縁起一巻	1　巻	明治 44 年 4 月 17 日 （国宝指定） 昭和 28 年 11 月 14 日

区分	名称	員数	指定年月日
国	紙本墨書 法華経（開結共）元暦建久ノ奥書アリ 10 巻 理趣経１巻 法華経１巻	12　巻	明治 44 年 4 月 17 日
国	紙本墨書源氏物語系図	1　巻	昭和 11 年 5 月 6 日
国	紙本墨書金光明最勝王経 （巻第一伏見天皇宸翰） 巻第十ニ正応三年法印良清ノ奥書アリ	10　帖	昭和 14 年 5 月 27 日
国	紙本墨書古林清茂墨蹟 （泰定三年秋孟）	1　幅	昭和 17 年 6 月 26 日
国	清拙正澄墨蹟 秀山別称偈嘉暦丙寅年	1　幅	昭和 28 年 11 月 14 日
国	妙總大師道潜墨蹟 尺牘	1　幅	昭和 30 年 2 月 2 日
国	月江正印墨蹟 七言絶句七首至正十年秋暮	1　幅	昭和 31 年 6 月 28 日
国	藤原範光筆懐紙 （詠暁紅葉和歌）	1　幅	昭和 35 年 6 月 9 日
国	金剛般若経開題残巻 弘法大師筆（十三行）	1　幅	昭和 38 年 7 月 1 日 （名称変更） 昭和 49 年 6 月 8 日
国	大和物語下（勝命本） 正治二年八月十九日光阿弥陀仏書写本奥書	1　帖	昭和 53 年 6 月 15 日
国	嶋井家文書	781　通	令和 5 年 6 月 27 日
国	金光明最勝王経	10　帖	令和 7 年 9 月 26 日
県	博多津要録	27　冊	昭和 30 年 3 月 12 日
県	和歌短冊並びに懐紙 和歌短冊豊臣秀吉以下６人 懐紙大内義隆以下 10 人	1　巻	昭和 36 年 10 月 21 日
県	筥崎宮文書	1　括	昭和 37 年 2 月 20 日
県	筑前国産物帳	6　冊	昭和 37 年 4 月 19 日
県	宮崎家伝来宮崎安貞著「農業全書」 （元禄十年版）	11　巻	昭和 40 年 4 月 6 日
県	大泉坊文書	1　巻	平成 17 年 2 月 23 日
市	善導寺文書中世編	28　点	昭和 49 年 8 月 12 日 （追加１点） 昭和 56 年 3 月 30 日
市	櫛田神社文書	15　点	昭和 52 年 3 月 14 日
市	明法寺榊文書	52　点	昭和 53 年 3 月 30 日
市	飯盛神社文書	32　点	昭和 54 年 2 月 26 日
市	青柳文書	25　点	昭和 54 年 2 月 26 日
市	田村文書	141　点	昭和 55 年 3 月 10 日
市	御油座文書写	36　点	昭和 55 年 3 月 10 日
市	三苫文書	45　点	昭和 57 年 3 月 1 日
市	聖光上人末代念仏授手印	1　点	昭和 58 年 3 月 31 日
市	崇福寺文書	25　点	昭和 59 年 3 月 31 日
市	南浦紹明墨跡道號説	1　幅	昭和 59 年 3 月 31 日
市	志賀海神社文書	45　点	昭和 60 年 3 月 7 日
市	松花和歌集巻第五	1　巻	昭和 62 年 3 月 30 日
市	住吉神社文書	27　点	昭和 62 年 3 月 30 日
市	南方録 実山書写校合奥書	7　冊	平成 6 年 3 月 24 日

区分	名称	員数	指定年月日
市	南方録 宝永二年臘月実山校合奥書（寧拙書写本）	7　冊	平成 6 年 3 月 24 日
市	洪山宗範墨蹟 上堂語 至徳乙丑冬節後三日	1　幅	平成 6 年 3 月 24 日
市	青木文書	80　点	平成 7 年 3 月 30 日
市	江月宗玩筆墨蹟之寫	49　冊 47　丁	平成 9 年 3 月 24 日 （追加 47 丁） 平成 22 年 3 月 18 日
市	安山借屋牒	1　冊	平成 16 年 3 月 11 日
市	尾上文書	58　点	平成 19 年 3 月 15 日
市	伊達政宗筆「集謡」 附小河直諒「添書」・ 黒板勝美鑑定書等関係書類 26 点	1　巻	平成 20 年 3 月 24 日
市	仙厓「金印」考文	1　幅	平成 20 年 3 月 24 日
市	千利休書状 附黒板勝美鑑定書１通	1　幅	平成 20 年 3 月 24 日
市	承天寺の公帖並びに公帖関係史料 附漆塗り箱３箱上蓋に三葉葵紋が二つあるもの１ 上蓋に三葉葵紋が一つあるもの１ 上蓋に藤巴紋と石持紋があるもの１	84　点	平成 22 年 3 月 18 日
市	麻生文書	229　点	平成 23 年 3 月 17 日
市	小寺文書 附伝小寺政職所用三橘藤巴紋背旗１旒	144　点	平成 24 年 3 月 19 日
市	鳥飼文書	47　点	平成 27 年 3 月 26 日
市	明光寺文書	19　点	平成 27 年 3 月 26 日
市	濵地文書 附伝小寺政職所用　三橘藤巴紋背旗１旒	182　点	平成 30 年 3 月 29 日
市	妙行寺文書	13　点	平成 31 年 3 月 25 日
市	称名寺文書「武家之文章」	8　点	令和 5 年 3 月 23 日

(6)　考古資料

区分	名称	員数	指定年月日
国宝	金印 （印文「漢委奴國王」） 福岡県糟屋郡志賀島村出土	1　顆	昭和 6 年 12 月 14 日 （国宝指定） 昭和 29 年 3 月 20 日
国	銭弘俶八万四千塔 化字アリ	1　基	明治 44 年 4 月 17 日
国	有柄細形銅剣 内行花文鏡 福岡県糸島郡怡土村大字三雲字鑓溝出土	2　1口 1面	昭和 27 年 3 月 29 日
国	銅戈鎔笵 福岡県前原市大字三雲出土	1　箇	昭和 30 年 2 月 2 日
国	青釉経筒 伝筑前国四王寺阯経塚出土	1　合	昭和 30 年 6 月 22 日
国	壺形土器 福岡県福岡市城ノ原出土	1　箇	昭和 42 年 6 月 15 日 （名称変更） 昭和 49 年 6 月 8 日
国	壺形土器 長崎県壱岐郡勝本町立石唐神出土	1　箇	昭和 42 年 6 月 15 日

区分	名称	員数	指定年月日
国	筑前吉武遺跡出土品 樋渡地区出土品 1、重圏久不相見鏡１面 1、銅剣（把頭飾・鍔残欠１箇共）３口1、鉄剣３口 1、素環頭大刀１口1、素環頭刀子１口1、鉄鏃１本 1、玉類碧玉管玉16箇水晶算盤玉２箇ガラス小玉51箇 附甕棺（残欠共）６基分 高木地区出土品 1、多鈕細文鏡１面1、銅剣９口1、銅戈１口1、銅矛１口 1、銅釧２箇1、磨製石剣残欠１口1、磨製石鏃２本 1、玉類硬玉勾玉４箇碧玉管玉466箇ガラス小玉１箇 1、壷形土器（残欠共）７箇分 附甕棺（残欠共）10基分附石片１箇 大石地区出土品 1、銅剣５口1、銅戈（残欠共）４口1、銅矛２口 1、素環頭大刀１口1、鉄剣残欠１口1、磨製石剣残欠６箇 1、磨製石鏃１本1、碧玉管玉11箇1、加工碧玉細片39箇1、漆櫛残欠１箇 附甕棺（残欠共）13基分	645　点	昭和62年6月6日
国	博多遺跡群出土品一括	2,138　点	平成29年9月15日
国	金錯銘大刀	1　口	令和元年7月23日
県	細形銅剣鎔笵残欠 志賀島大字勝馬出土	1　箇	昭和33年7月26日
県	銅鉾鎔笵残欠 福岡市南区大字五十川出土	1　箇	昭和33年7月26日
県	石造宝篋印塔	1　基	昭和33年10月29日
県	銅戈	6　口	昭和33年11月13日
県	銅鉾	5　口	昭和33年11月13日
県	地蔵菩薩像板碑	1　基	昭和33年11月13日
県	蒙古碇石	1　箇	昭和34年3月31日
県	蒙古碇石	1　箇	昭和34年3月31日
県	蒙古碇石	1　箇	昭和34年3月31日
県	蒙古碇石	1　箇	昭和34年3月31日
県	蒙古碇石	1　箇	昭和34年3月31日
県	蒙古碇石	1　箇	昭和34年3月31日
県	蒙古碇石	1　箇	昭和34年3月31日
県	蒙古碇石	1　箇	昭和34年3月31日
県	康永三年銘梵字板碑	1　基	昭和48年4月19日
県	稲童古墳群８・15・21号墳出土品	13　点	平成24年3月26日
市	正平廿一年銘梵字板碑	1　基	昭和49年8月12日
市	嘉暦三年銘自然石梵字板碑 附自然石梵字板碑１基	1　基	昭和55年3月10日
市	三角縁二神二車馬鏡	1　面	昭和56年3月30日
市	五島山古墳出土品	28　点	昭和60年3月7日
市	銅剣鎔笵 伝東区八田出土	1　個	平成元年3月30日
市	銅戈鎔笵 伝東区八田出土	1　個	平成元年3月30日
市	銅鐸鎔笵残欠 博多区大字東平尾出土	1　個	平成元年3月30日
市	銅矛鎔笵残欠 博多区板付出土	1　個	平成元年3月30日

区分	名称	員数	指定年月日
市	青銅器鎔笵残欠 博多区板付出土	2　個	平成元年 3 月 30 日
市	青銅器鋳造関係遺物 博多区那珂出土	8　個	平成元年 3 月 30 日
市	銅戈鎔笵残欠 博多区那珂出土	1　個	平成元年 3 月 30 日
市	ガラス勾玉鎔笵残欠 南区警弥郷出土	2　個	平成元年 3 月 30 日
市	銅剣鎔笵残欠 早良区西新出土	1　個	平成元年 3 月 30 日
市	青銅器鎔笵残欠 早良区有田出土	3　個	平成元年 3 月 30 日
市	銅戈鎔笵残欠 西区飯盛出土	1　個	平成元年 3 月 30 日
市	大永四年銘梵字板碑	1　基	平成元年 3 月 30 日
市	貞和七年銘梵字板碑	1　基	平成元年 3 月 30 日
市	応永銘梵字板碑	1　基	平成元年 3 月 30 日
市	明徳庚午歳銘梵字板碑	1　基	平成元年 3 月 30 日
市	正平十四年銘梵字板碑	1　基	平成元年 3 月 30 日
市	建徳銘梵字板碑	1　基	平成元年 3 月 30 日
市	永正三年銘梵字板碑	1　基	平成元年 3 月 30 日
市	明応二年銘板碑	1　基	平成元年 3 月 30 日
市	正安四年銘梵字板碑	1　基	平成 2 年 3 月 29 日
市	貞和五年銘梵字板碑	1　基	平成 2 年 3 月 29 日
市	永和三年銘梵字板碑	1　基	平成 2 年 3 月 29 日
市	筥崎宮出土瓦経	36　面	平成 3 年 3 月 30 日
市	井相田遺跡出土供養遺品 こけら経１束、笹塔婆２点、卒塔婆 16 点	19　点	平成 3 年 3 月 30 日
市	那珂八幡古墳出土品 三角縁神獣鏡１面、玉４点、土師器４片	9　点	平成 4 年 3 月 23 日
市	東入部遺跡出土資料	34　点	平成 6 年 3 月 24 日
市	有田遺跡出土品 （第 177 次調査）	6　点	平成 10 年 3 月 19 日
市	青銅器鎔笵残欠 （飯倉Ｄ遺跡出土）	2　個	平成 10 年 3 月 19 日
市	青銅器鎔笵残欠 （井尻Ｂ遺跡出土）	2　個	平成 10 年 3 月 19 日
市	小銅鐸 （板付遺跡出土）	1　口	平成 11 年 3 月 29 日
市	小銅鐸 （今宿五郎江遺跡出土）	1　口	平成 11 年 3 月 29 日
市	宝満尾遺跡出土品	539　点	平成 12 年 3 月 23 日
市	銅戈 （有田遺跡出土）	1　口	平成 13 年 3 月 12 日
市	銅戈 （西入部白塔出土）	1　口	平成 13 年 3 月 12 日
市	銅戈 （下山門敷町遺跡出土）	3　口	平成 13 年 3 月 12 日
市	今宿遺跡出土品 （第２次調査）	2　点	平成 13 年 3 月 12 日
市	野方久保遺跡出土品 （第２次調査）	10　点	平成 13 年 3 月 12 日

区分	名称	員数	指定年月日
市	比恵遺跡出土品 （第６次調査）	3　点	平成 13 年 3 月 12 日
市	上月隈遺跡出土品 （第３次調査）	26　点	平成 14 年 3 月 4 日
市	細形銅剣 （飯倉丸尾（唐木）出土）	1　口	平成 14 年 3 月 4 日
市	広形銅矛 （唐泊海底出土）	1　口	平成 14 年 3 月 4 日
市	京ノ隈経塚出土品	197　点	平成 17 年 3 月 24 日
市	福岡城出土輪宝・壷	3　点	平成 18 年 3 月 23 日
市	香住ヶ丘古墳出土の三角縁神獣鏡	1　点	平成 19 年 3 月 15 日
市	雑餉隈遺跡出土品 （第 15 次調査）	15　点	平成 22 年 3 月 18 日
市	木製組合せ式案 （雀居遺跡第４次調査出土）	1　件	平成 22 年 3 月 18 日
市	飯盛山出土瓦経	151　点	平成 24 年 3 月 19 日
市	飯盛山出土瓦経	1　点	平成 24 年 3 月 19 日
市	飯盛山出土瓦経	3　点	平成 24 年 3 月 19 日
市	飯盛山出土瓦経	3　点	平成 24 年 3 月 19 日
市	飯盛山出土瓦経	4　点	平成 24 年 3 月 19 日
市	飯盛山出土瓦経	7　点	平成 24 年 3 月 19 日
市	岸田遺跡出土品 （第１次調査）	79　点	令和 2 年 3 月 23 日

(7)　歴史資料

区分	名称	員数	指定年月日
県	仙厓関係資料	15　点	平成 3 年 11 月 15 日
県	尾形家絵画資料	4791　点	平成 12 年 11 月 1 日
市	嶋井家資料	230　点	平成 4 年 3 月 23 日 （員数変更） 平成 16 年 2 月 3 日
市	南懐仁の大砲	1　門	平成 19 年 3 月 15 日
市	抱え大筒 附火縄銃１挺	2　挺	平成 19 年 3 月 15 日
市	「人参三臓圓」看板 附仙厓筆「三藏圓辨」１巻	1　枚	平成 20 年 3 月 24 日
市	宗勝寺資料	13　点	平成 25 年 3 月 18 日
市	萬行寺資料	26　点	平成 28 年 3 月 7 日

(8) 無形文化財

区分	名称	員数	指定年月日
国		16 人	昭和 32 年 12 月 4 日
	能楽		（保持者認定日）
	シテ方（喜多流）		昭和 50 年５月 28 日
	狂言方（大蔵流）		昭和 57 年５月 27 日
	シテ方（観世流）		昭和 57 年５月 27 日
	シテ方（観世流）		昭和 61 年４月 28 日
	シテ方（宝生流）		平成３年 11 月１日
	シテ方（観世流）		平成３年 11 月１日
	シテ方（観世流）		平成３年 11 月１日
	シテ方（観世流）		平成 19 年９月６日
	シテ方（喜多流）		平成 13 年７月２日
	シテ方（観世流）		平成 16 年７月 16 日
	狂言方（和泉流）		平成 16 年７月 16 日
	太鼓方（金春流）		平成 16 年７月 16 日
	太鼓方（高安流）		平成 19 年９月６日
	シテ方（観世流）		平成 23 年７月 15 日
	シテ方（観世流）		平成 29 年７月 21 日答申
	シテ方（宝生流）		平成 29 年７月 21 日答申
国	献上博多織	1 人	平成 15 年７月 10 日
県	玄清法流盲僧琵琶	1 団体	昭和 39 年５月７日
県	一朝軒伝法竹	1 人	平成 30 年３月 20 日
県	博多人形博多人形制作技術	5 人	昭和 63 年 12 月 17 日
			（保持者認定日）
			平成９年７月 25 日
			平成 31 年３月 19 日
県	博多織	1 団体	平成８年７月３日
県	博多独楽	1 人	令和２年 10 月 26 日
県	筑前琵琶制作	1 人	令和４年３月 25 日
県	人形制作	1 人	令和４年３月 25 日
市	双水執流柔術	1 人	平成 17 年３月 24 日
市	為勢自得天真流柔術	1 人	平成 17 年３月 24 日

(9) 有形民俗文化財

区分	名称	員数	指定年月日
県	博多織古裂見本（屏風張混）	6 点	昭和 30 年３月５日
	同（被布仕立）同（伏紗仕立）同（蒲団地仕立）		
	同（見本帳）博多織女帯		
	附頼山陽筆博多織帯歌１点		
県	博多織古裂見本（見本帳）	3 冊	昭和 30 年３月５日
県	博多織見本帳	1 冊	昭和 32 年４月 23 日
県	大濱流灌頂大燈籠絵 附 大燈籠絵箱 一箇	22 点	昭和 33 年７月 26 日
			（追加 13 点・名称変更）
			令和８年３月 27 日
県	博多人形師白水仁作白水武平製作遺品	13 点	昭和 33 年 11 月 13 日
県	博多町内祭礼用具	15 点	昭和 33 年 11 月 13 日
	幕 12 張、箱２箱、シッポク台１台		
県	筥崎宮の禁断碑	1 基	昭和 37 年２月 20 日
県	筥崎宮秋祭遷幸之図上・下	2 巻	昭和 37 年２月 20 日
県	櫛田神社の力石	3 個	昭和 37 年２月 20 日
	附大鵬銘１個、無銘１個		
県	木造渡唐天神立像	1 軀	昭和 37 年７月 26 日

区分	名称	員数	指定年月日
県	輪蔵 附経蔵	1　基	昭和 38 年 1 月 16 日
県	輪蔵 附経蔵	1　基	昭和 38 年 1 月 16 日
県	どんざ	7　着	昭和 39 年 5 月 7 日
県	星野村戸籍等民政資料	1　括	昭和 39 年 5 月 7 日
県	博多松ばやしの古面 福神新旧２面、恵比須陰陽２面、大黒天新旧２面	6　面	昭和 44 年 5 月 1 日
県	博多祇園山笠絵馬	44　面	昭和 55 年 3 月 1 日
県	筑前須恵眼目療治関係資料 附関係文書 18 点	2　点	平成 17 年 10 月 5 日
市	旧青木神社（現八雲神社）若武者絵馬	1　面	昭和 52 年 3 月 14 日
市	石橋家廻船資料	12　点	昭和 57 年 3 月 1 日
市	延壽丸船額	1　点	昭和 57 年 3 月 1 日
市	奈良屋町若者組道具	26　点	昭和 63 年 3 月 31 日
市	奈多の志式座	1　棟	平成 9 年 3 月 24 日
市	板絵著色三十六歌仙絵馬	36　面	平成 9 年 3 月 24 日
市	板絵著色武者絵馬	1　面	平成 9 年 3 月 24 日
市	飯場の神楽道具 附関係文書一括	138　点	平成 11 年 3 月 29 日
市	板絵著色三十六歌仙絵馬	25　点	平成 14 年 3 月 4 日
市	志賀海神社の力石	1　個	平成 18 年 3 月 23 日
市	若八幡宮の力石	1　個	平成 18 年 3 月 23 日
市	住吉神社の力石 附銘「掛目三拾六貫目」１個	1　個	平成 18 年 3 月 23 日
市	野芥櫛田神社の「福岡の変」絵馬	1　面	平成 21 年 3 月 2 日
市	唐泊大歳神社の廻船絵馬	1　面	平成 21 年 3 月 2 日

(10)　無形民俗文化財

区分	名称	員数	指定年月日
国	博多祇園山笠行事	1　団体	昭和 54 年 2 月 3 日
国	博多松囃子	1　団体	令和 2 年 3 月 16 日
県	今津人形芝居	1　団体	昭和 51 年 4 月 24 日
県	飯盛神社のかゆ占	1　団体	昭和 51 年 4 月 24 日
県	香椎宮奉納獅子楽	1　団体	昭和 51 年 4 月 24 日
県	志賀海神社神幸行事	1　団体	昭和 51 年 4 月 24 日
県	志賀海神社歩射祭	1　団体	昭和 51 年 4 月 24 日
県	山ほめ祭	1　団体	昭和 51 年 4 月 24 日
県	はやま行事	1　団体	昭和 51 年 4 月 24 日
市	今宿青木獅子舞	1　団体	昭和 52 年 3 月 14 日
市	元岡獅子舞	1　団体	昭和 52 年 3 月 14 日
市	元岡祇園ばやし	1　団体	昭和 52 年 3 月 14 日
市	宇田川原豊年獅子舞	1　団体	昭和 52 年 3 月 14 日
市	能古島白鬚神社おくんち行事	1　団体	昭和 58 年 3 月 31 日
市	筥崎宮神幸行事	1　団体	昭和 61 年 3 月 17 日
市	飯盛神社流鏑馬行事	1　団体	平成 5 年 3 月 25 日
市	草場の盆綱引き	1　団体	平成 8 年 3 月 25 日
市	西浦のかずら引き	1　団体	平成 8 年 3 月 25 日
市	田隈の盆押し・盆綱引き	1　団体	平成 8 年 3 月 25 日
市	田島神楽	1　団体	平成 10 年 3 月 19 日
市	城の原の盆踊り	1　団体	平成 11 年 3 月 29 日

区分	名称	員数	指定年月日
市	博多仁和加	1　団体	平成 14 年 3 月 4 日
市	志賀島の盆踊り	1　団体	平成 15 年 3 月 10 日
市	金隈の鳶の水	1　団体	平成 17 年 3 月 24 日
市	石釜のトビトビ	1　団体	平成 17 年 3 月 24 日
市	今津十一日まつり	1　団体	平成 22 年 3 月 18 日
市	今宿上町天満宮鬼すべ行事	1　団体	平成 25 年 3 月 18 日
市	唐泊の御万歳	1　団体	平成 26 年 3 月 17 日
市	唐原の祇園山笠行事	1　団体	平成 31 年 3 月 25 日
市	小呂島の祇園山笠行事	1　団体	令和 2 年 3 月 23 日
市	筥崎宮玉せせり行事	1　団体	令和 7 年 3 月 17 日
市	大濱流灌頂	1　団体	令和 8 年 3 月 30 日

(11)　**史　跡**

区分	名称	員数	指定年月日
国	元寇防塁	1　件	昭和 6 年 3 月 30 日 (追加指定) 昭和 56 年 3 月 16 日 令和 2 年 3 月 10 日 令和 3 年 10 月 11 日
国	福岡城跡	1　件	昭和 32 年 8 月 29 日 (追加指定) 昭和 57 年 10 月 14 日
国	聖福寺境内	1　件	昭和 44 年 11 月 7 日
国	金隈遺跡	1　件	昭和 47 年 5 月 17 日
国	野方遺跡	1　件	昭和 50 年 6 月 27 日
国	板付遺跡	1　件	昭和 51 年 6 月 21 日 (追加指定) 平成 12 年 3 月 16 日 平成 14 年 12 月 19 日 平成 17 年 1 月 26 日
国	吉武高木遺跡	1　件	平成 5 年 10 月 4 日 (追加指定) 平成 12 年 9 月 6 日 平成 12 年 9 月 21 日
国	今山遺跡	1　件	平成 5 年 11 月 12 日(追加指定) 平成 14 年 12 月 19 日
国	老司古墳	1　基	平成 12 年 12 月 20 日
国	比恵遺跡	1　件	平成 13 年 8 月 13 日
国	今宿古墳群 丸隈山古墳 大塚古墳 鋤崎古墳 飯氏二塚古墳 兜塚古墳 山ノ鼻一号墳 若八幡宮古墳	7　基	(統合・追加指定・名称変更) 平成 16 年 4 月 5 日
国	鴻臚館跡 附女原瓦窯跡	1　件	平成 16 年 9 月 30 日 (追加指定・名称変更) 平成 26 年 3 月 18 日
国	観世音寺境内および子院跡附老司瓦窯跡	1　件	平成 22 年 8 月 5 日
国	博多遺跡	1　件	令和 6 年 2 月 21 日

区分	名称	員数	指定年月日
県	枯野塚 附埔川墓、句碑、寄附碑	1　件	昭和 31 年 7 月 28 日
県	比恵環溝住居遺跡	1　件	昭和 35 年 1 月 12 日
県	亀井（南冥、昭陽）家の墓	1　区	昭和 38 年 5 月 4 日
県	宮崎安貞墓 附宮崎安貞書斎１棟	1　基	昭和 40 年 4 月 6 日
県	元岡瓜尾貝塚	1　件	昭和 43 年 2 月 3 日
市	平尾山荘	1　棟	昭和 49 年 8 月 12 日
市	東光院境内	1　件	昭和 49 年 8 月 12 日
市	今里不動古墳	1　基	昭和 62 年 3 月 30 日
市	夫婦塚２号墳	1　基	平成元年 3 月 30 日
市	能古焼古窯跡	1　基	平成 2 年 3 月 29 日
市	梅林古墳	1　基	平成 3 年 3 月 30 日
市	那珂八幡古墳	1　基	平成 4 年 3 月 23 日
市	草場古墳群	4　基	平成 4 年 3 月 23 日
市	那珂遺跡	1　件	平成 5 年 3 月 25 日
市	福岡藩主黒田家墓所	1　区	平成 7 年 3 月 30 日
市	福岡藩主黒田家墓所	1　区	平成 8 年 3 月 25 日
市	吉武熊山古墳他３基	4　基	平成 15 年 3 月 10 日
市	浦江１号墳	1　基	平成 21 年 3 月 2 日
市	勧農社跡 附林遠里墓地１件	1　件	平成 22 年 3 月 18 日

(12)　名　勝

区分	名称	員数	指定年月日
市	妙福寺庭園	1	昭和 53 年 3 月 30 日
市	友泉亭庭園	1	平成 10 年 3 月 19 日

(13)　天然記念物

区分	名称	員数	指定年月日
国	長垂の含紅雲母ペグマタイト岩脈	1　件	昭和 9 年 1 月 22 日
国	名島の櫓石	1　件	昭和 9 年 5 月 1 日
県	櫛田の銀杏	1　株	昭和 29 年 5 月 15 日
県	ツクシオオガヤツリ	1　件	昭和 32 年 8 月 13 日
県	金武のヤマモモ	1　本	昭和 49 年 8 月 6 日
市	長垂の含紅雲母ペグマタイト鉱物標本	311　点	平成 19 年 3 月 15 日
市	橋本八幡宮のイヌマキ群落	1　件	平成 23 年 3 月 17 日
市	長垂のリチウムペグマタイト鉱物標本	552　点	平成 23 年 3 月 17 日
市	一行寺のシダレイチョウ	1　本	平成 31 年 3 月 25 日

(14)　登録文化財

①建造物

区分	名称	員数	登録年月日
国	箱嶋家住宅主屋	1　棟	平成 19 年 12 月 5 日
国	石蔵酒造事務所兼主屋	1　棟	平成 23 年 1 月 26 日
国	石蔵酒造主倉	1　棟	平成 23 年 1 月 26 日
国	石蔵酒造西倉及び旧精米所	1　棟	平成 23 年 1 月 26 日
国	髙橋家住宅店舗兼主屋	1　棟	平成 23 年 1 月 26 日
国	吉住家住宅主屋	1　棟	平成 23 年 1 月 26 日
国	浄福寺鐘楼	1　棟	平成 23 年 1 月 26 日
国	筑紫女学園洗心庵	1　棟	平成 23 年 10 月 28 日
国	筑紫女学園待合	1　棟	平成 23 年 10 月 28 日

区分	名称	員数	登録年月日
国	筑紫女学園香風亭	1　棟	平成 23 年 10 月 28 日
国	松村家住宅主屋	1　棟	平成 27 年 3 月 26 日
国	松村家住宅洋館	1　棟	平成 27 年 3 月 26 日
国	松村家住宅土蔵	1　棟	平成 27 年 3 月 26 日
国	松村家住宅門及び塀	1　棟	平成 27 年 3 月 26 日
国	ジョーキュウ醤油表座敷	1　棟	平成 27 年 3 月 26 日
国	ジョーキュウ醤油裏座敷	1　棟	平成 27 年 3 月 26 日
国	ジョーキュウ醤油米蔵	1　棟	平成 27 年 3 月 26 日
国	ジョーキュウ醤油仕込蔵	1　棟	平成 27 年 3 月 26 日
国	ジョーキュウ醤油若宮神社	1　棟	平成 27 年 3 月 26 日
国	ジョーキュウ醤油煙突	1　基	平成 27 年 3 月 26 日
国	伊佐家住宅主屋	1　棟	平成 27 年 11 月 17 日
国	伊佐家住宅土蔵	1　棟	平成 27 年 11 月 17 日
国	名島橋	1　基	平成 30 年 5 月 10 日
国	料亭満佐主屋棟	1　棟	令和元年 9 月 10 日
国	料亭満佐離れ棟	1　棟	令和元年 9 月 10 日
国	料亭満佐厨房棟	1　棟	令和元年 9 月 10 日
国	料亭満佐新館棟	1　棟	令和元年 9 月 10 日
国	料亭満佐表門及び塀	1　棟	令和元年 9 月 10 日
国	小烏神社本殿	1　棟	令和元年 12 月 5 日
国	小烏神社拝殿及び渡殿	1　棟	令和元年 12 月 5 日
国	小烏神社神饌所	1　棟	令和元年 12 月 5 日
国	小烏神社天満宮	1　棟	令和元年 12 月 5 日
国	小烏神社手水舎	1　棟	令和元年 12 月 5 日
国	小烏神社瑞垣	1　棟	令和元年 12 月 5 日
国	小烏神社奉献塔	1　基	令和元年 12 月 5 日
国	吉村家住宅主屋	1　棟	令和 3 年 2 月 4 日
国	吉村家住宅旧納屋	1　棟	令和 3 年 2 月 4 日
国	吉村家住宅便所・風呂棟	1　棟	令和 3 年 2 月 4 日
国	吉村家住宅井戸屋形	1　棟	令和 3 年 2 月 4 日
国	明光寺本堂	1　棟	令和 3 年 10 月 14 日
国	明光寺霊屋	1　棟	令和 3 年 10 月 14 日
国	明光寺禅堂	1　棟	令和 3 年 10 月 14 日
国	旧九州帝国大学工学部本館	1　棟	令和 5 年 2 月 27 日
国	旧九州帝国大学本部事務室棟	1　棟	令和 5 年 2 月 27 日
国	旧九州帝国大学本部建築課棟	1　棟	令和 5 年 2 月 27 日
国	旧九州帝国大学門衛所	1　棟	令和 5 年 2 月 27 日
国	旧柴田家住宅主屋	1　棟	令和 5 年 8 月 7 日
国	旧九州帝国大学正門及び塀	1　棟	令和 6 年 8 月 15 日
国	冷泉荘（旧八木アパート）	1　棟	令和 6 年 12 月 3 日
国	旧九州芸術工科大学環境画像棟	1　棟	令和 7 年 3 月 13 日
国	旧九州芸術工科大学工業音響棟	1　棟	令和 7 年 3 月 13 日
国	旧九州芸術工科大学画像特殊施設棟	1　棟	令和 7 年 3 月 13 日
国	旧九州芸術工科大学音響特殊施設棟	1　棟	令和 7 年 3 月 13 日
国	旧九州芸術工科大学工作工房	1　棟	令和 7 年 3 月 13 日
国	旧大學湯	1　棟	令和 7 年 3 月 13 日
国	福岡縣護国神社本殿	1　棟	令和 7 年 11 月 17 日
国	福岡縣護国神社拝殿及び翼廊	1　棟	令和 7 年 11 月 17 日
国	福岡縣護国神社祈願殿	1　棟	令和 7 年 11 月 17 日
国	福岡縣護国神社南翼舎	1　棟	令和 7 年 11 月 17 日
国	福岡縣護国神社奉安殿	1　棟	令和 7 年 11 月 17 日

区分	名称	員数	登録年月日
国	福岡縣護国神社透塀	1　棟	令和 7 年 11 月 17 日
国	福岡縣護国神社北手水舎兼灯篭	1　棟	令和 7 年 11 月 17 日
国	福岡縣護国神社南手水舎兼灯篭	1　棟	令和 7 年 11 月 17 日
国	福岡縣護国神社大鳥居	1　棟	令和 7 年 11 月 17 日
国	福岡縣護国神社西鳥居	1　棟	令和 7 年 11 月 17 日
国	福岡縣護国神社招魂社鳥居	1　棟	令和 7 年 11 月 17 日
国	福岡縣護国神社本殿	1　棟	令和 7 年 11 月 17 日
国	福岡縣護国神社拝殿及び翼廊	1　棟	令和 7 年 11 月 17 日
国	福岡縣護国神社祈願殿	1　棟	令和 7 年 11 月 17 日
市	旧福岡市動植物園正門	1　棟	平成 25 年 3 月 18 日
市	福岡県立修猷館高等学校旧正門	1　棟	平成 25 年 3 月 18 日
市	石橋長次郎家住宅	1　棟	平成 25 年 3 月 18 日
市	石橋啓延家住宅	1　棟	平成 25 年 3 月 18 日
市	大濠公園観月橋	1　基	平成 26 年 3 月 17 日
市	大濠公園松月橋	1　基	平成 26 年 3 月 17 日
市	大濠公園茶村橋	1　基	平成 26 年 3 月 17 日
市	大濠公園舞鶴橋	1　基	平成 26 年 3 月 17 日
市	大濠公園浮見堂	1　棟	平成 26 年 3 月 17 日
市	日本赤十字社福岡県支部旧正門門柱	1　基	平成 26 年 3 月 17 日
市	柴田家住宅主屋	1　棟	平成 27 年 3 月 26 日
市	柴田家住宅土蔵	1　棟	平成 27 年 3 月 26 日
市	柴田家住宅門及び塀	1　棟	平成 27 年 3 月 26 日
市	石橋義章家住宅主屋	1　棟	平成 27 年 3 月 26 日
市	石橋義章家住宅質蔵	1　棟	平成 27 年 3 月 26 日
市	石橋義章家住宅米蔵	1　棟	平成 27 年 3 月 26 日
市	石橋義章家住宅新蔵	1　棟	平成 27 年 3 月 26 日
市	石橋義章家住宅納屋	1　棟	平成 27 年 3 月 26 日
市	旧高宮貝島家住宅主屋	1　棟	平成 29 年 6 月 1 日
市	旧高宮貝島家住宅茶室	1　棟	平成 29 年 6 月 1 日
市	松源寺本堂	1　棟	平成 30 年 3 月 29 日

②無形民俗文化財

区分	名称	員数	登録年月日
市	賀茂神社の子ども獅子	1　団体	平成 31 年 3 月 25 日
市	中西宮地嶽神社の子ども獅子まつり	1　団体	平成 31 年 3 月 25 日
市	野芥櫛田神社の獅子舞	1　団体	平成 31 年 3 月 25 日
市	東入部熊本の獅子まわし	1　団体	平成 31 年 3 月 25 日
市	東入部中通の獅子まわし	1　団体	平成 31 年 3 月 25 日
市	紅葉八幡宮獅子まつり	1　団体	平成 31 年 3 月 25 日
市	飯盛の夏越しの獅子回し	1　団体	平成 31 年 3 月 25 日
市	金武丸天神社の獅子ごもり	1　団体	平成 31 年 3 月 25 日
市	金武妙見神社の獅子まわし	1　団体	平成 31 年 3 月 25 日
市	畑中の獅子舞	1　団体	平成 31 年 3 月 25 日
市	宮浦の獅子まわし	1　団体	平成 31 年 3 月 25 日
市	姪浜の獅子まわし	1　団体	平成 31 年 3 月 25 日
市	姪浜東町事代神社の獅子まわり	1　団体	平成 31 年 3 月 25 日
市	下和白大神神社の獅子廻り	1　団体	令和 2 年 3 月 23 日
市	奈多高浜の獅子舞	1　団体	令和 2 年 3 月 23 日
市	奈多西方の獅子舞	1　団体	令和 2 年 3 月 23 日
市	奈多前方の獅子舞	1　団体	令和 2 年 3 月 23 日
市	奈多牟田方の獅子舞	1　団体	令和 2 年 3 月 23 日

区分	名称	員数	登録年月日
市	今泉若宮神社の獅子祭り	1　団体	令和 2 年 3 月 23 日
市	紺屋町子供獅子祭	1　団体	令和 2 年 3 月 23 日
市	鳥飼八幡宮子供獅子まわし	1　団体	令和 2 年 3 月 23 日
市	高宮八幡宮獅子まつり	1　団体	令和 2 年 3 月 23 日
市	荒江櫛田神社の獅子まわし	1　団体	令和 2 年 3 月 23 日
市	祖原獅子祭り	1　団体	令和 2 年 3 月 23 日

③名　勝

区分	名称	員数	登録年月日
国	大濠公園	1	平成 19 年 2 月 6 日

11　令和７年度刊行物等一覧

(1)　刊行物

図書・資料名	所管課	発行月	サイズ	ページ	部数
第３次福岡市教育振興基本計画	教育政策課	６月	Ａ４	52	1,200 ＨＰ掲載
第３次福岡市教育振興基本計画　概要版	教育政策課	６、３月	Ａ４ ２つ折	両面	156,500 ＨＰ掲載
教育要覧	教育政策課	10 月	Ａ４	110	ＨＰ掲載
まなびアイふくおか情報誌版第 73 号	生涯学習課	９月	Ａ４	24	1,045
まなびアイふくおか情報誌版第 74 号	生涯学習課	３月	Ａ４	28	1,025
令和７年度福岡市社会教育事業の概要	生涯学習課	１月	Ａ４	18	184 ＨＰ掲載
ＰＴＡ活動って何？（令和８年度版）	人権・同和教育課	３月	Ａ４	16	750
わたしたちのＰＴＡ	人権・同和教育課	３月	Ａ４	４	15,300
市立高等学校合同紹介リーフレット	高校教育課	７月	Ａ４	４	22,000
福岡市の特別支援教育	発達教育センター	７ 月	Ａ４	31	ＨＰ掲載
夢だより	発達教育センター	８、12、１、２月	Ａ３	４	ＨＰ掲載
福岡市教職員研修計画	人材育成課	４月	Ａ４	90	1,100
新入生のおすすめ本リスト（小・中学生用）	総合図書館図書サービス課 中学校教育課	４月	Ａ４	２	15,300 ＨＰ掲載
こどもとしょかんニュース	総合図書館図書サービス課	６、９、12、３月	Ａ４	２	1,000 ＨＰ掲載
レファレンスだより	総合図書館図書サービス課	毎月	Ａ４	４	250 ＨＰ掲載
クンドルニュース	総合図書館図書サービス課	隔月	Ａ４	２	500 ＨＰ掲載
モデル児童図書リスト（幼児用 他３種）	総合図書館図書サービス課	５月	Ａ４	２	3,000 ＨＰ掲載
令和７年度 図書館要覧	総合図書館運営課	12 月	Ａ４	73	130 ＨＰ掲載
古文書だより　第５号	総合図書館文学・映像課	３月	Ａ４	４	1,500 ＨＰ掲載
福岡市総合図書館研究紀要　第 26 号	総合図書館文学・映像課	３月	Ａ４	44	450
福岡市文学館館報「文学館倶楽部」No.40	総合図書館文学・映像課	２月	Ａ４	12	3,000
シネラニュース	総合図書館文学・映像課	毎月（３月除く）	Ａ４	４	各 8,000
令和６年度 福岡市美術館活動の記録	美術館	12 月	Ａ４	73	450

図書・資料名	所管課	発行月	サイズ	ページ	部数
福岡市美術館季刊誌「エスプラナード」	美術館	6、9、12、3月	B5	12	各10,000
福岡市美術館研究紀要 第14号	美術館	3月	A4	64	430
あじびニュース 96号	アジア美術館	4月	260×210㎜ 観音折	8	10,000 HP掲載
あじびニュース 97号	アジア美術館	8月	260×210㎜ 蛇腹折	8	9,000 HP掲載
あじびニュース 98号	アジア美術館	12月	260×210㎜ 蛇腹折	8	8,000 HP掲載
令和6年度 福岡アジア美術館年報	アジア美術館	10月	A4	52	HP掲載
ベストコレクションⅢ 変革の時代、新たなる自画像 超図解ガイド（和・英）	アジア美術館	7月	A5	24	和20,000 英2,000
福岡市博物館だより Facata	博物館学芸課	年4回	A4	8	各5,000 HP掲載
企画展示解説 618号～628号	博物館学芸課	企画展開催時	A4	2	各1,500 HP掲載
令和5年度収集収蔵品目録第41号	博物館学芸課	3月	A4	239	400 HP掲載
福岡市博物館年報第33号	博物館学芸課	11月	A4	69	HP掲載
市史だより Fukuoka 第29号	博物館市史編さん室	3月	A4	12	6,000
市史研究ふくおか 第21号	博物館市史編さん室	3月	A4	100	700
新修 福岡市史 「資料編 中世3」	博物館市史編さん室	3月	A5	208	1,000
新修 福岡市史ブックレットシリーズ④ 縄文時代のタネとムシ	博物館市史編さん室	3月	A5	208	2,000
新修 福岡市史ブックレットシリーズ⑤ 金印と倭国の成立	博物館市史編さん室	3月	A5	208	2,000
福岡市埋蔵文化財センター年報第44号	埋蔵文化財センター	3月	A4	36	650 HP掲載
福岡市埋蔵文化財年報 VOL.39	埋蔵文化財課	3月	A4	132	300 HP掲載
福岡市埋蔵文化財調査報告書第1552集 博多209	埋蔵文化財課	7月	A4	96	300 HP掲載
福岡市埋蔵文化財調査報告書第1553集 飯氏遺跡6	埋蔵文化財課	3月	A4	66	300 HP掲載
福岡市埋蔵文化財調査報告書第1554集 井尻B遺跡36	埋蔵文化財課	3月	A4	56	300 HP掲載
福岡市埋蔵文化財調査報告書第1555集 井尻B遺跡37	埋蔵文化財課	3月	A4	48	300 HP掲載
福岡市埋蔵文化財調査報告書第1556集 井尻B遺跡38	埋蔵文化財課	3月	A4	30	300 HP掲載
福岡市埋蔵文化財調査報告書第1557集 板付14	埋蔵文化財課	3月	A4	24	300 HP掲載

図書・資料名	所管課	発行月	サイズ	ページ	部数
福岡市埋蔵文化財調査報告書第1558集　今津A遺跡2	埋蔵文化財課	3月	A4	100	300 HP掲載
福岡市埋蔵文化財調査報告書第1559集　今津C遺跡1	埋蔵文化財課	3月	A4	174	300 HP掲載
福岡市埋蔵文化財調査報告書第1560集　岩隈遺跡	埋蔵文化財課	3月	A4	38	300 HP掲載
福岡市埋蔵文化財調査報告書第1561集　曰佐遺跡2	埋蔵文化財課	3月	A4	32	300 HP掲載
福岡市埋蔵文化財調査報告書第1562集　田村21	埋蔵文化財課	3月	A4	68	300 HP掲載
福岡市埋蔵文化財調査報告書第1563集　那珂96	埋蔵文化財課	3月	A4	48	300 HP掲載
福岡市埋蔵文化財調査報告書第1564集　野芥遺跡11	埋蔵文化財課	3月	A4	22	300 HP掲載
福岡市埋蔵文化財調査報告書第1565集　博多210	埋蔵文化財課	3月	A4	92	300 HP掲載
福岡市埋蔵文化財調査報告書第1566集　博多211	埋蔵文化財課	3月	A4	50	300 HP掲載
福岡市埋蔵文化財調査報告書第1567集　博多212	埋蔵文化財課	3月	A4	72	300 HP掲載
福岡市埋蔵文化財調査報告書第1568集　箱崎77	埋蔵文化財課	3月	A4	36	300 HP掲載
福岡市埋蔵文化財調査報告書第1569集　箱崎78	埋蔵文化財課	3月	A4	22	300 HP掲載
福岡市埋蔵文化財調査報告書第1570集　原遺跡25	埋蔵文化財課	3月	A4	36	300 HP掲載
福岡市埋蔵文化財調査報告書第1571集　比恵93	埋蔵文化財課	3月	A4	56	300 HP掲載
福岡市埋蔵文化財調査報告書第1572集　比恵94	埋蔵文化財課	3月	A4	44	300 HP掲載
福岡市埋蔵文化財調査報告書第1573集　福岡城下町遺跡6	埋蔵文化財課	3月	A4	36	300 HP掲載
福岡市埋蔵文化財調査報告書第1574集　福岡城下町遺跡7	埋蔵文化財課	3月	A4	38	300 HP掲載
福岡市埋蔵文化財調査報告書第1575集　福岡城下町遺跡8	埋蔵文化財課	3月	A4	22	300 HP掲載
福岡市埋蔵文化財調査報告書第1576集　南八幡遺跡15	埋蔵文化財課	3月	A4	24	300 HP掲載
福岡市埋蔵文化財調査報告書第1577集　麦野A遺跡12	埋蔵文化財課	3月	A4	38	300 HP掲載
福岡市埋蔵文化財調査報告書第1578集　吉塚祝町3	埋蔵文化財課	3月	A4	38	300 HP掲載
福岡市埋蔵文化財調査報告書第1579集　吉塚15	埋蔵文化財課	2月	A4	50	300 HP掲載
福岡市埋蔵文化財パンフレット2　箱崎遺跡	埋蔵文化財課	3月	A4	4	500 HP掲載
福岡市内寺社資料調査報告書五　香椎宮資料 福岡市文化財叢書第十集	文化財活用課	3月	A4	224	300 HP掲載

(2) インターネットホームページ

名称	アドレス	担当課
福岡市教育委員会	https://www.city.fukuoka.lg.jp/kyouiku/	教育政策課
福岡市教育センター	https://sites.google.com/fuku-c.ed.jp/f-educenter/	人材育成課
福岡市発達教育センター	https://sites.google.com/fuku-c.ed.jp/hattatuchp/index	発達教育センター
福岡市学習情報提供システム まなびアイふくおか	https://gakushu.city.fukuoka.lg.jp/	生涯学習課
福岡市子どもと本の日通信	https://www.city.fukuoka.lg.jp/kyoiku-iinkai/j_school/life/dokusho.html	総合図書館図書サービス課
新入生のおすすめ本リスト（小・中学生用）	https://www.city.fukuoka.lg.jp/kyoiku-iinkai/library-tosho/ed/012.html	総合図書館図書サービス課
福岡市総合図書館	https://toshokan.city.fukuoka.lg.jp/	総合図書館運営課
福岡市電子図書館	https://web.d-library.jp/fukuoka/	総合図書館運営課
福岡市総合図書館古文書資料収蔵品データベース	https://toshokan.city.fukuoka.lg.jp/archives/historical_documents/	総合図書館文学・映像課
福岡市文学館	https://fukuokabungakukan.com/	総合図書館文学・映像課
福岡市美術館	https://www.fukuoka-art-museum.jp	美術館事業管理課
福岡アジア美術館	https://faam.city.fukuoka.lg.jp/	アジア美術館学芸課
福岡市博物館ホームページ	https://museum.city.fukuoka.jp/	博物館運営課
福岡市史ホームページ	https://www.city.fukuoka.lg.jp/shishi/	博物館市史編さん室
福岡市の文化財	https://bunkazai.city.fukuoka.lg.jp/	文化財活用課
福岡市埋蔵文化財センター	https://bunkazai.city.fukuoka.lg.jp/maibun/	埋蔵文化財センター

令和８年度版

教　育　要　覧

発　　行　令和８年10月
編　　集　福岡市教育委員会（総務部教育政策課）
〒810-8621　福岡市中央区天神一丁目８番１号
TEL：092-711-4412　FAX：092-711-4600
E-mail：kyoikuseisaku.BES@city.fukuoka.lg.jp